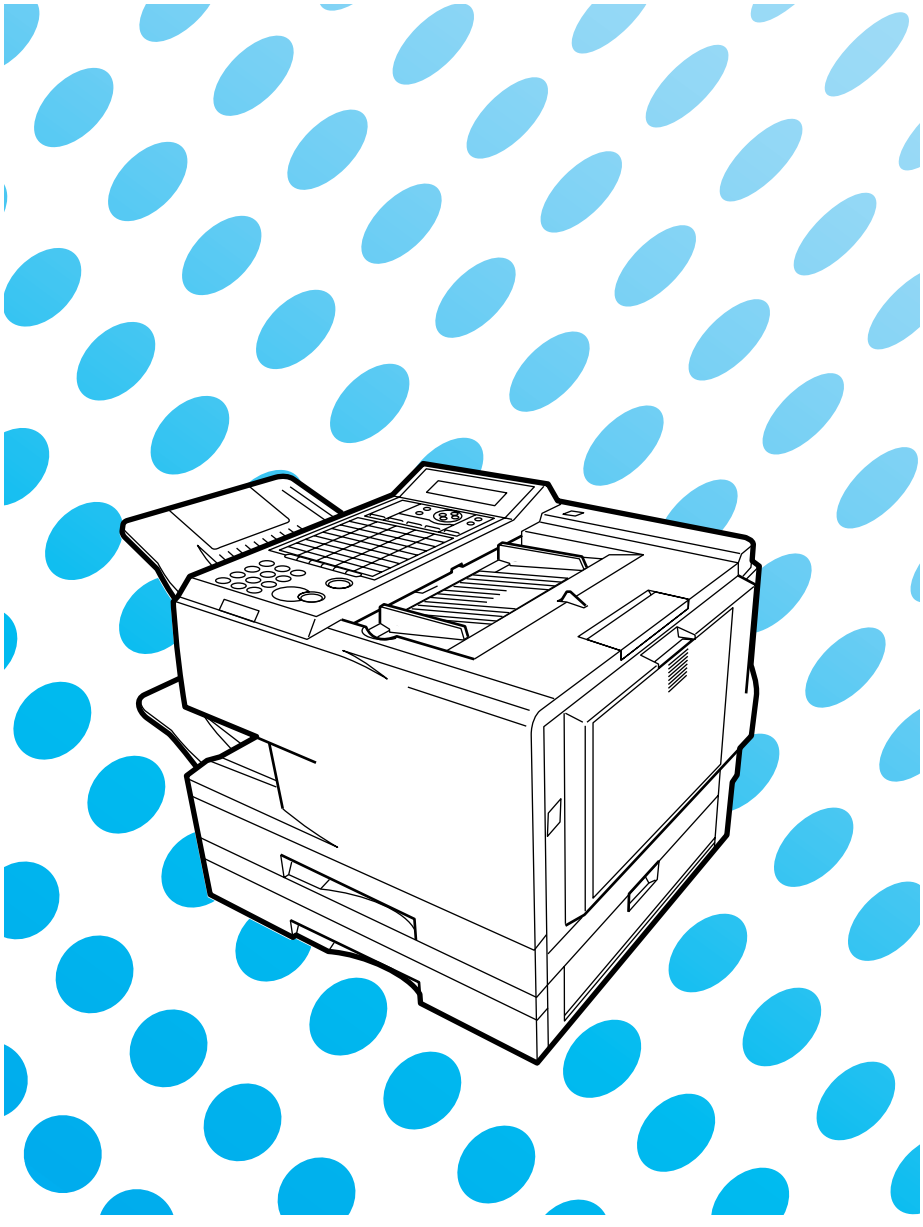
Panasonic

レーザー普通紙ファクシミリ

取扱説明書

Panafax A78 MkⅡ
A80 MkⅡ

品番 UF-A78MK2 UF-A80MMK2
UF-A80MK2 UF-A80MSMK2
UF-A80SMK2



お使いになる前に

基本編
- 原稿
- ファクス
- コピー
- 電話

応用編
- 便利な機能の使い方
- リスト・レポートのプリント
- 各種登録・設定

必要なときにお読みください

このたびはレーザー普通紙ファクシミリをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときお読みください。

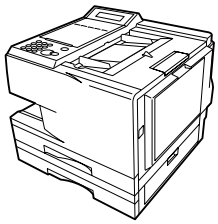
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

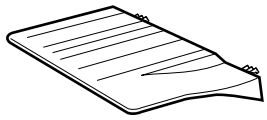
本体・付属品・添付品の確認

セットの内容に足りないものがある場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお申し付けください。

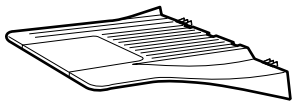
本体・付属品



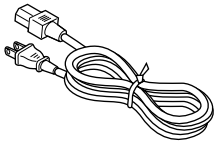
本体



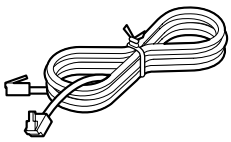
用紙トレイ... 1 個



原稿トレイ... 1 個



電源コード... 1 本



回線コード... 1 本

添付品

取扱説明書..... 1 部
設置工事説明書.... 1 部
用紙（テスト用）... 1 包
用紙サイズシール... 2 セット
保証書..... 1 部

このロゴは、国際エネルギースタープログラムに基づくロゴです。国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減性に優れ、かつ、効率的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

UF-A78MK2/A80MK2 を使う

各機種の特徴

- UF-A78MK2、UF-A80MK2
  標準機です。
- UF-A80MMK2
  大容量ページメモリー搭載機です。
- UF-A80SMK2
  1000ヶ所同報通信が可能な機種です。
- UF-A80MSMK2
  大容量ページメモリー搭載、1000ヶ所同報通信が可能な機種です。

送信する

・とりあえず送りたい
..ファクスを送る（☛25 ページ）
・一度にたくさんの相手に送りたい
....順次同報送信（☛34 ページ）
・通話料金の安い時間を指定して送りたい
....タイマー送信（☛48 ページ）
・特定の相手にだけ送りたい
....セレクト送信（☛68 ページ）
..パスワード送信（☛63 ページ）
.....親展送信（☛52 ページ）

受信する

・特定の相手のファクスだけを受信したい
....セレクト受信（☛69 ページ）
..パスワード受信（☛65 ページ）
・相手と話してから受信する
.....手動受信（☛36 ページ）
・相手側のファクスに登録されている原稿を取り出す
..ポーリング受信（☛47 ページ）

その他の機能

・簡単にダイヤルしたい
...直接ダイヤル（☛25 ページ）
...短縮ダイヤル（☛26 ページ）
ワンタッチダイヤル（☛27 ページ）
.クイックダイヤル（☛28 ページ）
ハイブリッドダイヤル（☛33 ページ）
グループダイヤル（☛100 ページ）
・ボタン1つで、複雑な機能を使いたい
プログラムダイヤルの登録
.....（☛103 ページ）

文字を入力する

・文字入力のしかた（☛126 ページ）
・区点コード表..（☛173 ページ）
・熟語一覧表....（☛177 ページ）

消耗品の交換

・用紙の補充....（☛146 ページ）
・手差しトレイへの用紙セット
.....（☛152 ページ）
・用紙カセットのサイズ変更
.....（☛147 ページ）
・プロセスカートリッジの交換
.....（☛154 ページ）

トラブル

・用紙がつまったとき
.....（☛157 ページ）
・原稿がつまったとき
.....（☛161 ページ）
・故障かな？と思ったら
.....（☛162 ページ）

もくじ

本体・付属品・添付品の確認 2
UF-A78MK2/A80MK2 を使う 3
安全上のご注意 7
必ずお守りください 14

お使いになる前に

各部のなまえとはたらき 16
正面・右側面図 16
左側面・背面図 17
操作パネルのなまえとはたらき 18
ランプ表示 18
各種ボタン 19

基本編

原稿

原稿のセットのしかた 20
原稿をセットする 20
原稿について 21
原稿のサイズ 21
有効読取画面について 21
相手機種との送信について 21
原稿についてのご注意 22
原稿サイズとセット方向について 23

ファクス

ファクスを送る 25
直接ダイヤルで送る 25
短縮ダイヤルで送る 26
ワンタッチボタンで送る 27
クイックダイヤルで送る 28
ダイレクト送信をする 29
再ダイヤルで送る 30
電話番号を組み合わせて送る
（ハイブリッドダイヤル） 33
**一度にたくさんの相手に送る
（順次同報送信）** 34
ファクスを受ける 36
自動受信のしかた 36
相手と話してから受信する
（手動受信） 36

コピー

コピーのしかた 39

電話

電話の使いかた（オプション） 42
電話をかける 42
トーンボタンの使いかた 43
音量の設定のしかた 44
モニター音量の設定 44
呼出音量の設定 45

応用編

便利な機能の使い方

ポーリング通信 46
ポーリング送信 46
ポーリング受信 47
タイマー通信 48
タイマー送信 48
タイマーポーリング受信 48
タイマー特殊通信 49
中継通信 50
中継通信について 50
中継同報指示 51
親展通信 52
親展送信 52
親展ポーリング受信 53
親展プリント 53
親展プリント 53
ファイル送信 54
ファイル蓄積 54
ファイル送信 54
ファイル消去 55
ファイルプリント 55
Fコード通信 56

Fコード送信 56
Fコード掲示板登録の指定 57
Fコード取り出し 57
Fコード親展プリント 58
マルチコピー通信 59
F網通信 59
Fポート通信 60
OMR通信 60
パスワード通信 61
パスワード通信について 61
システム登録について 61
パスワード送信の設定 63
パスワード送信の変更 64
パスワード受信の設定 65
パスワード受信の変更 66
パスワード送信設定の一時変更 67
セレクト通信 68
セレクト送信 68
セレクト受信 69
優先通信 70
ワンタイム海外通信 71
定期便タイマー通信 71
メモリー受信 72
メモリー受信の設定 72
メモリー受信を設定しているとき 72
メモリー受信の解除 73
メモリー受信のプリント 73
通信予約の確認と消去 74
通信予約の確認 74
通信予約の変更 76
通信予約の消去 77
指定通信予約レポートのプリント 78
未達宛先再通信の指定 79
受信データの強制出力 80
手動ファイル転送 80

リスト・レポートのプリント

レポートのプリント 81
通信管理レポートのプリント 81
通信受付レポートのプリント 82
通信結果レポートのプリント 83
リストのプリント 84
ダイヤルリストのプリント 84
ワンタッチリストのプリント 85
システム登録リストのプリント 86
自局情報リストのプリント 87
Fコード通信リストのプリント 88
ユーザー管理リストのプリント 89

各種登録・設定

登録操作フロー 90
ダイヤルの登録 91
ダイヤル登録操作フロー 91
ワンタッチダイヤルの登録 92
短縮ダイヤルの登録 94
特殊通信機能の登録 96
ダイヤルの変更 98
ダイヤルの消去 99
ワンタッチの登録 100
グループダイヤルの登録 100
グループダイヤルの変更 102
プログラムダイヤルの登録 103
プログラムダイヤルの変更 104
ファンクションの登録 105
ワンタッチの消去 108
中継情報の登録 108
中継情報の登録の種類 109
Fコード通信の登録 110
親展ボックスの登録 110
掲示板ボックスの登録 113
通信ボックスの消去 115
ユーザー管理の登録 116
ユーザー管理の登録 116
ユーザーの変更 118
ユーザーの消去 118
ユーザー管理者用暗証番号の登録 119
ユーザー管理者用暗証番号の消去 120

ユーザー別管理をしているとき
ファクスを使う 120
ユーザー別管理の設定 121
ユーザー別レポートの設定 121
システムの登録 122
システム登録のしかた 122
システム登録一覧表 123
文字入力のしかた 126
入力モードの切り替えかた 126
文字入力のしかた 127
英記号の入力のしかた 128
コード入力のしかた 128
熟語入力のしかた 129
文字の変更／消去 130
自局情報の登録 131
日付と時刻の登録 132
発信元情報の登録 133
文字 ID（カナ）の登録 134
外線数字 ID の登録 135
内線数字 ID の登録 136
定時刻タイマーの登録 137
定期便タイマーの登録 138
F コードサブアドレスの登録
（サブアドレス通信） 139
F コードパスワードの登録
（サブアドレス通信） 140

必要なときにお読みください

取り付けかた 141
原稿トレイの取り付け 141
用紙トレイの取り付け 141
電源コードの接続 141
電源を入れる 142
電話回線の接続 142
外部電話機の接続 142
電話回線の設定 143
増設メモリーカード（オプション）の
取り付け 144
消耗品の交換のしかた 146
用紙の補充 146
用紙カセットのサイズ変更 147
増設給紙ユニット 500 の
用紙カセットのサイズ変更 149
手差しトレイへの用紙セット 152
済スタンプの交換 153
プロセスカートリッジの交換 154
宛先シートの使いかた 155
宛先シートの記入のしかた 155
お手入れのしかた 156
本体のお手入れ 156
読取部のお手入れ 156
こんなときには 157
用紙がつまったとき 157
用紙カセットでつまっているとき 158
手差しトレイでつまっているとき 159
本体内部でつまっているとき 160
原稿がつまったとき 161
自動給紙圧を調整する 161
故障かな？と思ったら 162
主なエラーコード 164
主なエラーメッセージ 165
停電のとき 167
チェック＆コール 167
充電式ニカド電池の取りはずし 168
ファクシミリ通信網について 169
F ネット通信するとき 169
消耗品・オプション 170
消耗品・オプション 170
アフターサービスについて 171
主な仕様 172
区点コード表 173
熟語一覧表 177
索引 179
操作方法早見表 183

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

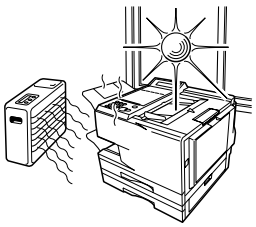
⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●こんなところには置かないで

⚠ 注意

直射日光の当たる場所や、熱器具の近くには置かない

禁止

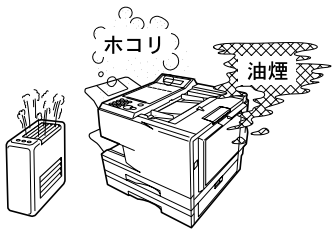


内部の温度が上がる、カバーや電源コードの被覆が溶けるなどで、火災の原因となることがあります。

油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

（調理台、風呂場、加湿器のそばなど）

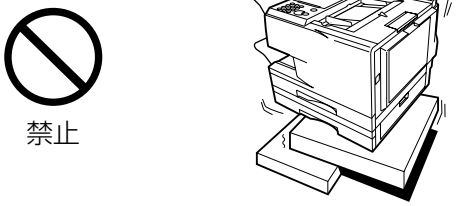
禁止



火災・感電の原因となることがあります。

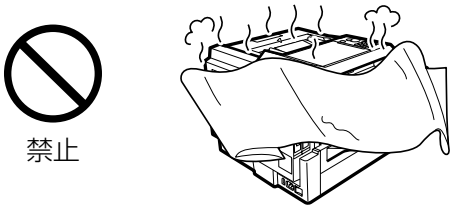
安全上のご注意 必ずお守りください

ぐらついた台の上や傾いた所、振動・衝撃の多いところに置かない



落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

本機の通風孔（背面）をふさがない



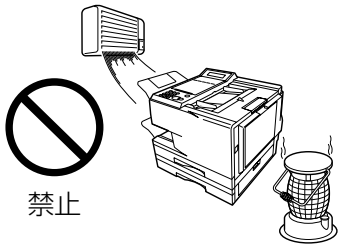
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本機は幼児の手の届く所に置かない

原稿挿入口などの開口部に指を差し込むと、けがの原因となることがあります。

温度変化の激しい場所には置かない

（エアコンや暖房機のそばなど）



本機の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となることがあります。

湿気の多い場所では、アース線を取り付けて使用する

感電の原因となることがあります。

●取扱上のご注意

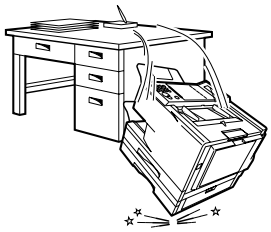
⚠ 警告

煙が出ている、へんな臭いがするときは、すぐに電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

- 販売店または、サービス実施会社にご連絡ください。

本機を落としたり、カバーを破損した場合は、すぐに電源プラグを抜く

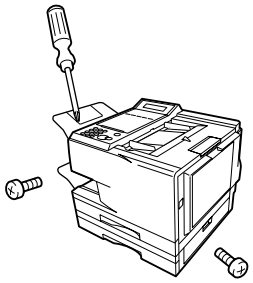


火災・感電の原因となります。

- 販売店または、サービス実施会社にご連絡ください。

本機を分解・改造しない

分解禁止



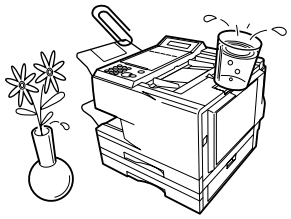
火災・感電の原因となります。

● 販売店または、サービス実施会社にご連絡ください。

本機の上や近くに水などの入った容器や小さな金属物を置かない

（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、クリップなど）

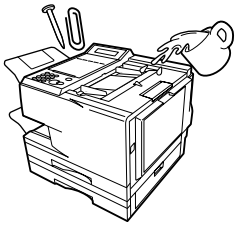
禁止



こぼれたり、落ちたりして内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

内部に水や金属物などが入った場合は、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く



火災・感電の原因となります。

● 販売店または、サービス実施会社にご連絡ください。

本体内部の高温・高圧表示部とその周辺部には、手を触れない

接触禁止

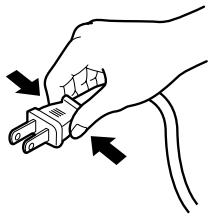
やけど・感電の原因となります。

本機の近くで可燃性のスプレーを使用しない

禁止

火災・やけどの原因となります。

電源プラグの抜き差しをするときは、プラグ（金属でない部分）を持つ

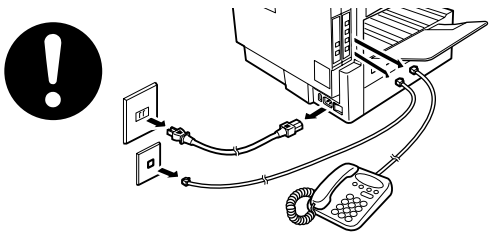


感電の原因となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

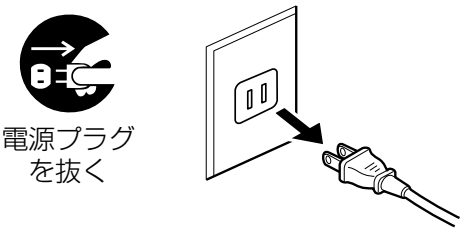
⚠ 注意

移動する場合は、電源コードや回線コードなどをはずす



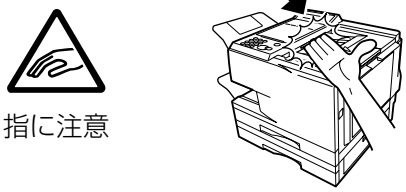
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行う



感電の原因となることがあります。

開閉部を閉めるときは手をはさまないよう注意する



けがの原因となることがあります。

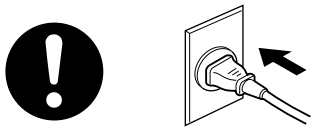
プロセスカートリッジは火中に投げ入れない

爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災・やけどの原因になることがあります。

●電源についてのご注意

⚠ 警告

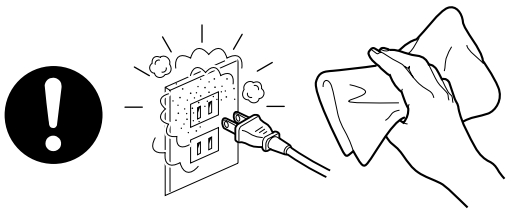
電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

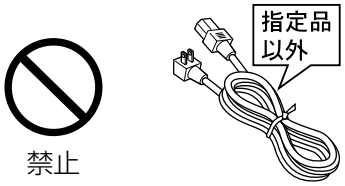
電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

付属の電源コードなど指定品以外は使用しない

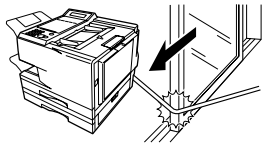


禁止

火災・感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

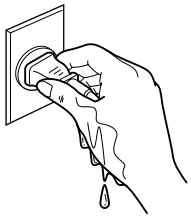


禁止

傷んだまま使用すると、火災・ショート・感電の原因となります。

● コードやプラグの修理は、サービス実施会社にご連絡ください。

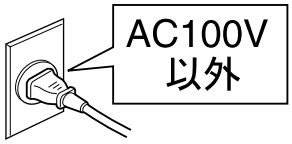
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない

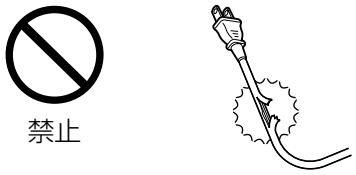


禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）使用しない



火災・感電の原因となります。

本機の電源は国内仕様なので、海外では使用しない

火災・感電の原因となります。

●充電式ニカド電池の取扱について

⚠ 危険

液漏れしたとき、" 液 " が眼に入ると危険

失明のおそれがあります。こすらずにすぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

専用電池です。
指定以外の機器に使用しない

液漏れ・発熱・破裂のおそれがあります。

分解・改造しない

液漏れ・発熱・破裂のおそれがあります。

火の中に投入したり加熱しない

液漏れ・発熱・破裂のおそれがあります。

⊕プラス、⊖マイナスを針金等の金属類で接続しない

液漏れ・発熱・破裂のおそれがあります。

⚠ 警告

水や海水にぬらさない

禁止

発熱やサビの原因となります。

ニカド電池の液が皮膚や衣服に付いたら、すぐに洗い流す

皮膚に障害をおこすおそれがあります。そのままにしないで、すぐにきれいな水で洗い流してください。

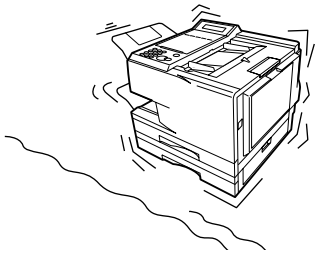
STOP お願い

●こんなところには置かないで

暑い場所（35°C 以上）や寒い場所（10°C 以下）には置かない

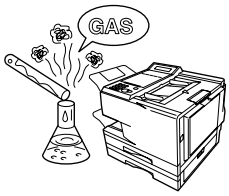
誤動作の原因となります。

振動の激しい場所には置かない



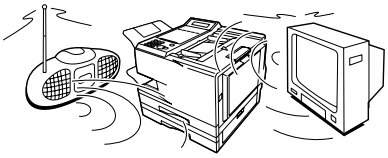
誤動作の原因となります。

アンモニアガスなどが発生する場所には置かない



寿命が短くなることがあります。

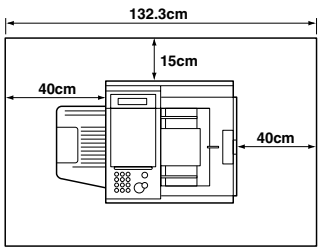
無線機器（テレビ・ラジオ）の近くで使用しない



ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

●設置スペースについて

操作、日常の点検、消耗品の交換など、装置の性能を維持する作業を行うために、設置スペースを確保してください。



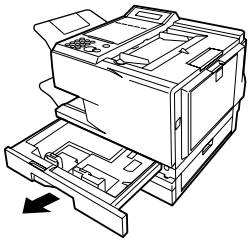
●オゾンについて

密閉生の高い場所でのご使用について

受信中またはコピー中はオゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する、大量にコピーをとるなどの場合には臭気が気になることもありますので、快適な環境を保つために部屋の換気をすることをお勧めいたします。

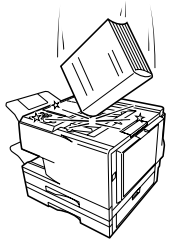
●取扱上のご注意

動作中は開閉部を開けない



動作が中断します。

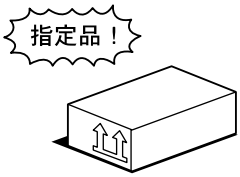
本機に強い衝撃を与えない



故障の原因となります。

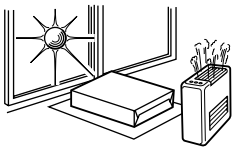
●消耗品について

当社指定品を使う



当社指定品以外を使用すると記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。

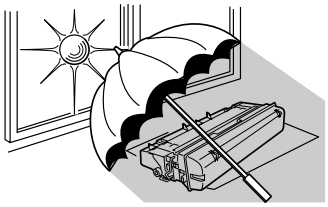
次のような場所には保管しない



（直射日光のあたる場所、高温・高湿の場所）
用紙の変色の原因となります。

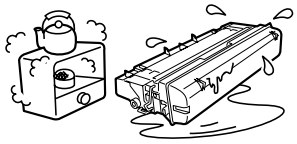
●プロセスカートリッジについて

プロセスカートリッジは直射日光を避ける



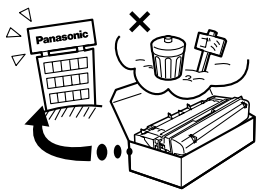
記録データに異常が出ることがあります。

プロセスカートリッジを寒い場所から暑い場所へ急に移動させない



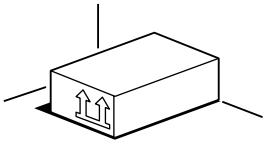
プロセスカートリッジに結露が発生し、故障の原因となります。

使用済みのプロセスカートリッジは捨てない



回収にご協力ください。

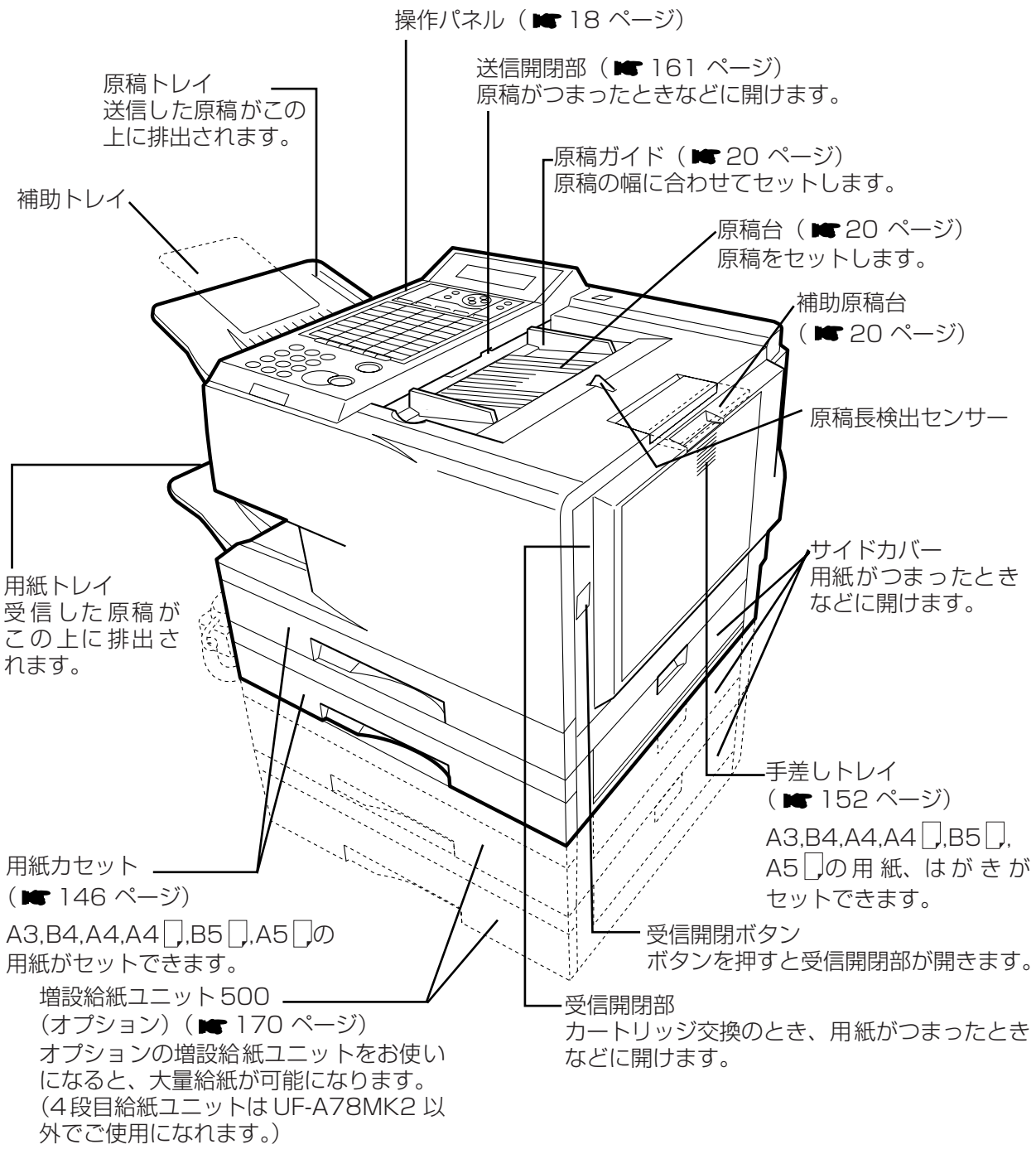
プロセスカートリッジは矢印（ ⇧ ）を上に向けて保管する



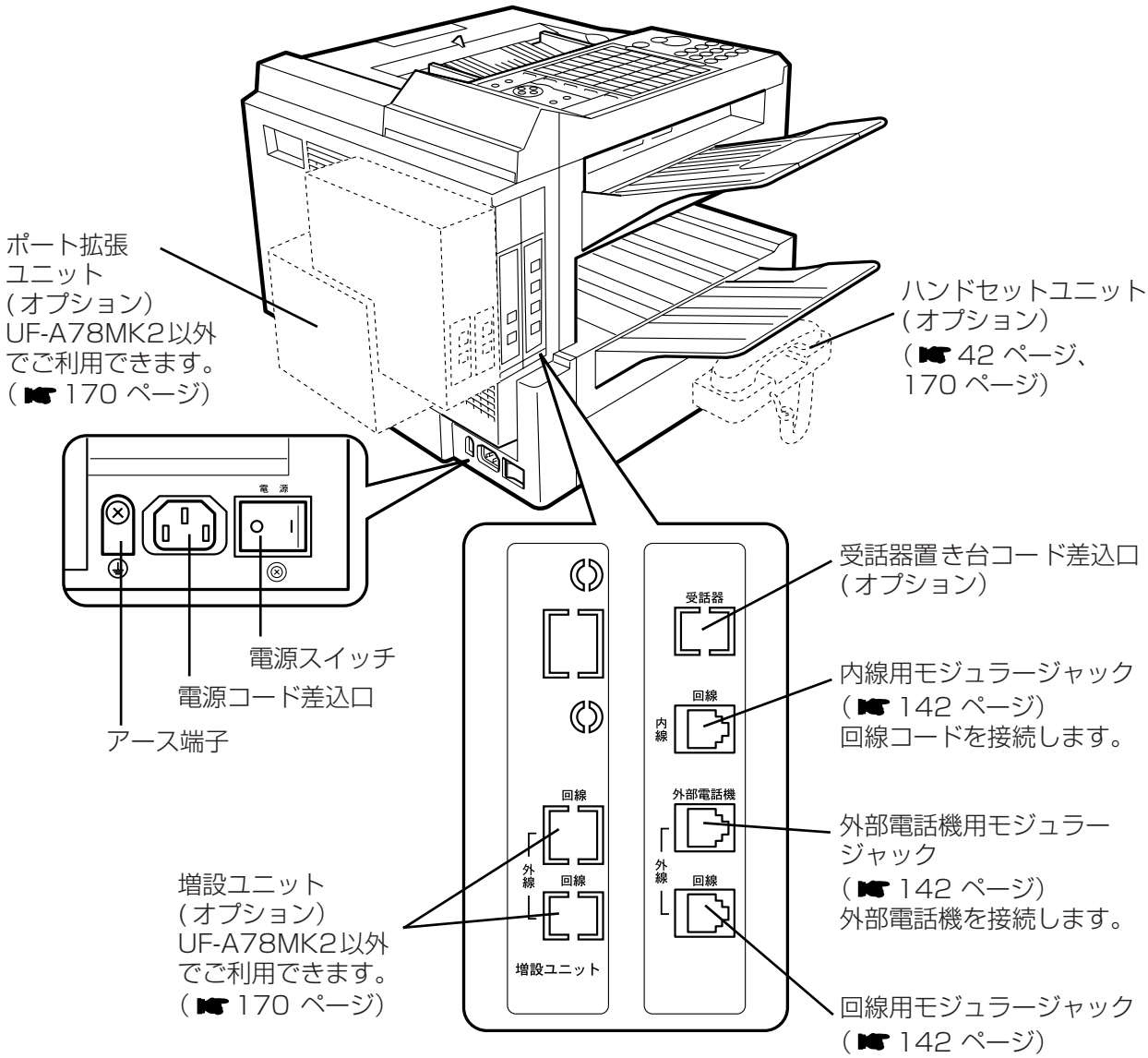
記録データに異常が出ることがあります。

各部のなまえとはたらき

正面・右側面図

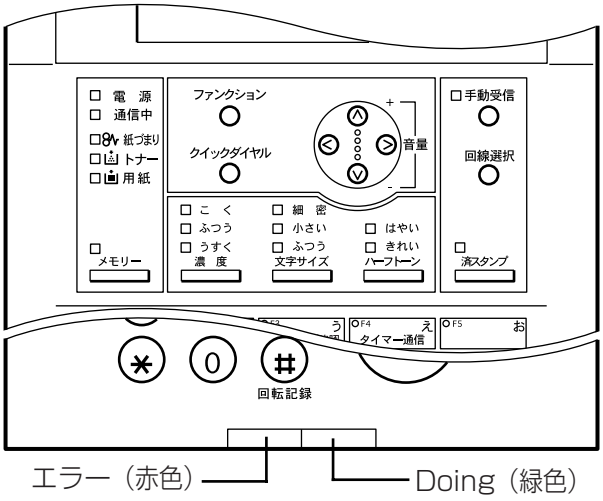


左側面・背面図


ポート拡張
ユニット
(オプション)
UF-A78MK2以外
でご利用できます。
(☛ 170 ページ)
ハンドセットユニット
(オプション)
(☛ 42 ページ、
170 ページ)
電源
電源スイッチ
電源コード差込口
アース端子
受話器置き台コード差込口
(オプション)
受話器
回線
内線
内線用モジュラージャック
(☛ 142 ページ)
回線コードを接続します。
外部電話機
外線
外部電話機用モジュラー
ジャック
(☛ 142 ページ)
外部電話機を接続します。
回線
外線
回線
増設ユニット
増設ユニット
(オプション)
UF-A78MK2以外
でご利用できます。
(☛ 170 ページ)
回線用モジュラージャック
(☛ 142 ページ)
回線コードを接続します。

操作パネルのなまえとはたらき

ランプ表示



□電源　ランプ
□通信中　ランプ
□紙づまり　ランプ
□トナー　ランプ
□用紙　ランプ
□メモリー　ランプ
□こく　ランプ
□ふつう　ランプ
□うすく　ランプ
□細密　ランプ
□小さい　ランプ
□ふつう　ランプ
□はやい　ランプ
□きれい　ランプ
□手動受信　ランプ
□済スタンプ　ランプ
Doing　ランプ
エラー　ランプ

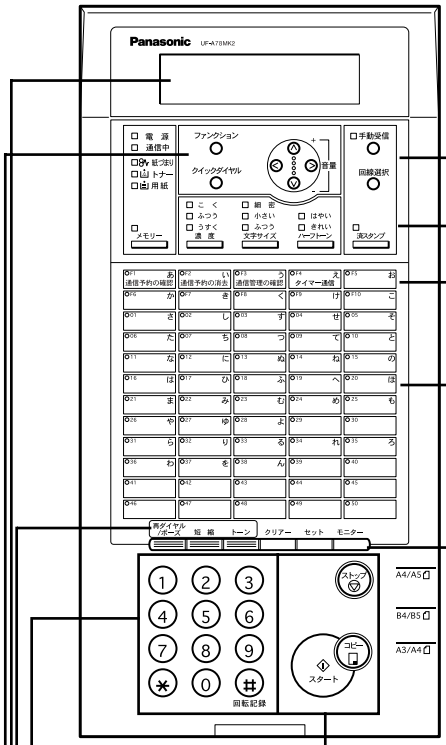
■ランプの表示について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの点灯	ランプの消灯	ランプの点滅
■	□	☼

ランプの種類	ランプのつき方（色）	ファクス本体の状態
電源ランプ	点灯　■　（緑）	本体の電源が入っているとき
通信中ランプ	点滅　☼　（緑）	通信中および受話器（オプション）を上げたとき
紙づまりランプ	点灯　■　（赤）	用紙がつまったとき
トナーランプ	点灯　■　（赤）	トナーが無いとき
	点滅　☼　（赤）	トナーが残り少なくなったとき
用紙ランプ	点灯　■　（赤）	すべてのカセット（および、開いている手差しトレー）に用紙が無いとき
	点滅　☼　（赤）	いずれかのカセット(または､開いている手差しトレー)に用紙が無いとき
手動受信ランプ	点灯　■　（緑）	手動受信が選択されているとき
メモリーランプ	点灯　■　（緑）	メモリー送信をするとき
こくランプ	点灯　■　（緑）	濃度が「こく」に選択されているとき
ふつうランプ	点灯　■　（緑）	濃度が「ふつう」に選択されているとき
うすくランプ	点灯　■　（緑）	濃度が「うすく」に選択されているとき
細密ランプ	点灯　■　（緑）	文字サイズが「細密」に選択されているとき
小さいランプ	点灯　■　（緑）	文字サイズが「小さい」に選択されているとき
ふつうランプ	点灯　■　（緑）	文字サイズが「ふつう」に選択されているとき
はやいランプ	点灯　■　（緑）	ハーフトーンが「はやい」に選択されているとき
きれいランプ	点灯　■　（緑）	ハーフトーンが「きれい」に選択されているとき
済スタンプランプ	点灯　■　（緑）	済スタンプが選択されているとき
エラーランプ	点灯　■　（赤）	全カセットの用紙がない／全カセットが確実にセットされていない／原稿または用紙がつまったときなど
	点滅　☼　（赤）	一部のカセットの用紙がない／一部のカセットが確実にセットされていないとき
Doing ランプ	点滅　☼　（緑）	読取中、記録中

各種ボタン



音量 ／ ⓥ ⓐ ⓒ ⓑ ボタン

モニターおよび呼出音量を大きくしたり、小さくします。（☛44 ページ、45 ページ）
また、文字などの入力のときカーソルを左右に移動させたいときに押します。

手動受信 ボタン

手動受信するときに押します。

回線選択 ボタン

内線と外線を切り替えます。

メモリー ボタン

原稿をメモリーに読み込んでから送信するときにランプを点灯させます。

濃度 ボタン（☛24 ページ）

原稿の濃さに合わせて選びます。

文字サイズ ボタン（☛24 ページ）

原稿の文字の大きさに合わせて選びます。

ハーフトーン ボタン（☛24 ページ）

ハーフトーンを選ぶときに押します。

済スタンプ ボタン（☛24 ページ）

済スタンプを選ぶときに押します。

機能 ボタン（☛106 ページ）

通信予約などの 4 種類の機能を、ボタン 1 つで選べます。また、１０種類まで機能を登録することができます。

ワンタッチダイヤル ボタン（☛27 ページ）

ワンタッチダイヤルするときに押します。
また、プログラムに登録した通信をするときに押します。

クリアー ボタン

入力した文字や数字を訂正するときに押します。

セット ボタン

選択した内容を確定するときに押します。

モニター ボタン

受話器（オプション）を置いたまま、ダイヤルするときに押します。

ストップ ボタン

送信やコピー、登録などを途中でやめるとき、または、アラーム音を止めるときに押します。

コピー ボタン（☛39 ページ）

コピーするときに押します。

スタート ボタン

ファクスの送信や受信をするときに押します。

テンキー ボタン

ダイヤルするときや、各種の機能を選ぶときに押します。

回転記録 ボタン

回転記録の設定を手動で切替えるときに押します。（☛39 ページ）

再ダイヤル／ポーズ ボタン

再ダイヤルするとき（☛30 ページ）、または、番号の間に空白時間を入れるときに押します。

短縮 ボタン（☛26 ページ）

短縮ダイヤルするときに押します。

トーン ボタン

回転ダイヤル式回線でプッシュホン信号を使いたいときに押します。

ディスプレイ

日、時刻、宛先、電話番号、装置の状態などを表示します。

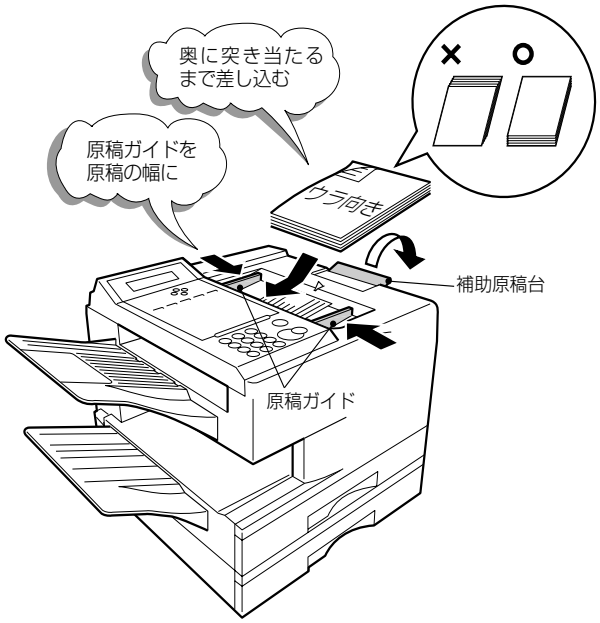
ファンクション ボタン

各種の機能を選ぶときや、登録するときに押します。

クイックダイヤル ボタン（☛28 ページ）

クイックダイヤルするときに押します。

原稿のセットのしかた



原稿をセットする

原稿は正しくセットしてください。原稿づまりなどのトラブルの原因になります。

1 原稿ガイドを合わせる

・原稿ガイドをスライドさせて、原稿の幅に合わせます。

2 送る面をウラ向きにする

3 奥に突き当たるまで差し込む

お知らせ

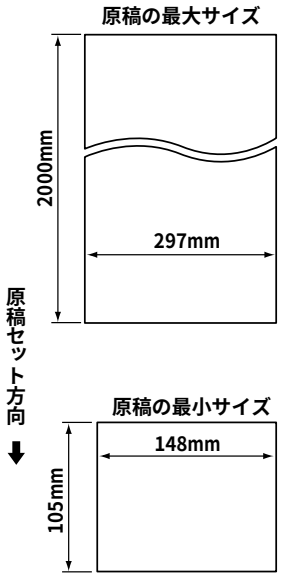
● B 4サイズ以上の原稿をセットするときは、補助原稿台を開いて使います。

原稿について

原稿のサイズ

送信またはコピーできる原稿は、次のサイズのものに限ります。次のサイズ以外の原稿は、複写機でコピーしてから、送信または、コピーしてください。

	1枚だけセットするとき	複数枚の原稿をセットするとき
最大	297 × 2000mm （最大読取幅は 292mm）	297 × 420mm （最大読取幅は 292mm）
最小	148mm × 105mm	148mm × 105mm
1度にセットできる枚数	----------	30 枚
原稿の紙厚	0.05 ～ 0.15mm	0.06 ～ 0.1mm
原稿の紙質	上質紙相当（表、裏ともコーティングのないもの）	

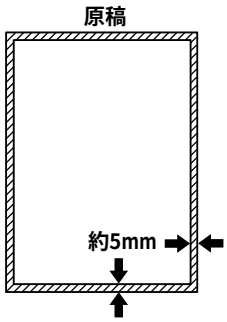


お知らせ

- 複数の原稿をセットするときは、同一サイズで同質の原稿をセットしてください。
- 原稿の厚さが 0.1mm を越え、0.13mm 以下のときは最大 20 枚までしかセットできません。

有効読取画面について

原稿の端に文字などを記入すると、相手の記録紙にプリントされない場合があります。
右図の斜線部分には、文字などを記入しないようにしてください。



お知らせ

- 最大の有効読取幅は 292mm です。セットした原稿の幅が、292mm より大きい場合は、読み取ることができない範囲があります。
- ファクス送信するときに、システム登録の「発信元印字」が“原稿内”に設定されている場合は、先端および後端から 10mm まで文字などを書かないでください。発信元情報を送るため、相手の記録紙にプリントされません。

相手機種との送信について

送信する相手にセットされている用紙のサイズに応じて、自動的に縮小して送信します。

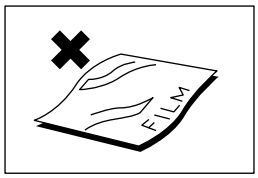
相手機 ＼ 送信原稿	A3	B4	A4
G 3　A3 機	そのまま	そのまま	そのまま
G 3　B4 機	B4 に縮小	そのまま	そのまま
G 3　A4 機	A4 に縮小	A4 に縮小	そのまま

原稿についてのご注意

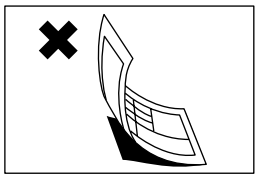
原稿をセットするときは、次のようなことにご注意してください。

■インクなどの乾いていない原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。（読取部の汚れの原因）
■原稿にクリップやホチキスの針を付けたままセットしないでください。（故障の原因）

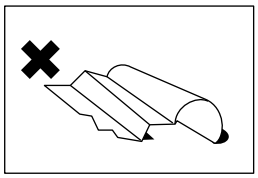
次のような原稿は、複写機でコピーしてから、送信またはコピーするか、専用の「キャリアシート」をお使いください。



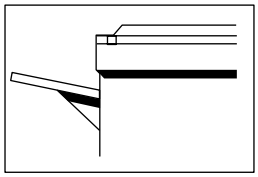
フィルム状の原稿、トレーシングペーパーのような透明な原稿



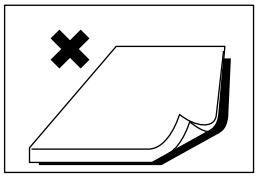
感圧紙、裏カーボン紙などの化学処理をした原稿



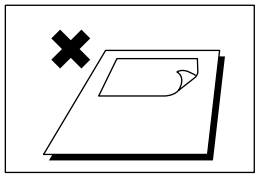
破れ、しわ、カールや折目のついた原稿



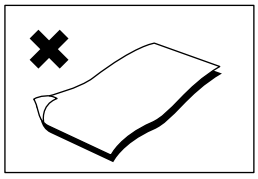
複写機



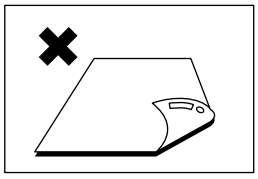
紙厚の厚すぎる（0.15mm を超える）原稿、布地、金属シート、印画紙



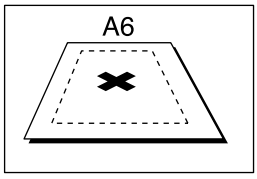
貼り合わせた原稿



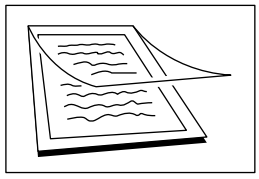
紙厚の薄すぎる（0.05mm 未満）原稿



表または裏がコーティングされている原稿



A6（148mm×105mm）より小さい原稿



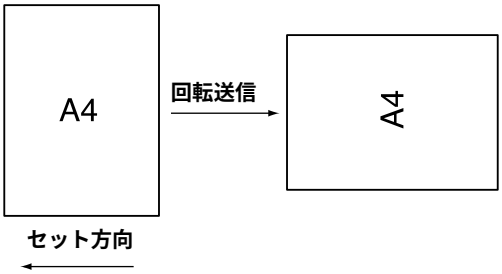
キャリアシート

お知らせ

- キャリアシートは当社指定のものをお使いください。（品番　A4：UG-1100A4　B4：UG-1100B4　A3：UG-1100A3）
- キャリアシートのお求めは、お買い上げの販売店またはサービス実施会社にお問い合わせください。
- 複数枚のキャリアシートをセットして、送信、コピーすることはできません。
- キャリアシートをお使いになるときは、済スタンプを使わないでください。

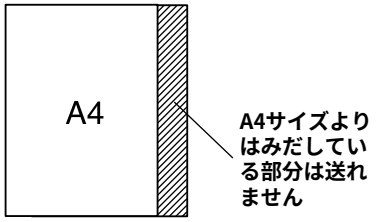
原稿サイズとセット方向について

本機ではセットされた原稿のサイズと向きを自動で検知するセンサーが原稿挿入口と原稿台についています。
従来ですと A4 原稿の長辺側を原稿挿入口にセットするとA3 サイズと認識し送信するため、相手機に A3 等倍受信能力がない場合は縮小送信していました。
本機では原稿長検出センサー（☛ 16 ページ）によりA4▯と認識し自動的に画情報を90°回転してA4▭として等倍送信します。



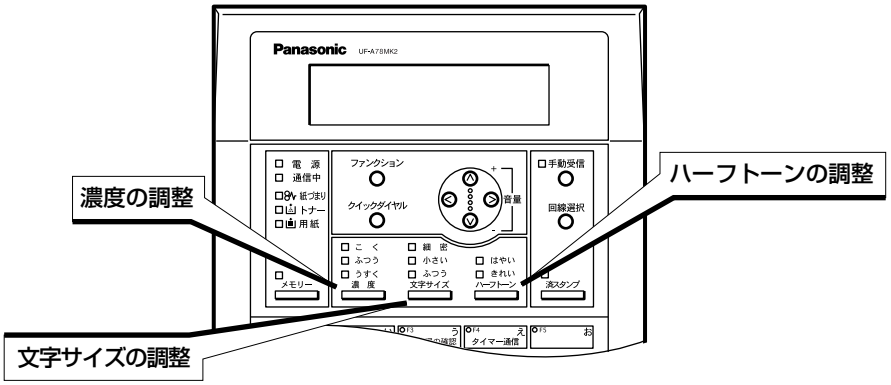
お知らせ

- 回転送信した場合、定型サイズの部分しか送ることはできません。
- しわやカールのきつい原稿は原稿台のセンサーが誤動作しますので、しわやカールを伸ばしてからご使用ください。
- A5 より小さい原稿（A6 サイズ）は A5 として検知します。



画質の選びかた

セットした原稿に合わせて、濃度・文字サイズ・ハーフトーンを選ぶことができます。
- 濃度を選ぶとき　　：原稿の濃さに合わせて選んでください。
- 文字サイズを選ぶとき　：原稿の文字の大きさに合わせて選んでください。
- ハーフトーンを選ぶとき　：写真やカタログなどの原稿を送るときに選んでください。



濃度を選ぶ

濃　度 を押して選びます。

文字が薄い原稿	■ こ　く □ ふつう □ うすく 濃　度
普通の濃さの原稿	□ こ　く ■ ふつう □ うすく 濃　度
色紙などのように紙の色の濃い原稿	□ こ　く □ ふつう ■ うすく 濃　度

文字サイズを選ぶ

文字サイズ を押して選びます。

特に細かい文字の原稿	■ 細　密 □ 小さい □ ふつう 文字サイズ
新聞などのように細かい文字の原稿	□ 細　密 ■ 小さい □ ふつう 文字サイズ
普通の大きさの文字の原稿	□ 細　密 □ 小さい ■ ふつう 文字サイズ

ハーフトーンを選ぶ

ハーフトーン を押して選びます。

中間調を生かして早く送信したいとき	■ はやい □ きれい ハーフトーン
よりきれいに送信するとき	□ はやい ■ きれい ハーフトーン
ハーフトーンを使わないで送信したいとき	□ はやい □ きれい ハーフトーン

お知らせ

- よくお使いになる画質を登録しておけば、原稿をセットするたびに設定を変える手間が省けます。（☛ 123 ページ）

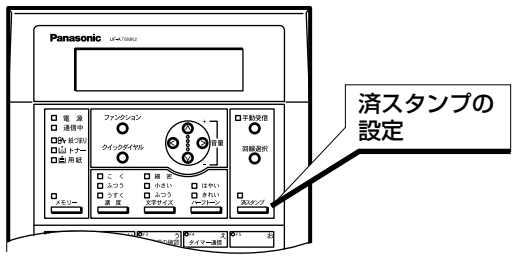
済スタンプの使いかた

送信済みの原稿に㊍マークを押すことができます。

済スタンプ を押して切り替えてください。

㊍マークを押したいとき　■ 済スタンプ

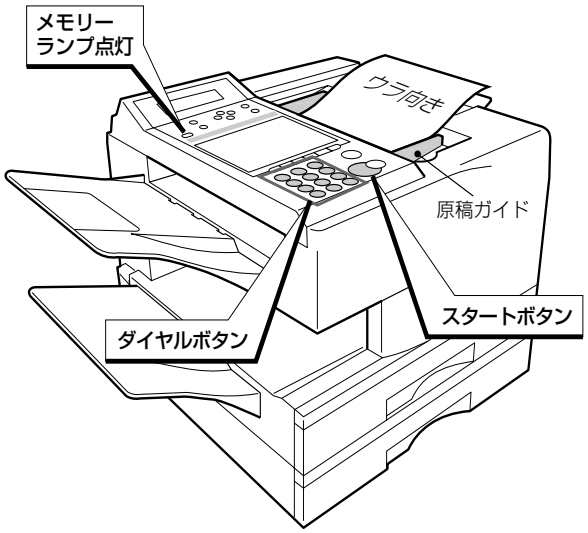
㊍マークを押さないとき　□ 済スタンプ



お知らせ

- 済スタンプの色はピンクです。押された済スタンプは消えません。
- 済スタンプをトレーシングペーパーなどの表面処理された原稿に使用すると、にじむことがあります。
- 工場出荷時はシステム登録の「メモリー済スタンプ」（☛ 123ページ）は、“あり”になっています。メモリー送信または、ポーリング送信をする原稿に「㊍」マークを付けたくないときは、「メモリー済スタンプ」の設定を“なし”にしてください。

ファクスを送る



直接ダイヤルで送る

■ メモリー ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
(☛24 ページ)

```
０３月１０日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ダイヤルする（最大 52 ケタ）

```
メモリー送信        宛先数：0000

0334919191              外線
```

3 スタート を押す

・原稿読取開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

```
メモリー送信          受付No.001
通信中（外線）      送信頁：０１
0334919191
```

お知らせ

- 宛先を間違えたときは、クリアー を押して再指定してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップ を押したあとに (1)(はい) を押してください。
- 直接ダイヤルでは、ダイヤルボタン (0～9、*、#)、ポーズ (-)、トーン (/) が使えます。
- メモリーには、A 4標準原稿でUF-A80MK2タイプで約１２０枚まで(UF-A80MMK2/A80MSMK2 は約１４４０枚まで)、UF-A78MK2 で約６０枚まで蓄積できます。

内線の相手にファクスを送る

本機では、「外線」用の電話回線のほかに「内線」としてもう１本電話回線を接続することができます。「内線」に接続した電話回線を使ってダイヤルするときは、次のようにしてください。

1 原稿をセットする

```
 ３月１０日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 回線選択 を押し、「内線」を ○ 表示させる

```
メモリー送信        宛先数：0000

                          内線
```

3 宛先を指定し スタート を押す

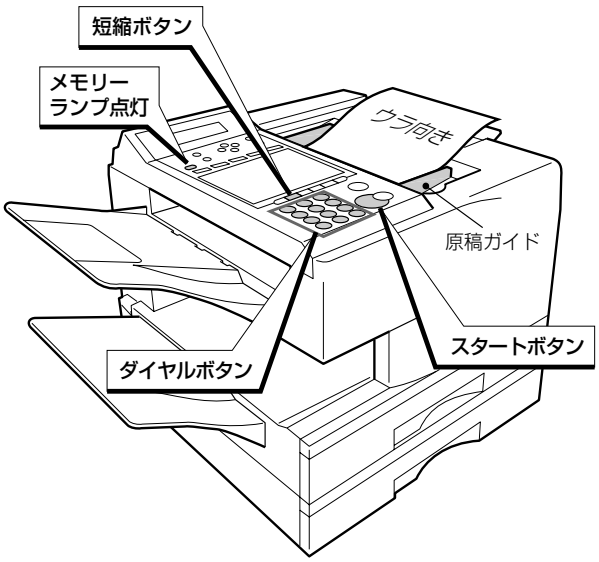
・原稿を読み取り、送信が開始されます。

お知らせ

- UF-A80MK2 タイプは、オプションの G3/G4 通信ユニットを増設して、最大 4 つの回線を選んでダイヤルすることができます。

短縮ダイヤルで送る

あらかじめ短縮ダイヤルを登録しておいてください。（☛94 ページ）短縮ダイヤルは０００～９９９までの任意の２００ヵ所（UF-A80SMK2/A80MSMK2 は１０００ヵ所）をお使いになれます。



■メモリー ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☛24 ページ）

```
 3月１０日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 短縮 を押す

```
メモリー送信        宛先数：0000

短縮：__     （3桁）
```

3 短縮番号(000～999)を選ぶ

・ダイヤルボタンで短縮番号を選びます。

```
メモリー送信        宛先数：0001
松下電送システム
短縮：００１（3桁）
```

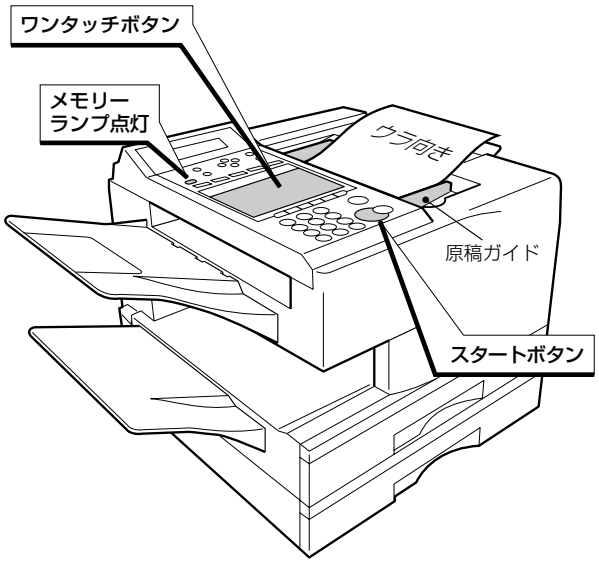
4 スタート を押す

・原稿読取が開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

```
メモリー送信          受付No.001
通信中（外線）      送信頁：０１
ﾏﾂｼﾀﾃﾞﾝｿｳｼｽﾃﾑ
```

お知らせ

- 宛先を間違えたときは、ストップを押してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに 1（はい）を押してください。



ワンタッチボタンで送る

あらかじめワンタッチダイヤルにダイヤル番号を登録しておいてください（☛92 ページ）。

■メモリー ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☛24 ページ）

```
 3月10日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ワンタッチボタン（01～50、F1～F10）を押す（★）

```
メモリー送信        宛先数：0001
東京本社
ワンタッチ：01
```

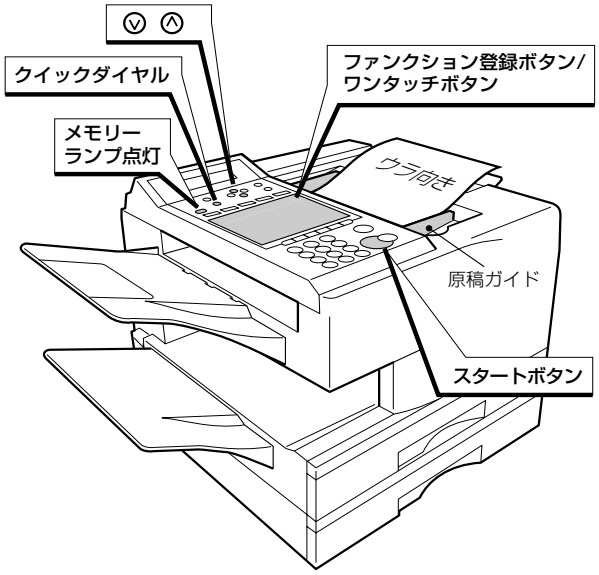
3 スタート を押す

・原稿読取が開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

```
メモリー送信          受付No.001
通信中（外線）        送信頁：01
ﾄｳｷｮｳ ﾎﾝｼｬ
```

お知らせ

● 宛先を間違えたときは、ストップを押してください。
● 送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに 1（はい）を押してください。
★ ファンクション登録ボタン [F1] ～ [F10] にダイヤル番号を登録して（☛92 ページ）おけば、ワンタッチボタンと同じようにしてファクスを送ることができます。
★ 複数の宛先が登録されているワンタッチボタンとスタートを選ぶと、自動的に順次同報送信を始めます。



クイックダイヤルで送る

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録(☛91 ページ)してある宛先を、宛先名で探してダイヤルできます。

■メモリー ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
(☛24 ページ)

```
 3月１０日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 クイックダイヤル ○ を押す

```
 ＊ クイックダイヤル ＊
検索文字（あ〜わ）を指定して
ください
```

3 検索文字を選ぶ

・ファンクション登録ボタンとワンタッチボタンを使って検索文字を選びます。
・ファンクションＦ １〜Ｆ １０：あ〜こ
ワンタッチ０１〜３８　　：さ〜ん

```
[ と ]              短縮：012
宛先名：東北支店
```

4 ⓥ ⓐを押して宛先を選ぶ

例：「東京本社」

```
[ と ]          ワンタッチ：01
宛先名：東京本社
```

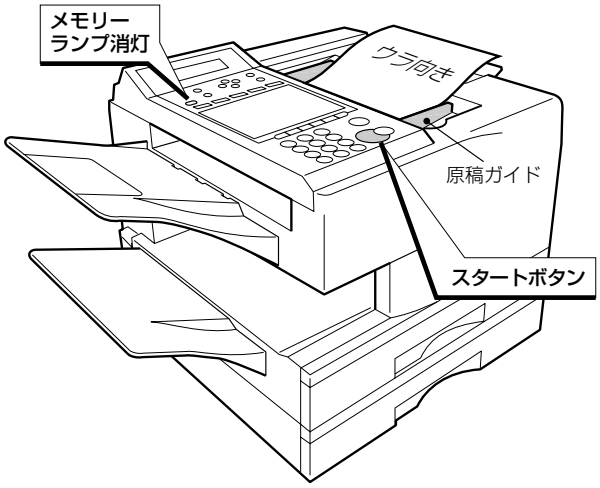
5 スタート を押す

・原稿読取が開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

```
メモリー送信          受付No.001
通信中（外線）    送信頁：０１
ﾄｳｷｮｳ ﾎﾝｼｬ
```

お知らせ

● 宛先を間違えたときは、ストップ を押してください。
● 送信を途中でやめるときは、ストップ を押したあとに 1 (はい) を押してください。



ダイレクト送信をする

原稿の枚数が多いなどでメモリーに入りきらないときにお使いください。

□ メモリー ランプ消灯状態で

・点灯しているときは、押して消灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛24 ページ）

```
 3月10日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 宛先を指定する

```
ダイレクト通信

0334919191              外線
```

3 スタート を押す

・宛先にダイヤルし、送信が開始されます。

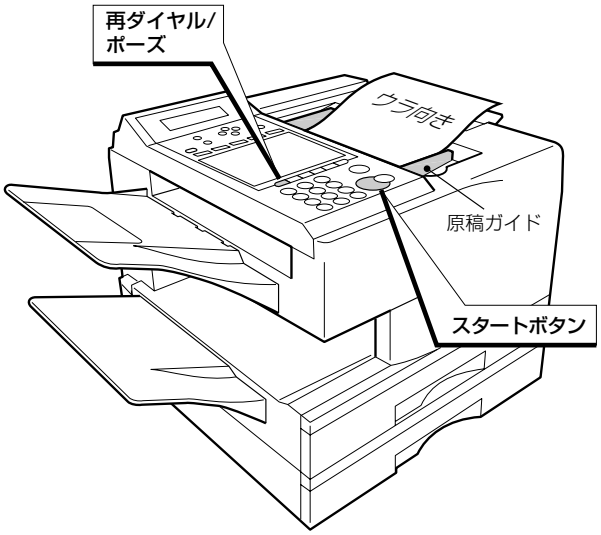
```
ダイレクト通信        受付No.001
ダイヤル中（外線）
0334919191
```

お知らせ

- ダイレクト送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに 1（はい）を押してください。
- 手順 2 で宛先は直接ダイヤル、短縮ダイヤル、ワンタッチボタン、クイックダイヤルから選べます。

再ダイヤルで送る

最後に通信をした宛先に、もう一度ファクスを送ります。



1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛24 ページ）

```
 3月１０日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 再ダイヤル/ポーズ スタート を押す

・宛先にダイヤルし、送信が開始されます。

```
メモリー送信          受付No.001
ダイヤル中（外線）
0334919191
```

自動再ダイヤル

相手が話し中などでつながらなかった場合、約 3 分間隔で 2 回まで自動的に再ダイヤルします。

メモリー送信をしたとき

●再ダイヤル待ちのとき

```
メモリー送信          受付 No.001
再ダイヤル待ち
松下電送システム
```

・3 分間隔で 2 回まで自動的に再ダイヤルします。

●再ダイヤルを取り消すには、ディスプレイに「再ダイヤル待ち」が表示されているときに ストップ (1) を押します。

●再ダイヤル待ちのときに、次の送信をしたいときは、通常通り送信してください。
●つながらなかったときは、エラーメッセージ「通信エラーがありました」が表示されます。

ダイレクト送信をしたとき

●再ダイヤル待ちのとき

```
ダイレクト通信        受付No.001
再ダイヤル待ち
松下電送システム
```

・3 分間隔で 2 回まで自動的に再ダイヤルします。

●再ダイヤルを取り消すには、ストップ (1) を押します。

●再ダイヤル待ちのときに、次の送信をしたいときは、ストップ (1) を押して取り消してから送信してください。
●つながらなかったときは、エラーメッセージ「通信エラーがありました」が表示されます。

回転送信について

A4 原稿を「← 」方向へセットしたとき、読み取った画像を 90° 回転して送信して、相手の A4 用紙に等倍送信します。

1 システム登録を選ぶ
・ファンクション ○ ⑦ ④ セット

2 回転送信の設定を選ぶ
・⓪ ⑦ ⑧ セット

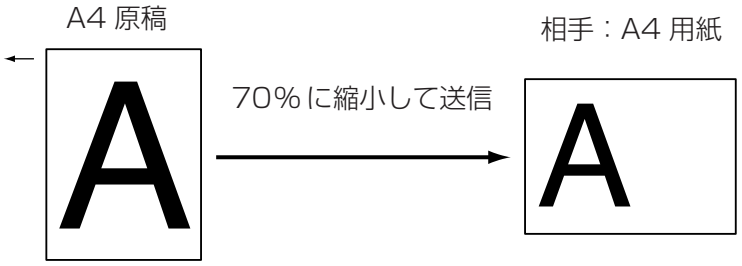
```
078 回転送信          設定 :1
1．なし      2．あり
```

3 回転送信を有効にする
・② セット

4 ストップ を押す

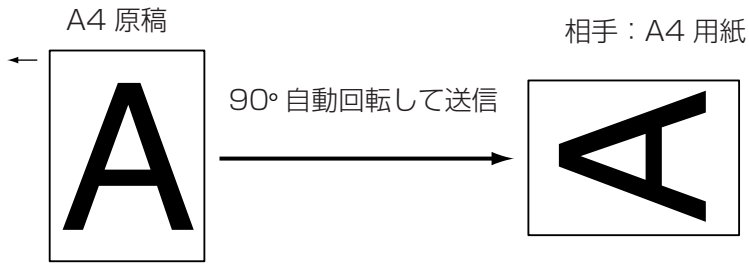
回転送信をしない場合

（図 1）　ウラ向きにして原稿台に挿入



回転送信を有効にした場合

（図 2）　ウラ向きにして原稿台に挿入



お知らせ

- 回転送信は、メモリー送信（メモリーランプが点灯）のときにご利用できます。ダイレクト送信（メモリーランプが消灯）では、回転送信はおこないません。
- お買い上げ時の設定では、システム登録の「回転送信」は " あり " になっています。

メモリーがいっぱいになると

システム登録の「クイックメモリー送信」(☛ 124 ページ) の設定が " あり " のときにメモリーがいっぱいになると、蓄積された部分までを自動的に送信します。メモリーに蓄積されたページの送信終了後、残りの原稿を送信し直してください。また、設定が " なし " のときにメモリーがいっぱいになった場合は、次のどちらかの操作をしてください。

- 1：実行で、完全に蓄積されたページまでを送信します。残りの原稿を送信し直してください。
- 2：中止で動作を中止し、メモリーの内容の消去を行います。再度すべての原稿を「ダイレクト送信」してください。

1 アラームが鳴る

```
メモリーが一杯になりました
動作を指定してください
1：実行      2：中止
```

2 ①または②を押す

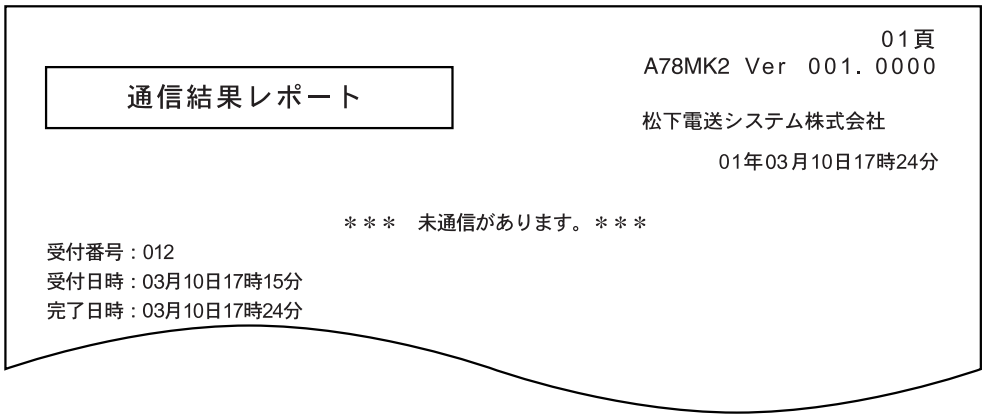
お知らせ

- 1 ページ目でメモリーがいっぱいになったときは、送信することはできません。
- 取り消しの選択画面が表示されてから、約 1 分、何も操作しないと、自動的にメモリーの内容が宛先に送信されます。
- システム登録の「クイックメモリー送信」(☛ 124 ページ) の設定が " なし " のとき、宛先数が 1 つで複数枚メモリー送信する場合、メモリー使用量が 70％を超えた場合は、自動的にダイレクト送信に切り替わって送信します。

通信結果レポート

送信やポーリング受信などをしたとき、宛先や通信結果をレポートにしてプリントできます。

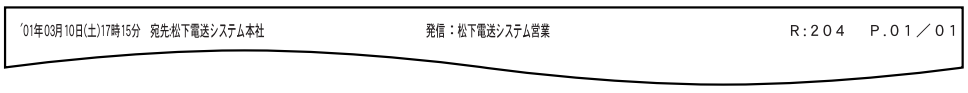
- システム登録の「通信結果レポート」を設定すれば、レポートのプリント方法を選択できます。(☛ 123 ページ)
- お買い上げ時は、通信エラーのときだけレポートをプリントします。



発信元情報について

ファクスを送信したとき、発信元に登録（☛ 133 ページ）された会社名や部署名を通信時刻などと一緒に相手の用紙の先端にプリントできます。

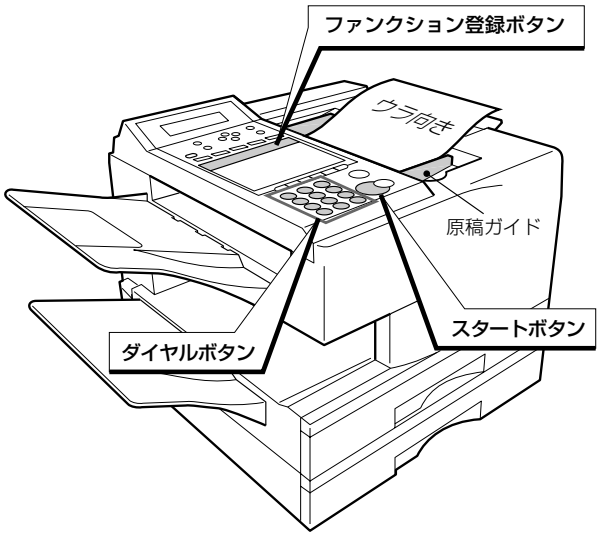
相手用紙のプリント例



電話番号を組み合わせて送る（ハイブリッドダイヤル）

ハイブリッドダイヤルを使えば、短縮ダイヤルやワンタッチボタンに登録した電話番号を組み合わせてお使いになることができます。

● あらかじめファンクション登録ボタン（F 1～F 10）のいずれかにハイブリッドダイヤルを登録してください。（☛105 ページ）



例：「ワンタッチボタン 02」に登録されている「0088」と、「短縮ダイヤル 001」に登録されている「0334919191」を組み合わせてダイヤルする場合

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☛24 ページ）

```
 3月10日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ハイブリッドダイヤルを選ぶ

・ハイブリッドダイヤルが登録されているファンクション登録ボタンを押します。

3 組み合わせるダイヤルを選ぶ（ダイヤルの組み合わせ最大桁数：52 ケタ）

例：「ワンタッチボタン 02」と「短縮ダイヤル 001」を組み合わせる。

ワンタッチボタン「02」を押す

```
メモリー送信        宛先数：0000
ワンタッチ：02
0088                    外線
```

▼

短縮ダイヤル「001」を選ぶ

```
メモリー送信        宛先数：0000
短縮：001
00880334919191          外線
```

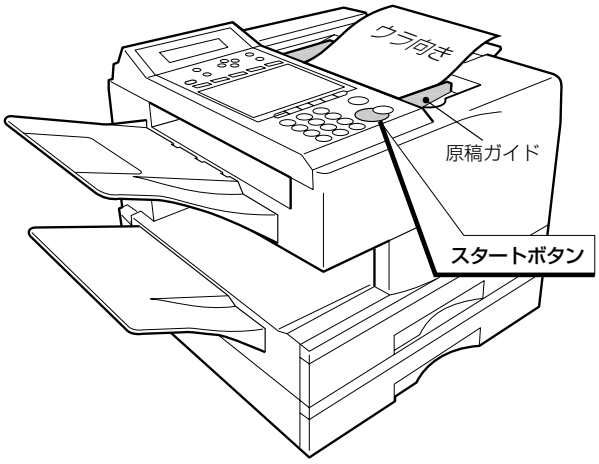
4 スタート を押す

・送信が開始されます。

お知らせ

- ●ハイブリッドダイヤルでは、クイックダイヤルで宛先を選ぶことはできません。
- ●ダイヤルボタンをお使いになるときは、ハイブリッドダイヤルを選ぶまえにダイヤルしてください。
- ●複数の宛先が登録されているワンタッチボタンをハイブリッドダイヤルの宛先に指定することはできません。
- ●途中でダイヤルをやめるときは、ストップを押してください。
- ●電話をお使いのときは、ハイブリッドダイヤルを指定することはできません。

一度にたくさんの相手に送る（順次同報送信）



1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛24 ページ）

```
 3月１０日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 複数の宛先を選ぶ

・複数宛先の指定のしかた。
（☛35 ページ）

3 ◇スタート を押す

・原稿読取が開始されます。

お知らせ

● 送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに 1（はい）を押してください。

複数宛先の指定のしかた

宛先は直接ダイヤルで２０ヵ所、短縮ダイヤル・ワンタッチボタンのうちで２００ヵ所の計２２０ヵ所（UF-A80SMK2/A80MSMK2は１０２０ヵ所）まで指定できます。

● 直接ダイヤルで選ぶ→[宛先の電話番号]＋[セット]→次の宛先を選べる

● 短縮ダイヤルで選ぶ→[短 縮]＋[指定する短縮番号]→次の宛先を選べる

● ワンタッチボタン･ファンクション登録ボタンで選ぶ
→指定するワンタッチボタン・ファンクション登録ボタンを押す→次の宛先を選べる

● クイックダイヤルで選ぶ
→[クイックダイヤル]→[検索文字を選ぶ]＋[宛先を表示させる]＋[セット]→次の宛先を選べる

● ハイブリッドダイヤルで選ぶ
→[ハイブリッドダイヤル]＋[組み合わせる短縮ボタンまたはワンタッチボタン]＋[セット]→
次の宛先を選べる

例：「０３３４９１９１９１」「ワンタッチボタン０１」「短縮ダイヤル００１」を指定する。

1 原稿をセットする

2 ダイヤルする

```
メモリー送信        宛先数：0000
0334919191              外線
```

3 [セット]を押す

```
メモリー送信        宛先数：0001
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します
```

4 [001 さ]を押す

```
メモリー送信        宛先数：0002
東京本社
ワンタッチ：０１
```

5 [短 縮] ⓪ ⓪ ①を押す

```
メモリー送信        宛先数：0003
松下電送システム
短縮：００１（3桁）
```

6 [セット]を押す

```
メモリー送信        宛先数：0003
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します
```

7 [◇ スタート]を押す

・原稿を読み取り、送信が開始されます。

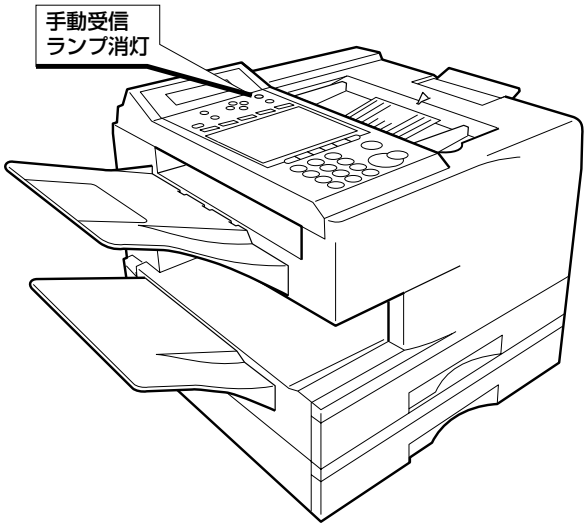
お知らせ

● 複数宛先指定の途中で ⓥ ⓐ ボタンを押すと、指定した宛先の確認ができます。
● 間違った宛先を指定したときは、ⓥ ⓐ ボタンで宛先を表示させてから[クリアー]を押してください。

ファクスを受ける

自動受信のしかた

相手がファクスを送ってくると、自動的に受信を始めます。



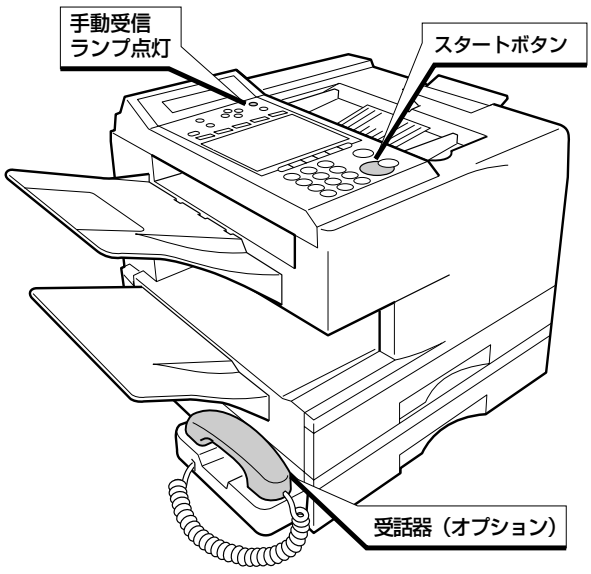
□ 手動受信 ○ ランプ消灯状態で
・点灯しているときは、押して消灯させる。

1 相手がファクスを送ってくると、呼出音は鳴らないでつながる

2 自動的に受信が始まる

相手と話してから受信する（手動受信）

本機にオプションのハンドセットユニットを接続してお使いになっている場合、接続した受話器で話をしたあとファクスの受信ができます。



■ 手動受信 ○ ランプ点灯状態で
・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 呼出音が鳴ったら受話器を上げる

2 相手と話をする（★）

3 原稿をセットしないで を押す

4 受話器を戻す（★★）

お知らせ

★ 受話器を上げたときに何も聞こえない場合は、手順3の操作をして受信に切り替えてください。

★★ を押すまえに受話器を戻すと、電話が切れます。

● オプションのハンドセットユニットをお使いになるときは、システム登録の「OPハンドセット」の設定を“あり”にしてください。（☛124 ページ）

● 外部電話機の受話器を上げて を押しても、受信に切り替りません。外部電話機からのリモート受信操作をしてください。（☛38 ページ）

メモリー代行受信

用紙がなくなったなどでプリントできなくなっても、メモリーが代わりに受信します。

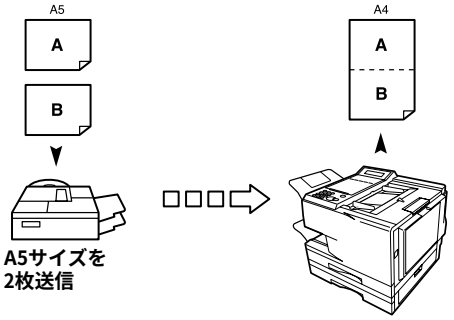
1 用紙がなくなるとメモリーが代わりに受信する
2 受信が終わる
3 用紙を補給する
・プリント開始。

お知らせ

- メモリーには制限があります。用紙は早めに補充してください。(☛146 ページ)
- システム登録の「代行出力」の設定が“あり”になっているときは、適正サイズの用紙が無くなると、他のカセットにセットされている用紙に記録します。(☛124 ページ)
- メモリーには A 4標準原稿 (A 4サイズ700字程度の原稿) で UF-A80MK2 タイプで約120枚まで (UF-A80MMK2/A80MSMK2 は約1440枚まで)、UF-A78MK2 で約60枚まで受信できます。

2 in 1受信

相手が A 5サイズの原稿を2枚または、B 5サイズの原稿を2枚送ってきたとき、A 4または B 4サイズの用紙1枚にまとめてプリントします。

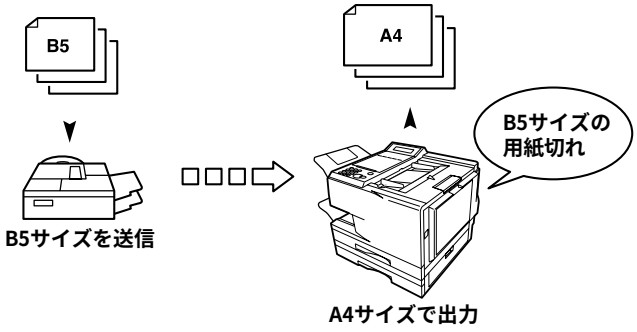


お知らせ

- システム登録の「受信2 in 1機能」の設定が“なし”になっているときは、2 in 1受信できません。(☛124 ページ)

代行出力

本機は相手が送ってきた原稿に合わせて、受信した原稿を最適なサイズの用紙でプリントします。
代行出力の設定をしておけば、プリントの途中で用紙がなくなっても他のカセットにセットされている用紙を使って、受信した原稿をプリントできます。

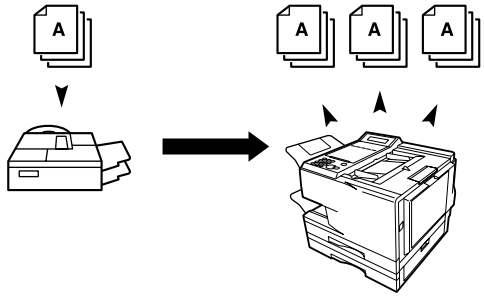


お知らせ

- 他の用紙にはプリントしたくないときは、システム登録の「代行出力」の設定を“なし”にしておいてください。(☛124 ページ)

マルチプリント受信

受信したときに、あらかじめ設定した部数だけプリントすることができます。



お知らせ

- ●マルチプリント受信をするには、システム登録の「マルチプリント部数」の設定が必要です（☛ 124 ページ）。
- ●短縮ダイヤルに登録してある宛先からマルチプリント受信を設定するには、次の設定が必要です。
  - ・特殊通信機能の登録で「マルチプリント部数」を指定する。（☛96 ページ）
  - ・送信側（相手機）での自局情報の登録をする。

正順プリント

システム登録の「正順プリント」の設定を“あり”にすると、複数ページの受信をしたときに、プリントする順番を上から 1・2・3…ページと順に並べられます。（☛ 124 ページ）

お知らせ

- ●メモリー使用量が約 85%になると、正順プリントをしないで、そのままプリントします。

リモート受信

システム登録の「リモート受信」の設定を“あり”にすると、外部電話機で話をした後、外部電話機からの操作で受信に切り替えることができます。（☛ 124 ページ）

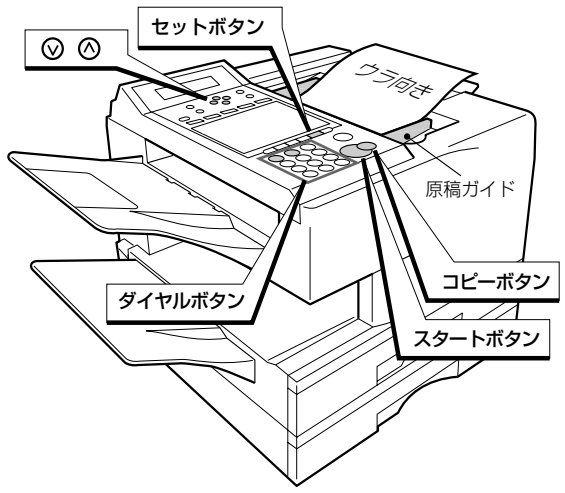
1 **外部電話機の受話器を上げ、相手と話をする**	*2* **ファクスの受信に切り替える** ・プッシュホン式回線をお使いの場合： ⑭ ⑭（2 秒以内に押す） ・回転ダイヤル式回線をお使いの場合： ⑨ ⑨（5 秒以内にダイヤルする）	*3* **受話器を戻す**

お知らせ

- ●外部電話機から、電話をかけたときは、リモート受信できません。
- ●手順 1 でファクス送信音「ポー・・ポー・・」が聞こえた場合、相手は自動送信のファクスです。手順 2 の操作をしてください。

コピーのしかた

コピーをするとき、次の３つの項目を選んでください。
- コピーの部数を指定する。
- ソートコピーまたはマルチコピーを選ぶ。
  - ソートコピー：コピーする原稿をすべて読み取り、ページの順番を合わせて、指定部数をコピー
  - マルチコピー：原稿を１枚ずつ読み取り、指定部数をコピー
- コピーする用紙を選ぶ。



コピーについてのお知らせ

次のようなコピーを所有するだけでも、法律により罰せられますのでお気を付けください。

- 紙幣・貨幣・政府発行の有価証券･国債証券
- 外国で流通する紙幣・貨幣・証券類
- 未使用郵便切手・官製ハガキ・政府発行の印紙・酒税法で規定の証券類
- 著作権の目的となっている書籍･絵画･版画･地図・図面・写真などの著作物は、個人的または家庭内その他、これに準じる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁止されています。

1 図のように原稿をセットする

･ 原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛24 ページ）

```
 3月10日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 コピー を押す

```
コピー
部数＝  1  倍率＝100%
A4▭→カセット 1（A4▭）
```

3 コピーする部数（最大９９部）を入れる

･ ダイヤルボタンでコピーする部数を入れます。

4 セット を押す

```
コピー
ソート指定
1：する        2：しない
```

5 ①または②を選び セット を押す

1：する　→ソートコピーをする
2：しない→マルチコピーをする

```
コピー
用紙選択（1－2）
1：カセット1＝A 4
```

6 プリントする用紙カセットを①～④で選び セット を押す

･ ③、④はオプションカセット設定時に設定できます。

```
コピー
等倍
倍率＝100%
```

7 ⓥまたはⓐを繰り返し押して固定倍率を選び セット を押す

･ 原稿を 90° 回転させてコピー（回転記録）の設定を手動で切替えるときは ＃（回転記録）を押します。

```
コピー
等倍
倍率＝100%          回転
```

8 スタート を押す

･ 原稿を読み取り、コピーが開始されます。

お知らせ

- コピーを途中でやめるときは、ストップを押してください。
- 文字サイズは自動的に「細密」になります。
- 手順 2 で濃度、ハーフトーンを設定できます。ハーフトーンを設定したときは自動的に「きれい」になります。
- 手順 2 原稿の大きさを認識し、原稿の大きさに合った用紙と倍率（縮小率）を自動的に選択します。認識した原稿の大きさと選択した用紙は、ディスプレイの下段に表示されます。
- A5 より小さい原稿（A6 サイズ）は、A5 サイズとして検知されます。
- 原稿と用紙の方向によって、原稿を 90° 回転させてコピー（回転記録）をする場合があります。
- 異なったサイズの原稿をいっしょにセットしてコピーすると、正しくコピーできない場合があります。
- コピー中に用紙が無くなったときは、いったん読み取った原稿はメモリーから消去され、コピーは中断されます。用紙を補充し、まだコピーされていない原稿をもう一度セットして手順 1 から操作し直してください。
- 原稿を読み取り中にメモリーがいっぱいになった場合には、手順 4 で［ソートしない］を選択してコピーし直してください。
- 回転ソートコピーをする場合は、システム登録の「回転ソート」の設定を“あり”にしてください。（☛ 124 ページ）
- 用紙サイズの表示に［＊＊＊＊］と表示されたときは、用紙カセットが正しくセットされていないか、手差しトレイの用紙サイズダイヤルが、表示の無いところに合わせてあります。正しくセットし直してください。
- 手順 6 で用紙を選択したときのコピー倍率は下表のようになります。手順 7 で変更します。

原稿＼選択用紙	用紙						
	A3	B4	A4	A4 □	B5 □	A5 □	はがき
A3	等倍	86%	70%	R70%	R61%	R50%	50%
B4	等倍	等倍	81%	R81%	R70%	R57%	50%
A4	等倍	等倍	等倍	R 等倍	R86%	R70%	50%
A4 □	等倍	R 等倍	R 等倍	等倍	86%	70%	R50%
B5 □	等倍	等倍	R 等倍	等倍	等倍	81%	R57%
A5 □	等倍	等倍	等倍	等倍	等倍	等倍	R 等倍

- 「RXX」は回転してコピーします。
- はがきへコピーするときは、コピーされない部分ができます。

はがきサイズの原稿を、はがきにコピーするときには

1 原稿をセットする
・原稿はコピーされる面を裏（下）にしてセットする。

2 手差しトレイを開き、はがきをセットし、用紙サイズダイヤルを「ハガキ」に合わせる
・はがきはプリントされる面を上にしてセットする。

3 コピーを押す
・はがきサイズ（A6）の原稿をセットすると、A5 と検知します。

```
コピー
部数＝　１　倍率１００％
A5→テザシ（ハガキ）　回転
```

4 ②を押す
・コピー部数を指定する（コピー部数 2 部の例）。

```
コピー
部数＝　２　倍率１００％
A5→テザシ（ハガキ）　回転
```

5 セットを押して応用コピーに切り替える。1または2を選択してセットを押す。

```
コピー
ソート指定
１：する　　２：しない
```

6 ＜ ＞を押して手差しトレイを選択する

```
コピー
用紙選択（１－３）
３：テザシ＝ハガキ
```

7 セットを押す

```
コピー
等倍
倍率＝１００％　　回転
```

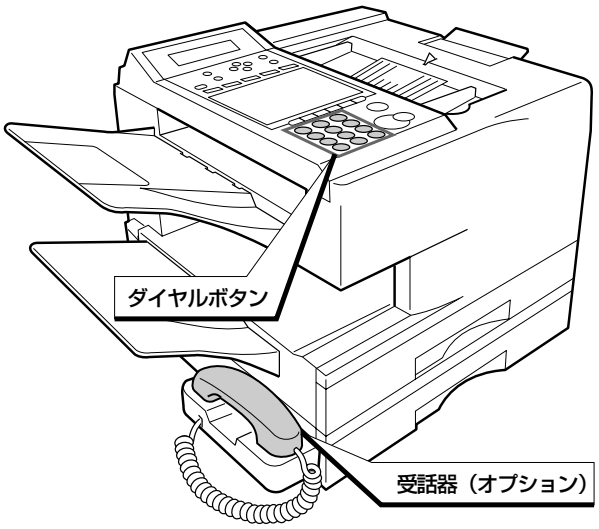
8 スタートを押す

```
マルチコピー　部数：０１／０２

プリントしています
```

お知らせ
- 官製はがき以外の厚いはがきにコピーすると、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となります。
- 手差しトレイに一度にセットできる官製はがきは、最大 5 枚です。

電話の使いかた（オプション）



電話をかける

1 受話器を上げる

・「ツー」が聞こえる。
・《通信中》ランプが点滅する。

```
  3月10日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
受話器が上がっています
```

2 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル
・ダイヤルのしかた（☛ 25 ページ）

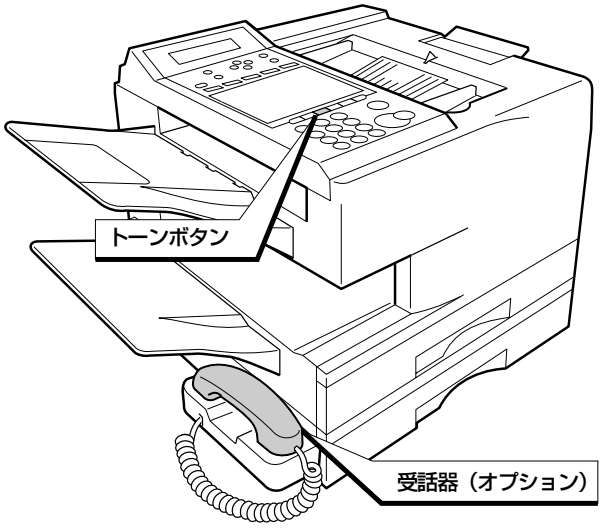
```
  3月10日（土）17:15     00%
ダイヤルしています
0334919191
```

3 話をする

4 受話器を戻す

お知らせ

- オプションのハンドセットユニットをお使いになるときは、システム登録の「OP ハンドセット」の設定を“あり”にしてください。（☛ 124 ページ）
- 宛先を間違えたときは、受話器を戻して、手順 1 からやり直します。
- 手順 2 でワンタッチダイヤルを使用したとき、「ピピピ」と鳴ったときは、グループダイヤル（☛ 100 ページ）として登録されているかまたはプログラムダイヤルとして登録されているワンタッチダイヤルを選んでいます。電話をかけることはできません。
- 電話のとき、「クイックダイヤル」でダイヤルする場合は、スター を押します。
- モニター を押すと、受話器を上げないでダイヤルできます。電話がつながったら、受話器を上げてお話しください。



トーンボタンの使いかた

回転ダイヤル式回線をお使いの方でも、プッシュホン信号（ピッポッパッ）を使って、銀行残高照会などの各種サービスをご利用になれます。

1 受話器を上げる「ツー」が聞こえる。

・《通信中》ランプが点滅します。

```
 3月10日（土）17:15    00%
通信とコピーができます
受話器が上がっています
```

2 サービス提供元にダイヤルする

・サービス内容を確認します。

例

```
 3月10日（土）17:15    00%
ダイヤルしています
12345678
```

3 トーン を押す

・プッシュホン信号に切り替えます。

・プッシュホン式回線の方は トーン を押す必要はありません。

```
 3月10日（土）17:15    00%
ダイヤルしています
12345678/
```

4 案内にしたがって、番号を押す

```
 3月10日（土）17:15    00%
ダイヤルしています
12345678/123
```

5 受話器を戻す

・受話器を戻すと、プッシュホン信号送出機能は解除されます。

お知らせ

● モニター を押すと、受話器を上げないでダイヤルできます。電話がつながったら、受話器を上げてお話しください。

プッシュホン信号で受けられるサービス例

■JR 座席予約（※）
列車の空席状況を聞いたり、新幹線の座席予約ができます。

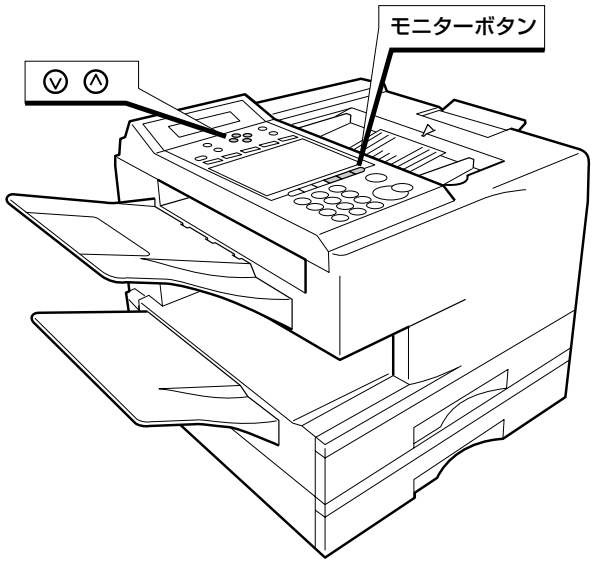
■航空券予約
国内航空大手の航空チケットが予約できます。

■銀行残高照会
口座の残高照会ができます。

■NTT の伝言ダイヤル（※）
待ち合わせの約束や外出中の連絡、伝言の録音／再生ができます。

（※）は、プッシュホン式回線利用者用のサービスです。ただし、「JR 座席予約」は、東京都区内とその周辺の方以外は、回転ダイヤル式回線でもご利用になれます。

音量の設定のしかた



モニター音量の設定

モニター を押したときなどに聞こえるスピーカー音の大きさを調整できます。

1 モニター を押す

```
 3月10日（土）17:15     00%
ダイヤルしてください
```

2 ⊽または⊼を押す

・現在、設定されているモニター音量が表示されます。

```
 3月10日（土）17:15     00%
      モニター音量
小 [ ■■■          ] 大
```

3 ⊽または⊼を押して、モニター音量を調整する

・ ⊼：モニター音が大きくなります。

・ ⊽：モニター音が小さくなります。

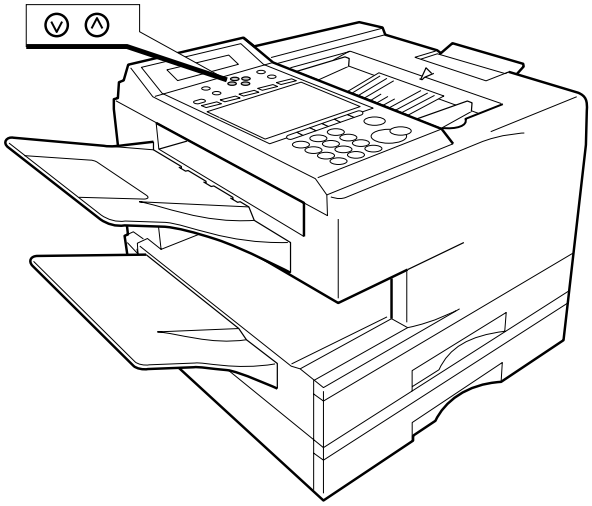
・音量は８段階まで調整できます。

・ ⊽を押して、“■”表示を消すと、モニター音は聞こえなくなります。

```
 3月10日（土）17:15     00%
      モニター音量
小 [               ] 大
```

4 モニター を押す

```
 3月10日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
```



呼出音量の設定

1 ⓥまたはⓐを押す

・現在、設定されている呼出音量が表示され、1 秒間、呼出音が鳴ります。

呼出音量
<<☎>>

2 ⓥまたはⓐを押して、呼出音を調整する

・テスト用の呼出音を聞きながら、お好みの大きさに調整します。

・ ⓐ：呼出音が大きくなります。

・ ⓥ：呼出音が小さくなります。

・呼出音は 3 段階まで調整できます。

ポーリング通信

ポーリングパスワードが一致すると、ポーリング送信側にセットしている原稿をポーリング受信側の操作で取り出すことができます。このとき、通信費はポーリング受信側の負担となります。

● ポーリング通信は機種が限定されます。詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

ポーリング送信

1 原稿をセットする

2 ファンクション ○ ③を押す

ポーリング
1．ポーリング受信
2．ポーリング送信

3 ②を押す

ポーリング送信
パスワードを指定してください
■■■■（4桁）

4 パスワード(4桁)を入れる

5 ◇ スタート を押す

・原稿読取開始。

6 相手からのポーリング受信の操作で、送信開始

・送信が終わると、メモリーの内容は消去されます。

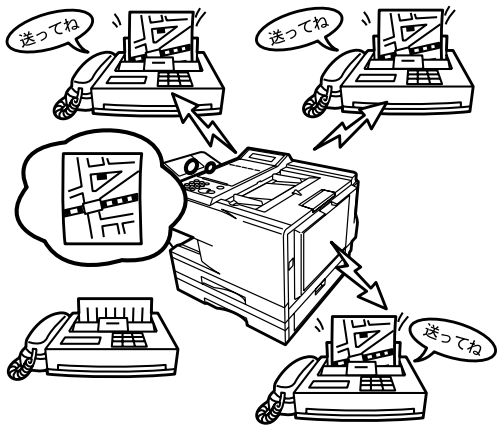
お知らせ

- ポーリング送信の指定を途中でやめるときは、◎ を押してください。
- ポーリング送信は、最大３０ヶまで指定できます。
- ポーリング送信を解除するときは、「通信予約の消去」をしてください。（☛ 77 ページ）。
- ファンクション登録ボタンにポーリング送信の操作を登録しておけば、ファンクションボタンを押したあと、手順 4 からの操作をするだけでポーリング送信を指定できます。
- 原稿読取中にメモリーがいっぱいになったときは、ポーリング送信の登録はできません。

掲示板の使いかた

システム登録の「ポーリング送信保存の設定」を“あり”にしておけば（☛ 123 ページ）ポーリング送信をしてもメモリーに読み込んだ原稿は消去されません。同じ原稿を複数の相手にポーリング送信（掲示板送信）したいときにお使いください。

● 掲示板送信を選んだとき、メモリーに読み込んだ原稿を消去したいときは、（☛ 77 ページ）「通信予約の消去」の操作をしてください。



相手を限定しないで ポーリング送信をする

ポーリングパスワードを入れないでセットすれば、当社機以外のファクスやパスワードを使っていない相手にもポーリング送信できます。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ○ ③を押す

ポーリング
1．ポーリング受信
2．ポーリング送信

3 ②を押す

ポーリング送信
パスワードを指定してください
■■■■（4桁）

4 ◇ スタート を押す

・原稿読取が開始されます。

● システム登録のポーリングパスワードを登録している場合は、手順3のあとクリアーボタンを押してから、スタートボタンを押してください。

ポーリング受信

1 ファンクション ○ ③を押す

ポーリング
1．ポーリング受信
2．ポーリング送信

2 ①を押す

ポーリング受信
パスワードを指定してください
■■■■（4桁）

3 パスワード(4桁)を入れる

4 セット を押す

ポーリング受信　宛先数：0000
宛先を指定してください

5 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル

・最大220宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2は最大1020宛先まで）指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」
（☛ 35 ページ）

6 ◇ スタート を押す

・宛先にダイヤルし、ポーリング受信を始めます。

お知らせ

- ポーリング受信の指定を途中でやめるときは、Ⓒ を押してください。
- ワンタッチボタンにポーリング受信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけでポーリング受信ができます。（☛ 103 ページ）
- ファンクション登録ボタンにポーリング受信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあと、手順3からの操作をするだけでポーリング受信ができます。（☛ 105 ページ）

タイマー通信

タイマー送信とタイマーポーリング受信、タイマー特殊通信他、通信予約を合わせて５０タイマーまで指定できます。

タイマー送信

あらかじめ指定した時刻に自動的に原稿を送信します。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ○ ①を押す

```
タイマー通信          (1−3)
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

3 ①を押し、セットを押す

```
メモリー送信
予約時刻を指定してください
__ :
```

4 送信時刻を入れる
- 時刻は24時間制で入れます。

5 セットを押す

```
メモリー送信      宛先数： 0000
宛先を指定してください
```

6 宛先を指定する
- 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル
- 最大２２０宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2は最大１０２０宛先まで）指定指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛ 35 ページ）

7 スタートを押す
- タイマー送信がセットされます。

タイマーポーリング受信

あらかじめ指定した時刻に自動的にポーリング受信を始めます。

1 ファンクション ○ ①を押す

```
タイマー通信          (1−3)
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

2 ②を押し、セットを押す

```
ポーリング受信
予約時刻を指定してください
__ :
```

3 受信時刻を入れる
- 時刻は24時間制で入れます。

4 セットを押す

```
ポーリング受信
パスワードを指定してください
■■■■（４桁）
```

5 パスワード（４桁）を入れる

6 セットを押す

```
ポーリング受信    宛先数： 0000
宛先を指定してください
```

7 宛先を指定する
- 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル
- 最大２２０宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2は最大１０２０宛先まで）指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛ 35 ページ）

8 スタートを押す
- タイマーポーリング受信がセットされます。

お知らせ

- タイマー送信／タイマーポーリング受信の指定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- すでに５０ヶのタイマー通信を含む通信予約が予約されていると、これ以上タイマー通信をセットすることはできません。現在予約されているタイマー通信または他の通信予約を解除（☛ 77 ページ）するか、通信が終わってからセットし直してください。
- ワンタッチボタンにタイマー送信やタイマーポーリング受信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☛ 103 ページ）
- ファンクション登録ボタンにタイマー送信やタイマーポーリング受信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛ 105 ページ）

タイマー特殊通信

本機でご利用になれる様々な通信を、通信時刻を指定してお使いになれます。

1 ファンクション ○ **①を押す**

タイマー通信　（1－3）
番号入力または∨、∧
を入力してください

2 **③を押し、セット を押す**

特殊通信
予約時刻を指定してください
＿：

3 **通信時刻を入れる**
・時刻は 24 時間制で入れます。

4 セット **を押す**

特殊通信　（1－7）
番号入力または∨、∧
を入力してください

5 **①～⑦または、⑧⑨を押して通信を選ぶ**
・下記「特殊通信一覧表」を参照して選びます。

6 **通信を指定する**

お知らせ

- タイマー特殊通信の指定を途中でやめるときは、⑩ を押してください。
- すでに５０ヶのタイマー通信を含む通信予約が予約されていると、タイマー特殊通信をセットすることはできません。現在予約されているタイマー通信または他の通信予約を解除（☛ 77 ページ）するか、通信が終わってからセットし直してください。
- ワンタッチボタンにタイマー特殊通信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☛ 103 ページ）
- ファンクション登録ボタンにタイマー特殊通信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛ 105 ページ）

特殊通信一覧表

ダイヤルボタン	特殊通信の種類		参照ページ
①	中継同報指示		51 ページ
②	親展通信	親展送信	52 ページ
		親展ポーリング受信	53 ページ
③	ファイル送信		54 ページ
④	F コード通信	F コード送信	56 ページ
		F コード取り出し	57 ページ
⑤	マルチコピー通信		59 ページ
⑥	F 網通信		59 ページ
⑦	F ポート通信		60 ページ

中継通信

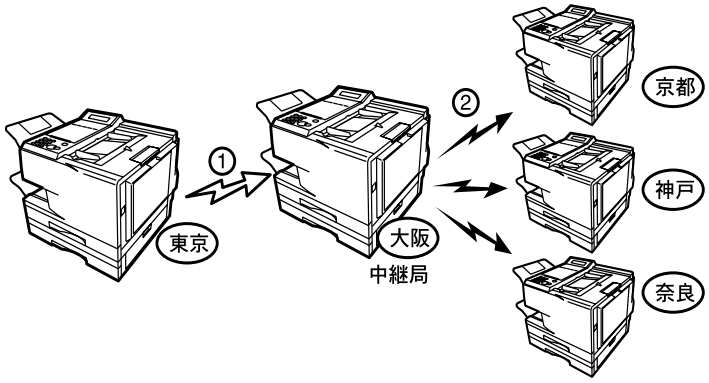
中継通信について

メモリー機能を持つ中継局を使って、次のような中継通信を指定することができます。
- 中継通信をする場合は、本機を含むネットワークを構成する必要があります。
- 中継ネットワークを構成する場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

中継同報指示について

遠距離にある複数の宛先へファクスを送りたいとき、中継局に送信すれば、中継局は指定された宛先へ順次送信します。

例：東京から、大阪の中継局を経由して京都、神戸、奈良へ送信します。



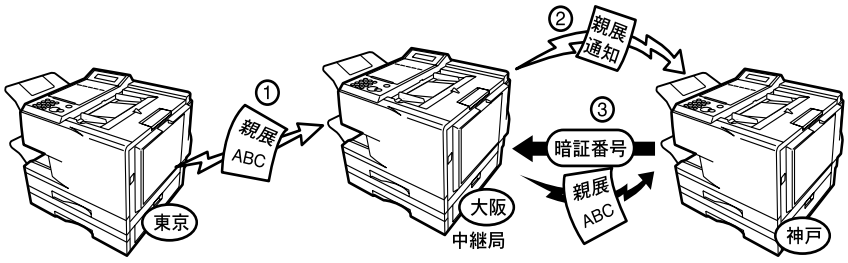
①東京から大阪の中継局に中継指示します。
- 原稿は、大阪の中継局のメモリーにいったん蓄積されます。

②大阪の中継局は、東京から指示された京都、神戸、奈良へ順次送信します。
- 東京から、それぞれの宛先へ送信する手間が省け、トータルの通信料金も削減できます。

親展通信

ある特定の人に原稿を送信したいとき、中継局のメモリーに暗証番号を付けて原稿を送信することができます。受信側は、暗証番号を入力しないかぎり、原稿を受け取ることができないので、情報が他人に漏れる心配がありません。

例：東京から大阪の中継局を使って、神戸の A さんに親展文書を送信する場合



①東京から大阪の中継局に親展文書を送ります（ ☛ 52 ページ「親展送信」）。
- 原稿は大阪の中継局のメモリーに蓄積されます。

②大阪の中継局は神戸へ「親展通知」を送って、親展文書を受け付けたことを知らせます。
③神戸の A さんは「親展通知」の内容により、大阪の中継局へ親展ポーリング受信をします。
このとき、A さんは東京で指定された暗証番号と同じ番号を入力しないと、親展文書を受け取ることができません（ ☛ 53 ページ「親展ポーリング受信」）。

中継同報指示

メモリー機能を持った中継局を中心に中継ネットワークを組んで、遠方にある複数の宛先へ一度にファクスを送信できます。

中継同報送信をする前に

- 本機の登録モードの「中継情報の登録」に中継情報を登録する。（☛ 108 ページ）
- システム登録の「短縮ダイヤル情報」を“あり”にして、短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルに中継情報を登録できるようにする。（☛ 125 ページ）
- 中継局の電話番号と中継情報を、本機の短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルに登録する。（☛ 94 ページ）
- 中継同報送信をする相手の電話番号と中継情報を、本機の短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルに登録する。（☛ 94 ページ）
- 中継ネットワークを構成する場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ○ ②を押す

```
特殊通信              (1−7)
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

3 ①を押し、セット を押す

```
中継同報指示    宛先数：0000
宛先を指定してください
```

4 宛先を指定する

・ 短縮ダイヤル ワンタッチダイヤル クイックダイヤル グループダイヤル

・直接ダイヤルを除く最大２００宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2は最大１０００宛先まで）指定できます。（☛ 35 ページ）

5 ◇ スタート を押す

・中継局へダイヤルし、送信を開始します。

お知らせ

- 中継同報送信を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- ワンタッチボタンに中継同報指示の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☛ 103 ページ）
- ファンクション登録ボタンに中継同報指示の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛ 105 ページ）

親展通信

親展通信をする前に

- 本機の登録モードの「中継情報の登録」に中継情報を登録する。（☛ 108 ページ）
- システム登録の「短縮ダイヤル情報」を“あり”にして、短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルに中継情報を登録できるようにする。（☛ 125 ページ）
- 中継局の電話番号と中継情報を、本機の短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルに登録する。（☛ 94 ページ）
- 親展通信をする相手の電話番号と中継情報を、本機の短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルに登録する。（☛ 94 ページ）
- 中継ネットワークを構成する場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

親展送信

親展送信をすれば、個人宛で送りたい文書を中継局のメモリーに蓄積することができます。
中継局は親展文書を受け付けると、親展送信先へ「親展通知」を送って親展文書を受け付けたことをお知らせします。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ○ ②を押す

```
特殊通信              (1−7)
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

3 ② セット ① セットを押す

```
親展送信
親展暗証番号を指定してください
_          (4桁)
```

4 親展暗証番号（4ケタ）を入れる

5 セットを押す

```
親展送信          宛先数：0000
宛先を指定してください
```

6 宛先を指定する

・ 短縮ダイヤル / ワンタッチダイヤル / クイックダイヤル / グループダイヤル

・直接ダイヤルを除く最大２００宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2 は最大１０００宛先まで）指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」
（☛ 35 ページ）

7 ◇ スタートを押す

・中継局へダイヤルし、親展送信を始めます。

お知らせ

- 親展送信を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- ワンタッチボタンに親展送信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☛ 103 ページ）
- ファンクション登録ボタンに親展送信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに暗証番号と宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛ 105 ページ）

親展ポーリング受信

中継局のメモリーに蓄積されている親展文書を、受信側の操作で取り出すことができます。

1 ファンクション ○ ②を押す

特殊通信　（1－7）
番号入力または∨、∧
を入力してください

2 ② セット ② セット を押す

親展ポーリング受信
指定してください
＿　（4桁）

3 親展暗証番号
（4ケタ）
を入れる

4 セット を押す

親展ポーリング受信宛先数：0000
宛先を指定してください

5 中継局の
電話番号を
入れる

6 ◇ スタート を押す

・中継局へダイヤルを開始します。
・親展暗証番号を照合し、一致したら
親展ポーリング受信を始めます。

お知らせ

- 親展ポーリング受信を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- 親展暗証番号が分からないときは、親展送信元に確認してください。
- 自局情報の「中継情報登録」で中継機の電話番号を登録している場合は、手順4までの操作をするだけで、親展ポーリング受信を始めます。
- ワンタッチボタンに親展ポーリング受信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☛ 103 ページ）
- ファンクション登録ボタンに親展ポーリング受信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに暗証番号と宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛ 105 ページ）

親展プリント

1 ファンクション ○ ②を押す

特殊通信　（1－7）
番号入力または∨、∧
を入力してください

2 ② セット ③ セット を押す

親展プリント
親展暗証番号を指定してください
＿　（4桁）

3 親展暗証番号
（4ケタ）
を入れる

4 ◇ スタート を押す

親展プリント
プリントしています

お知らせ

- 親展プリントを途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- 「中継センターユニット」オプション追加時のみ有効です。（☛ 170 ページ）

ファイル送信

会社までの地図など、頻繁に送る原稿を本機のメモリーに蓄積して何度でも送ることができます。
ファイル送信をお使いになれば、いちいち送信原稿をセットする手間が省けます。

ファイル蓄積

ファイル送信する原稿を本機のメモリーに蓄積します。メモリーに蓄積できるファイルは、1 ファイルのみです。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ○ ②を押す

```
特殊通信              (1−7)
番号入力またはV、Λ
を入力してください
```

3 ③ セット ① セットを押す
・原稿読込開始。

```
ファイル蓄積        受付No.001
蓄積頁：01              04%
```

お知らせ

- ファイル蓄積を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- メモリーにはA 4 標準原稿でUF-A80MK2タイプで１２０枚まで(UF-A80MMK2/A80MSMK2 は約１４４０枚まで)、UF-A78MK2 で約６０枚まで読み込めます。
- すでに蓄積されているファイルがあるときは、ファイル蓄積をすることはできません。蓄積されているファイルを消去（☛ 55 ページ）して、手順 1 からの操作をしてください。
- ファンクション登録ボタンにファイル蓄積の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押すだけでファイル蓄積ができます。（☛ 105 ページ）
- 原稿読取中にメモリーがいっぱいになったときは、ファイル送信の蓄積はできません。

ファイル送信

ファイル蓄積した内容を送信します。

1 ファンクション ○ ②を押す

```
特殊通信              (1−7)
番号入力またはV、Λ
を入力してください
```

2 ③ セット ② セットを押す

```
ファイル送信      宛先数：0000
宛先を指定してください
```

3 宛先を指定する
・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル
・最大２２０宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2 は最大１０２０宛先まで）指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」
（☛ 35 ページ）

4 ◇ スタート を押す
・宛先にダイヤルし、ファイル送信を始めます。

お知らせ

- ファイル送信を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- ファイル送信をしても、メモリーに蓄積されている内容は消去されません。
- ワンタッチボタンにファイル送信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☛103 ページ）
- ファンクション登録ボタンにファイル送信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛105 ページ）

ファイル消去

ファイル蓄積した内容を消去します。

1 ファンクション ○ ②を押す

特殊通信　（1－7）
番号入力または∨、∧
を入力してください

2 ③ セット ③ セット を押す

ファイル消去されました

お知らせ

● ファイル消去を途中でやめるときは、ストップ を押してください。

ファイルプリント

ファイル蓄積した内容をプリントして確認できます。

1 ファンクション ○ ②を押す

特殊通信　（1－7）
番号入力または∨、∧
を入力してください

2 ③ セット ④ セット を押す

ファイルプリント
プリントしています

お知らせ

● ファイルプリントを途中でやめるときは、ストップ を押してください。
● ファンクション登録ボタンにファイルプリントの操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押すだけでプリントできます。（☛ 105 ページ）
● ファイルプリントしても、メモリーに蓄積した文書は消去されません。

Fコード通信

当社機以外のファクスをお使いの相手とも、サブアドレスやパスワードを使って機密事項を保持した通信をすることができます。

- Fコード通信は、ITU-TのT30（SUB、SEP、PWD）機能を持っているファクスであれば、相手機種を限定しないでFコード通信ができます。
- Fコード通信をするには、メモリー機能を持つFコードセンター機が必要になります。

Fコード送信

Fコード送信は、Fコードセンター機に開設されているボックスの番号をサブアドレス番号で指定し、機密保持のためパスワードを使ってボックスに文書を送ります。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ○ ②を押す

```
特殊通信          (1−7)
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

3 ④ セット ① セットを押す

```
F コード送信
サブアドレスを指定してください
_
```

4 送信するボックスのサブアドレス（最大20ケタ）を入れる

5 セットを押す

```
F コード送信
パスワードを指定してください
_
```

6 ボックスのパスワード（最大20ケタ）を入れる

7 セットを押す

```
F コード送信      宛先数：0000
宛先を指定してください
```

8 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル

・最大220宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2は最大1020宛先まで）指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

9 ◇ スタートを押す

・Fコードセンターへダイヤルし、送信を始めます。

お知らせ

- Fコード送信を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- ワンタッチボタンにFコード送信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☛103 ページ）
- ファンクション登録ボタンにFコード送信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとにサブアドレス、パスワードおよび宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛105 ページ）

F コード掲示板登録の指定

あらかじめ掲示板ボックスを開設して、ボックスに文章を登録することができます。(☛113 ページ)

1 原稿をセットする

2 ファンクション ○ ②を押す

```
特殊通信          (1−7)
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

3 ④ セット ③ セットを押す

```
F コード掲示板登録
ボックス No. を指定してください
_          (2桁)
```

4 ボックス No.(2桁)を指定する
・間違えたときは クリアー を押し、再度指定します。

5 セットを押す
・掲示板登録がセットされます。

お知らせ

- 掲示板登録の指定を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- 掲示板登録の指定の手順 5 で開設していないボックス No. や、掲示板ボックスとして開設されていないボックス No. は指定できません。
- 原稿読取中にメモリーがいっぱいになったときは、掲示板登録の指定はできません。

F コード取り出し

F コードセンター機に開設されているボックス番号をサブアドレス番号で指定し、ボックスに保存されている文書を取り出します。

- F コード取り出しでは、F コード取り出し側が通信料金を負担します。

1 ファンクション ○ ②を押す

```
特殊通信          (1−7)
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

2 ④ セット ② セットを押す

```
Fコード取り出し
サブアドレスを指定してください
_
```

3 文書の取り出しをするボックスのサブアドレス(最大 20 ケタ)を入れる

4 セットを押す

```
Fコード取り出し
パスワードを指定してください
_
```

5 ボックスのパスワード(最大 20 ケタ)を入れる

6 セットを押す

```
Fコード取り出し  宛先数: 0000
宛先を指定してください
```

7 宛先を指定する
・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル
・最大 220 宛先まで(UF-A80SMK2/A80MSMK2 は最大 1020 宛先まで)指定できます。「複数宛先の指定のしかた」(☛ 35 ページ)

8 スタート を押す
・F コードセンターへダイヤルし、保存されている文書の取り出しを始めます。

お知らせ

- F コード取り出しを途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- ワンタッチボタンに F コード取り出しの操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。(☛103 ページ)
- ファンクション登録ボタンに F コード取り出しの操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとにサブアドレス、パスワードおよび宛先を入れるだけで通信を指定できます。(☛105 ページ)

Fコード親展プリント

親展ボックスに登録された文書を引き出すことができます。（☛110 ページ）

1 ファンクション ○ ②を押す

```
特殊通信          （1－7）
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

2 ④ セット ④ セットを押す

```
F コード親展プリント
ボックス No. を指定してください
_         （2桁）
```

3 **ボックス No.（2桁）を指定する**

・間違えたときは クリアー を押し、再度指定します。

4 セットを押す

```
F コード親展プリント
暗証番号を指定してください
_         （4桁）
```

5 **暗証番号（4桁）を指定する**

・間違えたときは クリアー を押し、再度指定します。

6 セットを押す

・F コード親展プリントの出力がセットされます。
・暗証番号が一致すると、指定された親展ボックスに登録されている文書のプリントを始めます。

お知らせ

- F コード親展プリントを途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- F コード親展プリントの手順 4 で開設していないボックスや、親展ボックスとして開設されていないボックス、および文書が登録されていないボックスは指定できません。
- 親展ボックスの暗証番号を忘れると、登録されている文書の出力ができなくなります。暗証番号は忘れないようにご注意ください。
- 暗証番号を忘れた場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

マルチコピー通信

宛先に送信するときは、受信側でプリントする部数を指定することができます。
- マルチコピー通信は、相手機種が限定されます。詳しくはお買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- マルチコピー通信を指定できるのは、マルチコピー通信機能を持つ相手に限ります。

1 原稿をセットする

```
 3月10日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ○ ② ⑤ セット を押す

```
マルチコピー通信
部数を指定してください
02  （2桁）
```

3 受信側でプリントする部数（2桁）を指定する
- プリント部数を指定します（最大99部）。
- 間違えたときは クリアー を押し、再度指定します。

```
マルチコピー通信
部数を指定してください
02  （2桁）
```

4 ◇ スタート を押す

```
マルチコピー通信  宛先数：0000
宛先を指定してください
```

5 宛先を指定する
- 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル
- 最大220宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2は最大1020宛先まで）指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35ページ）

6 ◇ スタート を押す
- マルチコピー通信を開始します。

お知らせ
- マルチコピー通信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 短縮ダイヤルを登録するときに、マルチコピー通信部数を指定することができます（☛96ページ）。
- マルチコピー通信部数が登録されているダイヤルを選択したときは、手順 3 でプリント部数を入力する必要はありません。

F網通信

NTT コミュニケーションズのファクシミリ通信網を利用して通信することができます。F 網通信をお使いになるときは、NTT コミュニケーションズとの利用契約が必要です。お近くのNTT コミュニケーションズ窓口にお問い合わせください。

1 原稿をセットする

```
 3月10日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ○ ② ⑥ セット を押す

```
F網通信          宛先数：0000
宛先を指定してください
```

3 宛先を指定する
- 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル
- 最大10宛先まで指定できます。

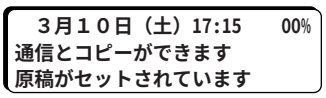
4 ◇ スタート を押す
- F 網通信が開始されます。

お知らせ
- F 網通信を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- ファクシミリ通信網サービスの内容については、「ファクシミリ通信網サービスについて」（☛169ページ）を参照してください。

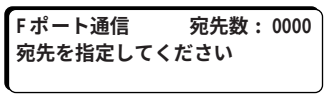
F ポート通信

KDDI 株式会社（KDDI）の F ポート専用回線を利用して、海外の相手に送信するパケット交換式のファクシミリ通信網サービスが利用できます。
F ポート通信をお使いになるときは、KDDI 株式会社（KDDI）との利用契約が必要です。お近くの KDDI 株式会社（KDDI）にお問い合わせください。

1 原稿をセットする



2 ファンクション ○ ② ⑦ セット を押す



3 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル

・最大 8 宛先まで指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☛ 35 ページ）

4 ◇ スタート を押す

・F ポート通信を開始します。

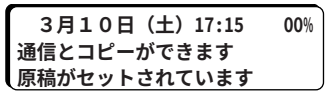
お知らせ

● F ポート通信を途中でやめるときは、ストップ を押します。

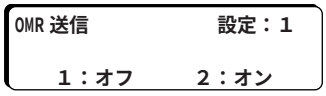
OMR 通信

機能や宛先をマークした OMR シート（別売品）を原稿に重ねてセット（最初のページに）すれば、複雑な通信を簡単な操作でご利用できます。
OMR 通信を指定できる宛先は、OMR 解読機能を持つ相手に限ります。詳しくはお買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

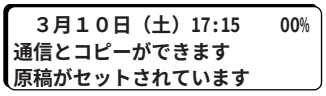
1 OMR シートを原稿の一番最初のページにセットする



2 ファンクション ○ ⑧ ② セット を押す



3 ② セット を押す



4 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル

・最大 2 2 0 宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2 は最大 1 0 2 0 宛先まで）指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☛ 35 ページ）

5 ◇ スタート を押す

・OMR通信を開始します。

お知らせ

● OMR 通信を途中でやめるときは、ストップ を押します。

パスワード通信

パスワード通信について

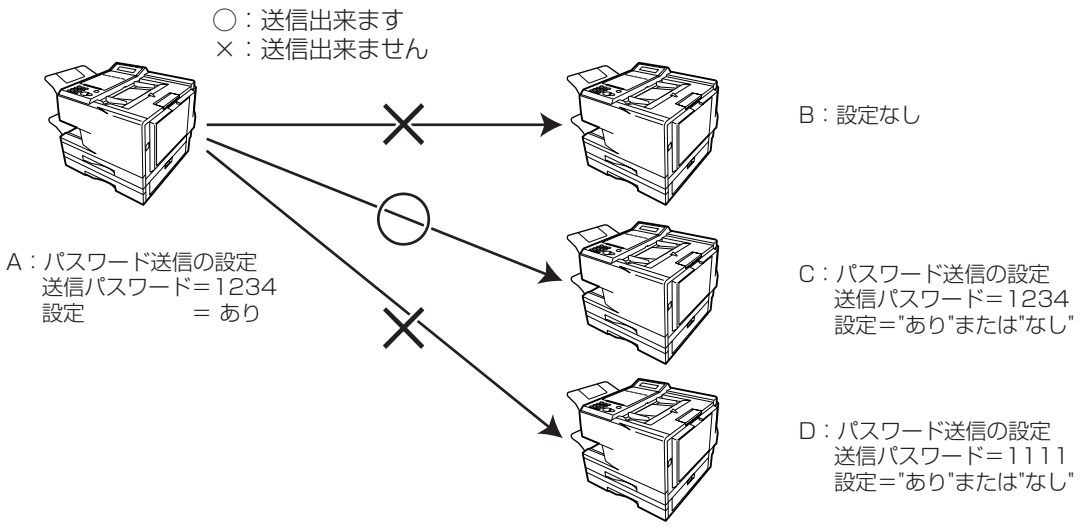
通信するときに、送信側と受信側に登録されているパスワードを照合します。パスワードを照合し、一致する相手とだけ通信するので、機密性の高い通信が確保できます。また、送信と受信を個別に制限できるので、相手に合わせた設定ができます。

● あらかじめ「パスワード送信の設定」（☛63 ページ）と「パスワード受信の設定」（☛65 ページ）が必要です。

システム登録について

	設定状況	
パスワード送信	送信パスワードの登録なし	・パスワード通信しません。
	送信用パスワードを登録し設定を“なし”にする	・通常のダイヤル操作ではパスワード送信しません。 ・パスワード操作するときは、送信前の操作が必要です。（☛63 ページ） ・相手がパスワード送信をしてくると、送信側と受信側に登録されている送信パスワードを照合し、一致すると通信できます。
	送信用パスワードを登録し設定を“あり”にする	・通常のダイヤル操作でパスワード送信が指定できます。 ・パスワード送信をしないときは、送信前の操作が必要です。（☛63 ページ） ・相手がパスワード送信をしてくると、送信側と受信側に登録されている送信パスワードを照合し、一致すると通信できます。
パスワード受信	受信パスワードの登録なし	・パスワード通信しません。
	受信用パスワードを登録し設定を“なし”にする	・相手がパスワード受信を設定しているときは、受信側と送信側に登録されている受信パスワードを照合し、一致すると通信できます。 ・そのほかは、通常の通信と同じです。
	受信用パスワードを登録し設定を“あり”にする	・常にパスワード受信の状態になっています。 ・パスワード受信を設定している相手と受信パスワードを照合し、一致すると通信できます。

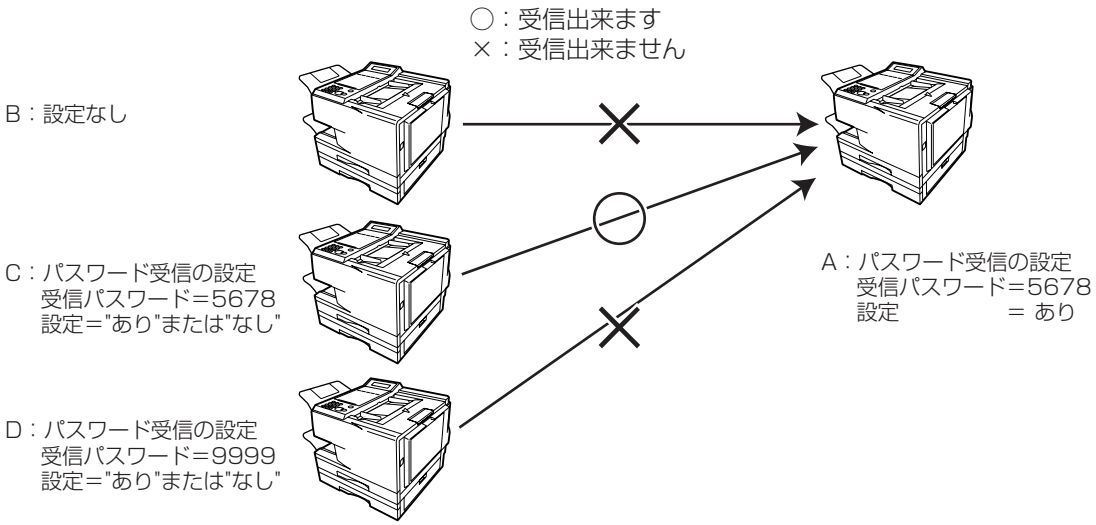
パスワード送信



パスワード送信は、送信側の設定が“あり”の場合、受信側に設定されている「送信パスワード」を送信側でチェックし、一致した場合に送信します。

・ 送信側のパスワード送信の設定が“なし”の場合は、通常の送信と変わりありません。
・ パスワード送信の設定“あり”または“なし”は、送信時のみに機能します。

パスワード受信



パスワード受信は、受信側の設定が“あり”の場合、送信側に設定されている「受信パスワード」を受信側でチェックし、一致した場合に受信します。

・ 受信側のパスワード受信の設定が“なし”の場合は、通常の受信と変わりありません。
・ パスワード受信の設定“あり”または“なし”は、受信時のみに機能します。

パスワード送信の設定

1 ファンクション ○ ⑦ **を押す**

・登録モードを選択します。

2 ④ セット **を押す**

・システム登録を選択します。

3 ⓪ ④ ③ セット **を押す**

・パスワード送信を選択します。

```
043 パスワード送信
パスワードを指定してください
_          （4桁）
```

4 **パスワード送信用のパスワード（4桁）を入れ、セット を押す**

・例：パスワード「1234」の場合、① ② ③ ④を押します。

・間違えたときは、クリアー を押して再度入力します。

```
043 パスワード送信
パスワードを指定してください
１２３４　（4桁）
```

5 **使いかたに合わせて、①（なし）または②（あり）を押す**

```
043 パスワード送信　　設定：1
パスワード＝１２３４
１：なし　　２：あり
```

6 セット ストップ **を押す**

お知らせ

- パスワード送信の設定を取り消すときは、手順５で クリアー を押したあとに、ストップ を押します。
- システム登録の「パスワード送信」（☛ 124 ページ）の設定を“あり”にすると、ディスプレイに“パスワード送信設定中です”が点滅します。
- ディスプレイに“パスワード送信設定中です”が表示されているときは、通常の送信ができなくなります。パスワード送信をしたくないときは、「パスワード送信を設定したとき」（☛ 67 ページ）を参照して操作してください。
- パスワード送信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

パスワード送信の変更

1 ファンクション ○ ⑦ **を押す**
・登録モードを選択します。

2 ④ セット **を押す**
・システム登録を選択します。

3 ⓪ ④ ③ セット **を押す**
・パスワード送信を選択します。

```
043 パスワード送信
パスワードを指定してください
１２３４　（４桁）
```

4 **パスワードを変更するときは、クリアー を 4 回押す**
・現在設定されている内容が表示されています。
・パスワードを変更しないときは セット を押し、手順 6 へ進みます。

```
043 パスワード送信
パスワードを指定してください
_　　（４桁）
```

5 **変更するパスワード（４桁）を入れ、セット を押す**
・例：パスワード「4321」の場合、④ ③ ② ① を押します。
・間違えたときは、クリアー を押して再度入力します。

```
043 パスワード送信
パスワードを指定してください
４３２１　（４桁）
```

6 ①**（なし）または** ②**（あり）を押す**

```
043 パスワード送信　　設定：１
パスワード＝４３２１
１：なし　　２：あり
```

7 セット ストップ **を押す**

お知らせ

- 手順 6 で、クリアー を押したあとに ストップ を押すと、設定されていた内容がすべて消去されます。
- パスワード送信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

パスワード受信の設定

1 ファンクション ○ **⑦を押す**
・登録モードを選択します。

2 **④ セット を押す**
・システム登録を選択します。

3 **⓪④④ セット を押す**
・パスワード受信を選択します。

```
044 パスワード受信
パスワードを指定してください
_          （4桁）
```

4 **パスワード受信用のパスワード（4桁）を入れ、セット を押す**
・例：パスワード「5678」の場合、⑤⑥⑦⑧を押します。
・間違えたときは、クリアー を押して再度入力します。

```
044 パスワード受信
パスワードを指定してください
５６７８　（4桁）
```

5 **使いかたに合わせて、①（なし）または②（あり）を押す。**

```
044 パスワード受信　　設定：1
パスワード＝５６７８
1：なし　　2：あり
```

6 **セット ストップ を押す**

お知らせ

- パスワード受信の設定を取り消すときは、手順５で クリアー を押したあとに、ストップ を押します。
- システム登録の「パスワード受信」（☛124 ページ）の設定を“あり”にすると、ディスプレイに「パスワード受信設定中です」が点滅します。
- ディスプレイに“パスワード受信設定中です”が表示されているときは、通常の受信ができなくなります。
- パスワード受信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

パスワード受信の変更

1 ファンクション ○ ⑦を押す
・登録モードを選択します。

2 ④ セット を押す
・システム登録を選択します。

3 ⓪④④を押す
・パスワード受信を選択します。

```
044 パスワード受信
パスワードを指定してください
５６７８　（4桁）
```

4 パスワードを変更するときは、クリアー を 4 回押す
・現在設定されている内容が表示されています。
・パスワードを変更しないときは セット を押し、手順 6 へ進みます。

```
044 パスワード受信
パスワードを指定してください
_　　（4桁）
```

5 変更するパスワード（4 桁）を入れ、セット を押す
・例：パスワード「8765」の場合、⑧⑦⑥⑤を押します。
・間違えたときは、クリアー を押して再度入力します。

```
044 パスワード受信
パスワードを指定してください
８７６５　（4桁）
```

6 ①（なし）または②（あり）を押す

```
044 パスワード受信　　設定：1
パスワード＝８７６５
1：なし　　2：あり
```

7 セット ストップ を押す

お知らせ

- 手順 6 で、クリアー を押したあとに ストップ を押すと、設定されていた内容がすべて消去されます。
- パスワード受信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

パスワード送信設定の一時変更

パスワード送信の一時解除・一時設定を行いたい場合、次の手順で１回の通信に限り、設定を変更できます。

1 ファンクション ○ **⑧を押す**
・セレクトモードを選択します。

2 **④ セット を押す**
・パスワード送信を選択します。

```
パスワード送信          設定：２
１：オフ        ２：オン
```

3 **①または②を押し、セット を押し、パスワードを入力する**
・次の通信設定を選択します。
・①：１ 回の通信に限りパスワード送信の設定を“オフ”にできます。
・②：１ 回の通信に限りパスワード送信の設定を“オン”にできます。

```
パスワード送信
パスワードを指定してください
４３２１
```

4 セット **を押す**

5 **宛先を指定する**
・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル クイックダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル
・最大２２０宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2 は最大１０２０宛先まで）指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☛ 35 ページ）

6 ◇ スタート **を押す**
・１回の通信に限りパスワード送信の設定を“なし”または“あり”にして通信を開始します。

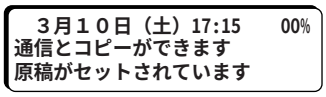
セレクト通信

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されているダイヤル番号の下 4 桁と、相手から送られてきた ID 番号の下 4 桁を照合し、一致したときだけ送信または、受信します。

セレクト送信

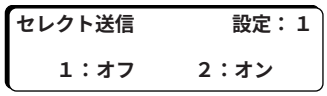
● あらかじめ、セレクト送信する宛先を登録しておいてください。（☛ 91 ページ）
相手の ID 番号には、電話番号を登録してもらってください。

1 **原稿をセットする**



2 ファンクション ⑧ ③ セット **を押す**

・セレクト送信を選択します。



3 ② セット **を押す**

・セレクト送信がセットされます。

4 **宛先を指定する**

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル

・最大２２０宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2 は最大１０２０宛先まで）指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☛ 35 ページ）

5 スタート **を押す**

・１回の通信に限りセレクト送信が開始されます。
・相手の数字 ID と、本機に登録されているダイヤル番号を照合し、一致したときだけ送信します。

お知らせ

- システム登録の「セレクト送信の設定」（☛ 124 ページ）を“あり”にしておけば、常にセレクト送信の状態になります。
- セレクト送信の設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- システム登録の「セレクト送信」（☛ 124 ページ）を“あり”にすると、ディスプレイに“セレクト送信設定中です”が点滅します。
- セレクト送信を解除するときは、手順 3 で ① を押します。
- 本機に相手のダイヤル番号を登録していないときは、送信できません。
- 相手が ID 番号を送ってこない場合（ID 番号を登録していない、登録できないなど）は、送信できません。
- 手動送信をしたときは、相手をセレクトしないで送信します。

セレクト受信

● あらかじめ、セレクト受信する宛先を登録しておいてください。（☛91 ページ）
● 相手の ID 番号には、電話番号を登録してもらってください。

1 ファンクション ○ **⑦を押す**
・登録モードを選択します。

2 **④** セット **を押す**
・システム登録を選択します。

3 **⓪④⑥** セット **を押す**
・セレクト受信を選択します。

```
046 セレクト受信        設定：1
1：なし      2：あり
```

4 **②を押す**
・“あり”を選択します。

```
046 セレクト受信        設定：2
1：なし      2：あり
```

5 セット ストップ **を押す**
・セレクト受信が設定されます。
・受信が始まると、相手の数字 ID と、本機に登録されているダイヤル番号を照合し、一致したときだけ受信します。

お知らせ

● セレクト受信の設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。
● システム登録の「セレクト受信」（☛124 ページ）を“あり”にすると、ディスプレイに“セレクト受信設定中です”が点滅します。
● セレクト受信を解除するときは、手順 4 で①を押します。
● 本機に相手のダイヤル番号を登録していないときは、受信できません。
● 相手が ID 番号を送ってこない場合（ID 番号を登録していない、登録できないなど）は、受信できません。
● 手動受信をしたときは、相手をセレクトしないで受信します。

優先通信

● 複数の通信予約をしているときに、至急に送りたい原稿を、現在行っている通信の次に割り込んで予約できます。

1 **原稿をセットする**

```
 3月10日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ○ ⑧ ① セット を押す

```
優先通信                設定：1
    1：オフ      2：オン
```

3 ② セット を押す

・優先通信が指定されます。

```
優先通信                設定：2
    1：オフ      2：オン
```

4 **宛先を指定する**

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル

・最大２２０宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2 は最大１０２０宛先まで）指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☛ 35 ページ）

```
メモリー送信        宛先数：0001
松下電送システム
短縮：００１（3桁）
```

5 ◇ スタート を押す

・原稿の読取が開始されます。

```
優先通信            受付No.001
蓄積頁：０１              01%
松下電送システム
```

お知らせ

● 優先予約の指定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

ワンタイム海外通信

海外の相手と通信していて、通信エラーや画面異常になるときに指定してください。

1 原稿をセットする

```
 3月10日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ○ ⑧ ⑤ セット **を押す**

・ワンタイム海外通信を選択します。

```
ワンタイム海外通信     設定：1
   1：オフ       2：オン
```

3 ② セット **を押す**

・ワンタイム海外通信がセットされます。

4 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル クイックダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大２２０宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2 は最大１０２０宛先まで）指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛ 35 ページ）

5 ◇ スタート **を押す**

・原稿の読取が開始されます。

お知らせ

● ワンタイム海外通信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

定期便タイマー通信

あらかじめ定期便タイマーの指定時刻を登録（5 つまでの時刻）しておけば、定期便タイマー送信をセットした時刻から最も近い登録時刻になると自動的に送信が始まります。

● 定期便タイマーは、他の通信予約を含めて最大50ヶまで指定できます。

● 自局情報の「定期便タイマーの登録」（☛ 138 ページ）をしておいてください。

1 原稿をセットする

```
 3月10日（土）17:15     00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ○ ⑧ ⑥ セット **を押す**

・定期便タイマー通信を選択します。

```
定期便タイマー通信     設定：1
   1：オフ       2：オン
```

3 ② セット **を押す**

・定期便タイマー通信がセットされます。

4 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル クイックダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大２２０宛先まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2 は最大１０２０宛先まで）指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛ 35 ページ）

5 ◇ スタート **を押す**

・原稿の読取が開始されます。

6 定期便タイマー通信がセットされる

・一番近い登録時刻になると、自動的に定期便タイマー通信を開始します。

お知らせ

● 定期便タイマー通信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

● 指定した定期便タイマー通信を消去するときは、「通信予約の消去」（☛ 77 ページ）をしてください。

● 指定した定期便タイマー通信の内容を確認するときは、「通信予約の確認」（☛ 74 ページ）をしてください。

メモリー受信

ファクスを受信したとき、すぐに用紙にプリントしないでメモリーに蓄積しておくことができます。

メモリー受信の設定

1 ファンクション ○ ⑧ ⑦ を押す

```
メモリー受信          設定：1
1：なし  2：あり  3：ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

2 ② セット を押す

・メモリー受信の設定がされます。

お知らせ

● メモリー受信の設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

メモリー受信を設定しているとき

メモリー受信する

・相手からのダイヤルで、自動的に受信が始まります。

```
 3月10日（土）17:15    01%
通信とコピーができます
受信データが残っています
```

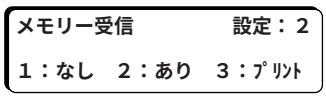
お知らせ

● メモリーには、A4標準原稿でUF-A80MK2タイプで約120枚まで(UF-A80MMK2/A80MSMK2は約1440枚まで)、UF-A78MK2で約60枚まで蓄積できます。

● 手動受信をしたときでも、原稿はメモリーに保存されます。

メモリー受信の解除

1 ファンクション ○ ⑧ ⑦ セット を押す



2 ① セット を押す

・メモリー受信が解除されます。

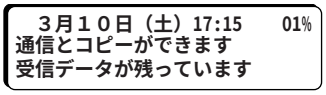
お知らせ

● メモリーに受信した原稿が蓄積されているときは、メモリーの内容をプリントしてからメモリー受信を解除します。

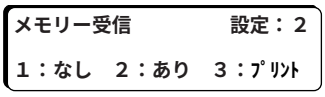
メモリー受信のプリント

メモリー受信した原稿をプリントします。

1 メモリー受信をしたとき



2 ファンクション ○ ⑧ ⑦ セット を押す



3 ③ セット を押す

・メモリー受信した原稿をプリントします。
・プリントが終るとメモリーの内容は消去され、メモリー受信設定中の画面に戻ります。

お知らせ

● メモリー受信の解除およびプリントの設定を途中でやめるときは ストップ を押してください。
● メモリー受信のプリントで、プリントが始まってから ストップ を押しても、プリントは止まりません。

通信予約の確認と消去

タイマー通信などの通信予約を確認・消去できます。

通信予約の確認

● 通信予約の内容をディスプレイに表示させて確認できます。また、通信予約をレポートにしてプリントすることもできます。。

1 ファンクション ○ ⑨ ① セット を押す

・通信予約の確認を選択します。

```
通信予約の確認
1．通信予約レポート
2．画面表示
```

2 ②を押す

```
内容は ∨ ∧ ボタンで
確認してください
```

3 ∨または∧を押す

・∨または∧を押すたびに画面が切り替わり、予約している通信や未通信の内容が表示されます。

・未通信のときには、「再通信待ち」が表示されます。

（例）

```
メモリー送信          受付No.010
予約中
松下電送システム
```

∨ → ← ∧

```
ポーリング受信        受付 No.009
予約中
東京本社
```

∨ → ← ∧

```
ポーリング受信        受付No.008
再通信待ち
松下電送システム　業務部
```

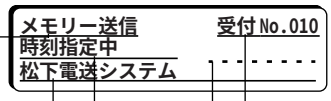
4 ストップ を押す

・通信予約の確認を終了します。

お知らせ

- 通信予約の確認を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 手順2で①を押すと、通信予約をレポートにしてプリントできます。
- 手順1で「ピピピ」と鳴り、“予約ファイルがありません”と表示されたときは、通信予約されている内容がありません。
- 通信予約レポートのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- プリントが始まってから ストップ を押しても、プリントは止まりません。

通信予約表示のみかた



通信の種類が表示されます。

通信を指定した宛先が表示されます。

通信の状況が表示されます。
・通信中　・再通信待ち・時刻指定中
・定期便指定中　・予約中
・再ダイヤル待ち

受付 No. が表示されます。

ユーザー別管理をセットしているとき、ユーザー名称が表示されます。

お知らせ

● 通信の種類には、送信などの通信名のほか、次の内容が表示されます。
・タイマー通信予約中（時刻指定中、定期便指定中）
・FAX 中（発呼待、通信中）
・ダイヤル待ち（再ダイヤル待ち、予約中）

通信予約の変更

タイマー送信やタイマーポーリング受信で予約した宛先や時刻を変更できます。

1 ファンクション ○ ⑨ ② セット **を押す**

・時間・宛先変更を選択します。

```
時間・宛先変更
受付 No.または  ∨  ∧
受付 No.=__ （3桁）
```

2 **変更する受付 No. を指定する、または ⓥ、ⓐ を押して変更するファイルを選択する**

・受付 No.（3 桁）を指定してファイルを選ぶこともできます。

・ ⓥ または ⓐ を押して、現在予約している通信の内容を表示します。

・受付 No. を間違えたときは、クリアー を押して、入れ直します。

例：「受付 No.001 を指定」

```
時間・宛先変更
受付 No. または  ∨  ∧
受付 No.=001（3桁）
```

または

例：「ⓥ ⓐ で選択」

```
メモリー送信          受付No.001
時刻指定中
松下電送システム
```

3 セット **を押す**

・予約時刻が表示されます。

```
メモリー送信          受付No.001
予約時間を指定してください
１０：００
```

4 **変更する時刻を入れ、セット を押す**

・例：午後 10 時 30 分に変更する場合

・ ② ② ③ ⓪ セット を押します。

・時刻は 24 時間制で入れます。

・間違えたときは、クリアー を押して、入れ直します。

・予約時刻を変更しないときは、何も入力しないで セット を押します。

```
メモリー送信      宛先数：0002
宛先を追加してください
又は  スタートで通信します
```

5 **複数の宛先を指定している場合は、ⓥ または ⓐ を押して変更する宛先を表示する**

・宛先を変更しない場合は、手順 8 へ進みます。

・宛先の追加のみの場合は、手順 7 へ進みます。

・指定している宛先が 1 宛先の場合は手順 6 へ進みます。

6 クリアー **を押して、表示されている宛先を取り消す**

・複数の宛先を取り消すときは、手順 5 からの操作をくり返します。

```
メモリー送信      宛先数：0001
松下電送システム
短縮：００１（3桁）
```

7 変更または追加する宛先を入れる

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル

・宛先は、すでに指定されているものと合わせて最大２２０件まで（UF-A80SMK2/A80MSMK2は最大１０２０宛先まで）指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

・宛先を変更または追加しないときは、何も入れないで手順８へ進みます。

8 スタート を押す

・通信予約の内容が変更され、待機状態に戻ります。

通信予約の消去

● 予約した通信の内容を消去できます。

1 ファンクション ⑨ ③ セット を押す

・通信予約の消去を選択します。

```
通信予約の消去
受付 No. または  ∨  ∧
受付 No.=__  （3桁）
```

2 消去する受付 No. を指定する、または ∨、∧ を押して変更するファイルを選択する

・３桁の受付 No. を指定します。間違えたときは、クリアー を押して、入れ直します。

・ ∨ または ∧ を押すと、現在予約している通信の内容が表示されます。

例：「受付 No.001 を指定」

```
通信予約の消去
受付 No. または  ∨  ∧
受付 No.=001（3桁）
```

または

例：「 ∨ ∧ で選択」

```
メモリー送信          受付 No.001
時刻指定中
松下電送システム
```

3 セット を押す

```
メモリー送信          受付 No.001
通信予約の消去を行いますか
1．はい      2．いいえ
```

4 ① を押す

・指定した受付 No. の通信予約を消去します。

・消去しないときは、② を押します。

```
メモリー送信          受付 No.001
消去しました
```

お知らせ

● 通信予約の消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。

● 受付 No. が分からないときは、通信予約レポートをプリントしてください。（☛74 ページ）

指定通信予約レポートのプリント

受付 No. を指定して通信予約レポートをプリントできます。レポートには、通信を指定した原稿が付加されます。

1 ファンクション ○ ⑨ ④ セット を押す

```
指定通信予約レポート
受付 No. または  ∨  ∧
受付 No.=__ （3桁）
```

2 プリントする受付 No. を指定する、または ∨、∧ を押してプリントするファイルを選択する

・3 桁の受付 No. を指定します。間違えたときは、クリアー を押して、入れ直します。

・ ∨ または ∧ を押すと、現在予約している通信の内容が表示されます。

例

```
指定通信予約レポート
受付 No. または  ∨  ∧
受付 No.=001（3桁）
```

3 セット を押す

・指定した受付 No. の通信予約レポートをプリントします。

```
指定通信予約レポート
プリントしています
```

お知らせ

- 通信予約レポートのプリントを途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 手順 3 で受付 No. が分からないときは、通信予約レポートをプリントしてください（☛ 74 ページ）。

未達宛先再通信の指定

未通信となった、最新 10 通信までをメモリーに保持し、受付 No. を指定して、もう一度通信することができます。

● システム登録の「未送信ファイル保存の設定」が“あり”になっていないと、未通信の内容はメモリーに保存されません。（☛ 123 ページ）

■未達宛先再通信の個別指定

● 未通信になった通信から、受付 No. を指定して再通信します。

1 ファンクション ○ ⑨ ⑥ セット を押す

```
未達宛先再通信
受付 No. または ∨ ∧
受付 No.=__ （3桁）
```

2 **受付 No. を指定する**

・間違えたときは、クリアー を押して、入れ直します。

・3 桁の受付 No. を指定します。
例

```
未達宛先再通信
受付 No. または ∨ ∧
受付 No.=001（3桁）
```

3 ◇ スタート **を押す**

・再通信がセットされます。

・宛先へダイヤルし、再通信を開始します。

```
受付 No. ００１で受け付けました
蓄積頁：０３
大阪支店
```

お知らせ

● 再通信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

● 受付 No. が分からないときは、通信予約レポートをプリントしてください。（☛ 74 ページ）

● 未通信が 10 通信以上になると、一番古い通信から消去されます。そのとき、通信結果レポートをプリントしてメモリーから消去された内容をお知らせします。

■未達宛先再通信の全指定

メモリーに保存されている未通信を、すべて再通信します。

1 ファンクション ○ ⑨ ⑥ セット **を押す**

```
未達宛先再通信
受付 No. または ∨ ∧
受付 No.=__ （3桁）
```

2 ✳ ✳ ✳ セット **を押す**

・未達宛先再通信の全指定をします。

```
全宛先再送信しますか
1．はい　　2．いいえ
```

3 ① **を押す**

・未達宛先再通信に登録されている全宛先の再通信がセットされる。

```
全宛先再通信受け付けました
```

受信データの強制出力

システム登録の「代行出力」を“なし”にしているときは、相手が送信した原稿サイズに適応する用紙が無くなっていると、受信した原稿はプリントされないでメモリーに保存します。
次の操作をすると、メモリーに保存されている原稿を強制的にプリントすることができます。

■メモリーに受信データが残っているとき

次の内容が表示されます。

```
 3月10日（土）17:15   20%
通信とコピーができます
受信データが残っています
```

1 ファンクション ○ ⑨ ⑦ セット **を押す**

・メモリーに保存されている受信データの情報が表示されます。

```
受付 No.080     1：強制出力
10-10  13:15    受信頁数：01
松下電送システム
```

2 **①を押す**

・受信データを強制出力する。

```
受信データの強制出力
プリントしています
```

お知らせ

- 受信データの強制出力を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- プリントが始まってから ストップ を押しても、プリントは止まりません。
- 複数の受信データがあるときは、一番最初に代行受信したものしか選択できません。

手動ファイル転送

代行受信をしているけれどトナーや用紙が無くてプリントできないときなどに、受信した内容を別のファクスに転送してプリントすることができます。

1 ファンクション ○ ⑨ ⑧ セット **を押す**

```
手動ファイル転送  宛先数： 0000
宛先を指定してください
```

2 **宛先を指定する**

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / クイックダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル

・最大２２０宛先まで(UF-A80SMK2/A80MSMK2は最大１０２０宛先まで）指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

3 スタート **を押す**

・宛先にダイヤルし、
受信データの転送を始めます。

お知らせ

- 手動ファイル転送を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- ファンクション登録ボタンに手動ファイル転送の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛105 ページ）

レポートのプリント

通信管理レポートのプリント

送信および受信の結果をレポートにしてプリントします。

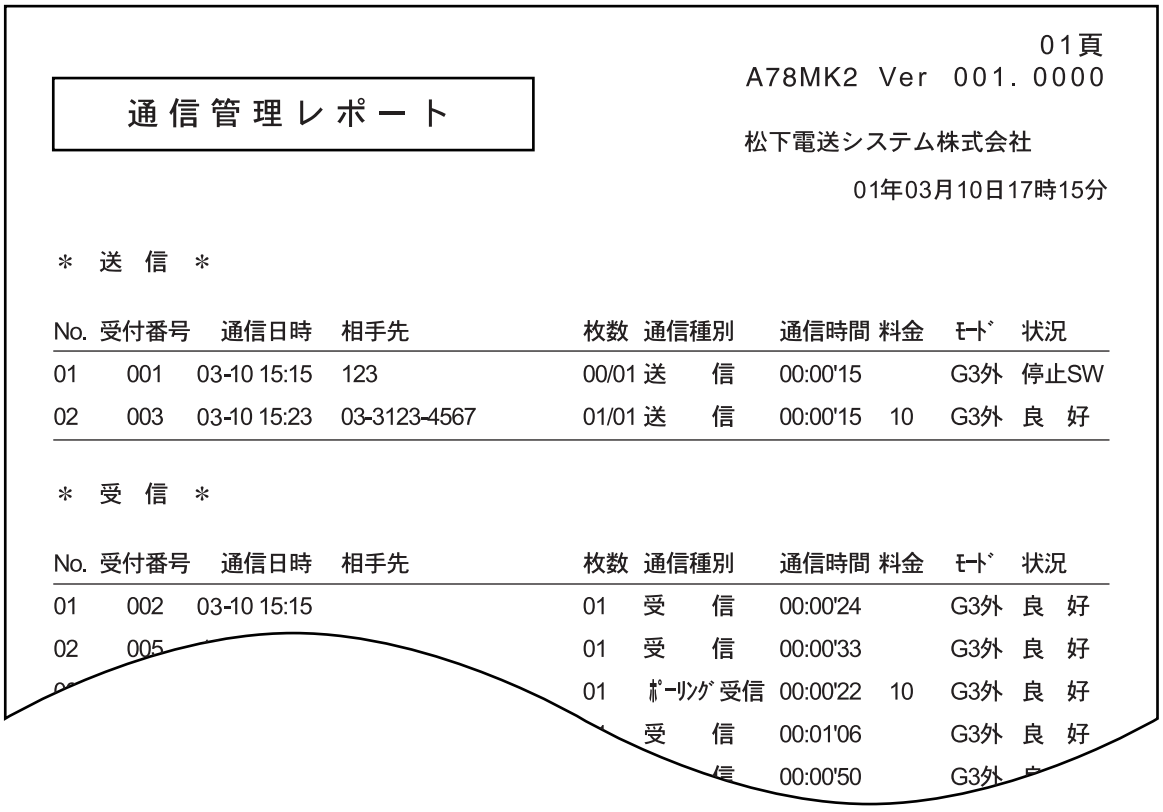
1 ファンクション ○ ⑥ ① セット を押す

```
通信管理レポート
1．通信管理レポートの出力
2．通信管理レポートの確認
```

2 ①を押す

・通信管理レポートのプリントを開始します。

```
通信管理レポート
プリントしています
```



01頁
A78MK2 Ver 001.0000

通信管理レポート

松下電送システム株式会社

01年03月10日17時15分

＊ 送 信 ＊

No.	受付番号	通信日時	相手先	枚数	通信種別	通信時間	料金	ﾓｰﾄﾞ	状況
01	001	03-10 15:15	123	00/01	送 信	00:00'15		G3外	停止SW
02	003	03-10 15:23	03-3123-4567	01/01	送 信	00:00'15	10	G3外	良 好

＊ 受 信 ＊

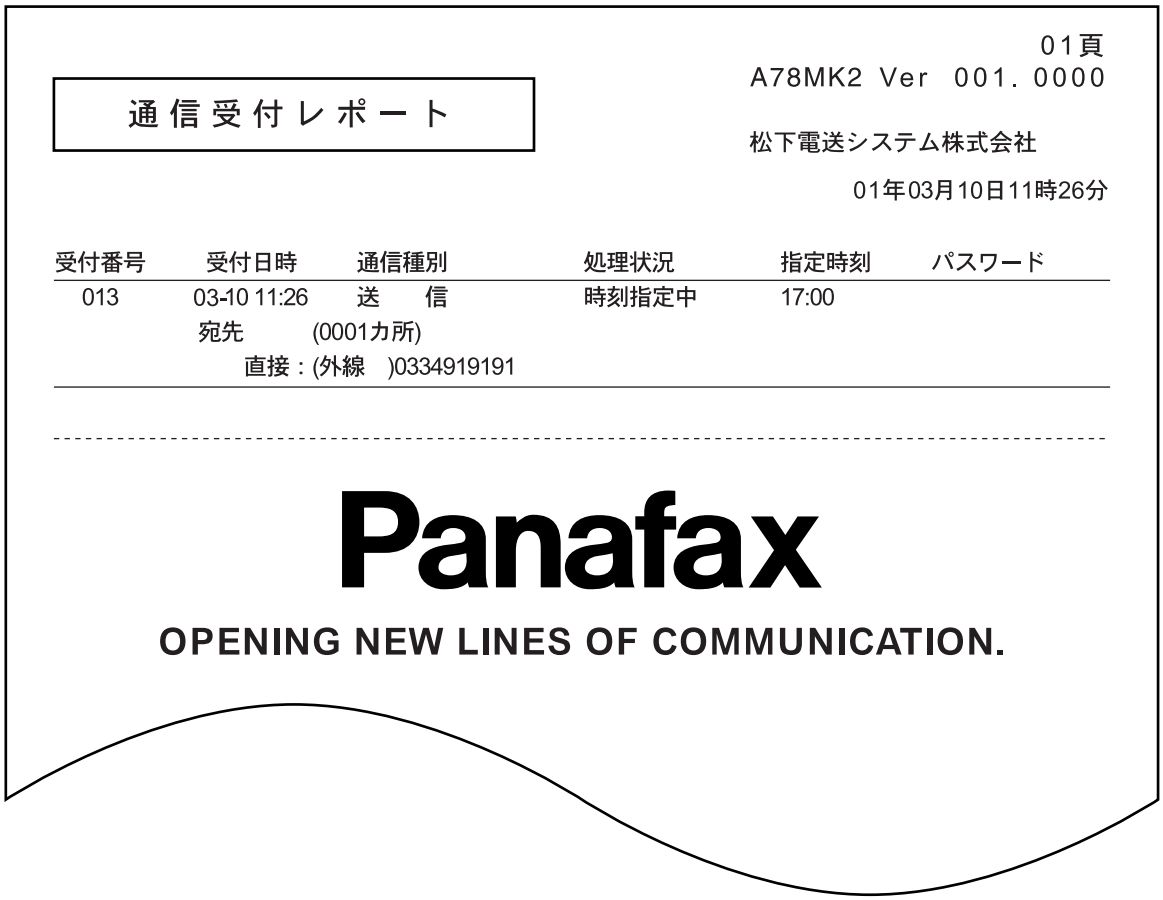
No.	受付番号	通信日時	相手先	枚数	通信種別	通信時間	料金	ﾓｰﾄﾞ	状況
01	002	03-10 15:15		01	受 信	00:00'24		G3外	良 好
02	005			01	受 信	00:00'33		G3外	良 好
				01	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ受信	00:00'22	10	G3外	良 好
					受 信	00:01'06		G3外	良 好
					信	00:00'50		G3外	

お知らせ

- 通信管理レポートのプリントを指定すると、40通信分の結果をレポートにしてプリントします。
- システム登録の「通信管理レポート」（☛ 123 ページ）の設定をすれば、40通信分ごとにレポートを自動出力することができます。
- 通信管理レポートのプリントを途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 手順2で ② を押すと、通信管理レポートの内容をディスプレイに表示させて確認できます。∨ ∧ で画面が切り替わり、送信および受信の結果を確認できます。

通信受付レポートのプリント

メモリー通信を受け付けるたびに、受付内容を表すレポートをプリントできます。
システム登録の「通信受付レポートの設定」（☛ 123 ページ）を“あり”に設定する必要があります。



01頁
A78MK2 Ver 001. 0000

通信受付レポート

松下電送システム株式会社

01年03月10日11時26分

受付番号	受付日時	通信種別	処理状況	指定時刻	パスワード
013	03-10 11:26	送　信	時刻指定中	17:00	
	宛先	(0001カ所)			
	直接：(外線)0334919191				

Panafax

OPENING NEW LINES OF COMMUNICATION.

お知らせ

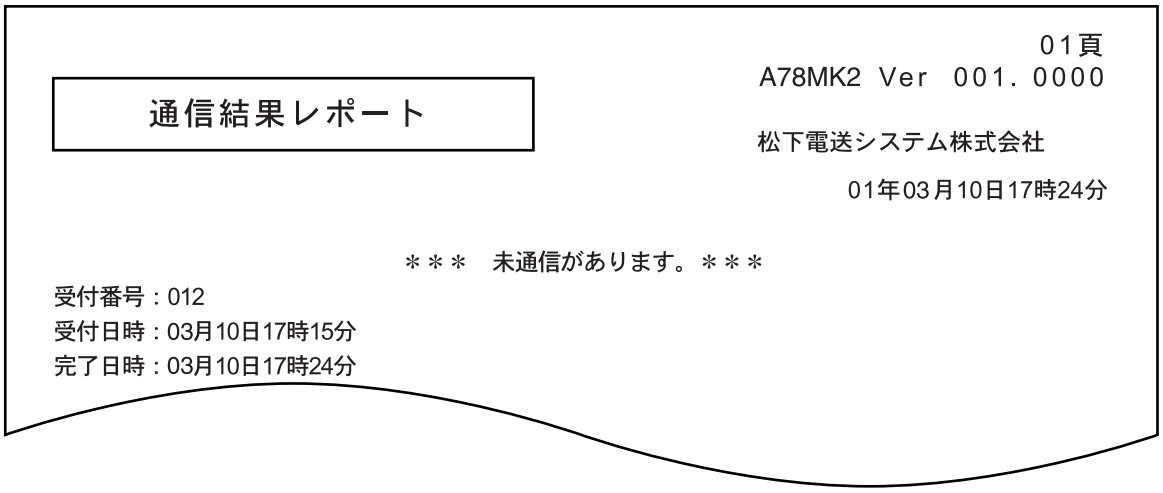
● プリントした通信受付レポートに送信を指定した原稿を付加します。

通信結果レポートのプリント

通信するたびに、通信結果の内容を表すレポートをプリントすることができます。

■通信結果レポートのプリント

お買い上げ時の設定では、結果レポートは未通信になったときだけプリントされます。



お知らせ

- システム登録の「通信結果レポート」（☛ 123 ページ）の設定により、通信結果レポートのプリント方法を選択することができます。
- プリントした通信結果レポートに、送信を指定した原稿を付加します。

リストのプリント

ダイヤルリストのプリント

ワンタッチ・短縮リスト：ダイヤル番号を登録した内容をプリントします。
クイックダイヤルリスト：ダイヤル番号を登録した内容を、検索文字の順番にリストにしてプリントします。

1 ファンクション ○ ⑥ ② セット を押す

ダイヤルリスト
1．ワンタッチ・短縮リスト
2．クイックダイヤルリスト

2 ①または②を押す
・ダイヤルリストのプリントを開始します。

01頁
A78MK2 Ver 001. 0000

ワンタッチ・短縮リスト

松下電送システム株式会社

01年03月10日17時15分

ﾜﾝﾀｯﾁ･短縮番号	登録名称 / 電話番号	料金	識別番号	中継指定	指定番号	指定部数
000 [ま]	松下電送サービス長野					
001					1234567	送信(03)
					1234599	受信(02)

01頁
A78MK2 Ver 001. 0000

クイックダイヤルリスト

松下電送システム株式会社

01年03月10日17時15分

■検索文字 【え】

ﾜﾝﾀｯﾁ･短縮番号	登録名称 / 電話番号	料金	識別番号	中継指定	指定番号	指定部数
001 [え]	A商事株式会社		22(02)	グループ	1234567	送信(03)
	(外線)0331234567			(代行宛先)	短縮：199	受信(02)

■検索文字 【し】

ﾜﾝﾀｯﾁ･短縮番号	登録名称 / 電話番号	料金	識別番号	中継指定	指定番号	指定部数
003 [し]	C商事株式会社		22(02)	グループ	1234567	送信(04)
	(外線)0661234567					

■検索文字 【て】

ﾜﾝﾀｯﾁ･短縮番号	登録名称 / 電話番号	料金	識別番号	中継指定	指定番号	指定部数
005 [て]	T産業株式会社	080.0円				
	(外線)0867123456			(代行宛先)	短縮：180	

お知らせ

● ダイヤルリストのプリントを途中でやめるときは、ストップ を押します。

ワンタッチリストのプリント

ワンタッチ、ファンクションに登録したグループダイヤル、プログラム、ファンクションの内容をリストにしてプリントします。

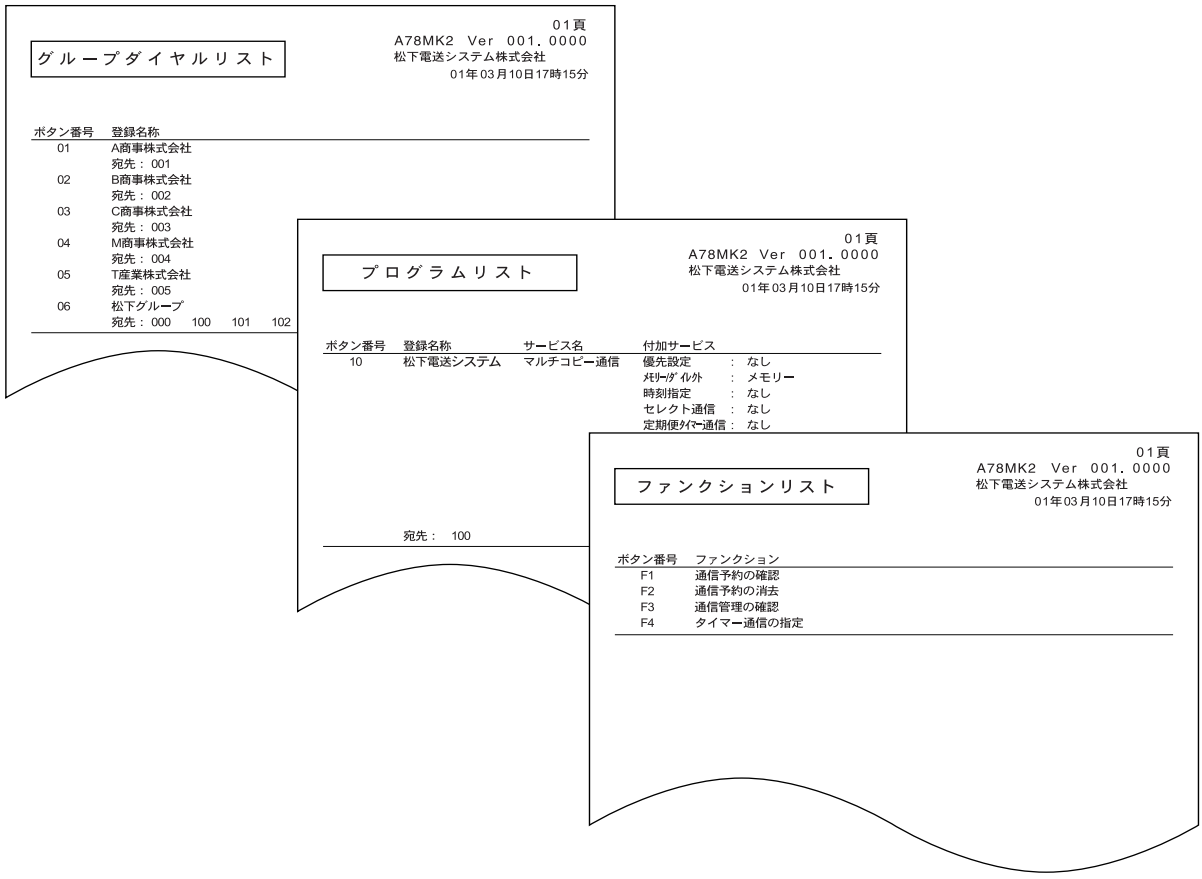
1 ファンクション ○ ⑥ ③ セット を押す

```
ワンタッチリスト      (1－4)
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

2 ①～④で選択する
または ∨ ∧ で選択し、セット を押す

- ①：グループダイヤルリスト
- ②：プログラムリスト
- ③：ファンクションリスト
- ④：全ワンタッチリスト

ワンタッチリストのプリントを開始します。



グループダイヤルリスト

01頁
A78MK2 Ver 001.0000
松下電送システム株式会社
01年03月10日17時15分

ボタン番号	登録名称
01	A商事株式会社
	宛先： 001
02	B商事株式会社
	宛先： 002
03	C商事株式会社
	宛先： 003
04	M商事株式会社
	宛先： 004
05	T産業株式会社
	宛先： 005
06	松下グループ
	宛先： 000 100 101 102

プログラムリスト

01頁
A78MK2 Ver 001.0000
松下電送システム株式会社
01年03月10日17時15分

ボタン番号	登録名称	サービス名	付加サービス	
10	松下電送システム	マルチコピー通信	優先設定	： なし
			ﾒﾓﾘｰﾀﾞｲﾚｸﾄ	： メモリー
			時刻指定	： なし
			セレクト通信	： なし
			定期便ﾀｲﾏｰ通信	： なし

宛先： 100

ファンクションリスト

01頁
A78MK2 Ver 001.0000
松下電送システム株式会社
01年03月10日17時15分

ボタン番号	ファンクション
F1	通信予約の確認
F2	通信予約の消去
F3	通信管理の確認
F4	タイマー通信の指定

お知らせ

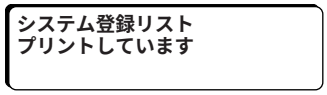
● ワンタッチリストのプリントを途中でやめるときは、ストップ を押します。

システム登録リストのプリント

システム登録で設定した内容をリストにしてプリントします。

1 ファンクション ○ ⑥ ④ セット **を押す**

・システム登録に設定されている内容がプリントされます。
・プリント終了後、待機状態に戻ります。



01頁
A78MK2 Ver 001.0000

システム登録リスト

松下電送システム株式会社

01年03月10日17時15分

現在の設定（標準設定）

001	原稿濃淡	(1:ふつう	2:こく	3:うすく)	1	1
002	文字サイズ	(1:ふつう	2:小さい	3:細密)	1	1
003	ハーフトーン	(1:なし	2:きれい	3:はやい)	1	1
004	済みスタンプ	(1:なし	2:あり)		2	2
005	送信メモリー優先	(1:なし	2:あり)		2	2
006	ダイヤル切替 外線	(1:PB	2:10pps	3:20pps)	1	1
	内線	(1:PB	2:10pps	3:20pps)	1	1
007	発信元印字	(1:なし	2:原稿外	3:原稿内)	3	3

お知らせ

● システム登録リストのプリントを途中でやめるときは、ストップ を押します。

自局情報リストのプリント

自局情報に設定した内容をリストにしてプリントします。

1 ファンクション ○ ⑥ ⑤ セット を押す

・自局情報に設定されている内容がプリントされます。

自局情報リスト
プリントしています

01頁
A78MK2 Ver 001. 0000
松下電送システム株式会社
01年03月10日17時15分

自 局 情 報 リ ス ト

発信元情報 : 松下電送システム株式会社

外線1数字ID : 0334919191

お知らせ

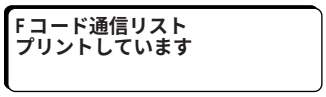
● 自局情報リストのプリントを途中でやめるときは、ストップ を押します。

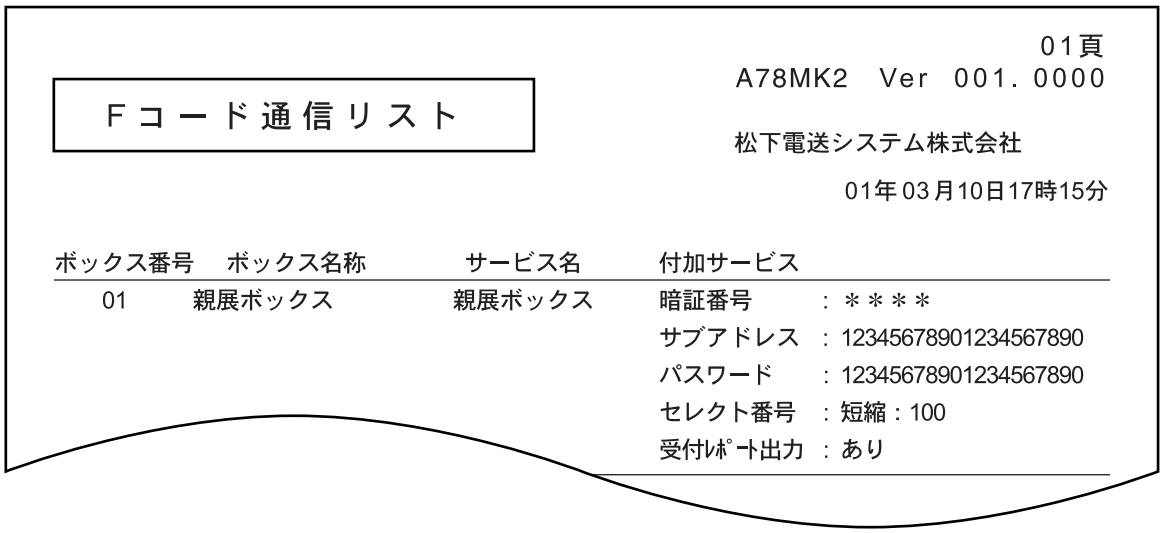
Fコード通信リストのプリント

Fコード通信に設定した内容をリストにしてプリントします。

1 ファンクション ○ ⑥ ⑥ セット を押す

・F コード通信に設定されている内容がプリントされます。





01頁
A78MK2 Ver 001.0000

Fコード通信リスト

松下電送システム株式会社

01年03月10日17時15分

ボックス番号	ボックス名称	サービス名	付加サービス	
01	親展ボックス	親展ボックス	暗証番号	：＊＊＊＊
			サブアドレス	：12345678901234567890
			パスワード	：12345678901234567890
			セレクト番号	：短縮：100
			受付ﾚﾎﾟｰﾄ出力	：あり

お知らせ

● Fコード通信リストのプリントを途中でやめるときは、ストップ を押します。

ユーザー管理リストのプリント

ユーザー別管理をセットしているとき、設定したユーザーの内容をリストにしてプリントしたり、ユーザーごとの通信管理などのレポートをプリントします。

1 ファンクション ○ ⑥ ⑦ セット を押す

・ユーザー管理者用暗証番号（☛ 119 ページ）が登録されていないときは、手順2の画面へ進みます。

```
ユーザー管理リスト
管理暗証番号を指定してください
_          （4桁）
```

2 暗証番号を指定する

・例：暗証番号が 1234 の場合

・ ① ② ③ ④ セット を押します。

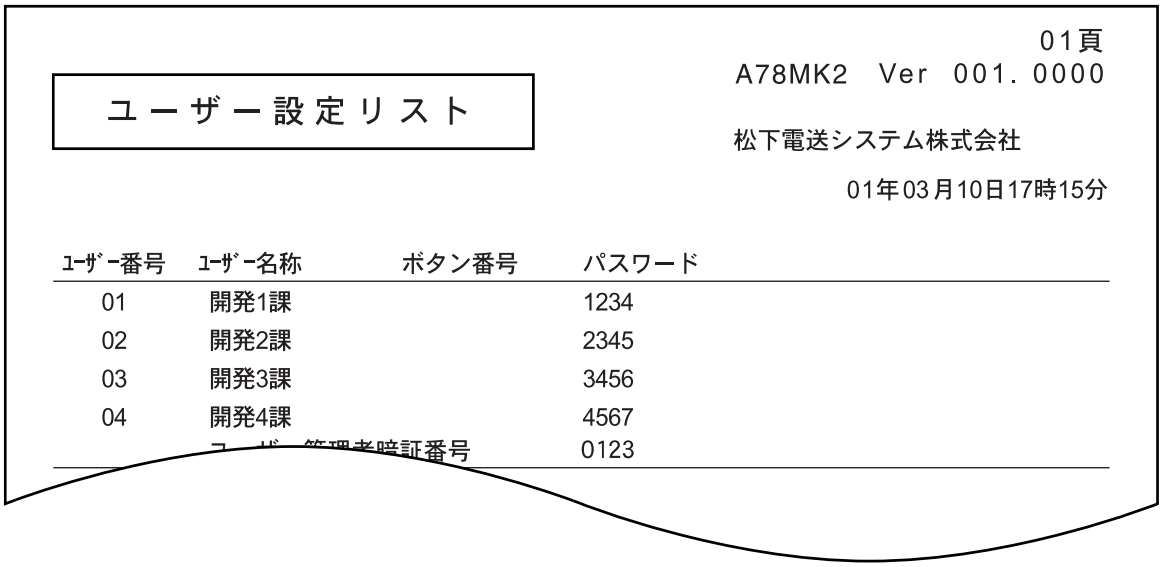
```
ユーザー管理リスト
1．ユーザー設定リスト
2．ユーザー別管理レポート
```

3 ①または②を押す

・1：ユーザーの設定内容リスト

・2：ユーザーごとの通信管理などのレポート

ユーザー管理リストのプリントを開始します。



01頁
A78MK2　Ver　001．0000

ユーザー設定リスト

松下電送システム株式会社

01年03月10日17時15分

ﾕｰｻﾞｰ番号	ﾕｰｻﾞｰ名称	ボタン番号	パスワード
01	開発1課		1234
02	開発2課		2345
03	開発3課		3456
04	開発4課		4567
	ユーザー管理者暗証番号		0123

01頁
A78MK2　Ver　001．0000

ユーザー別管理レポート

松下電送システム株式会社

01年03月10日17時15分

1. 集計期間　：01年03月03日20時58分　～　01年03月10日17時15分

2. 時刻指定

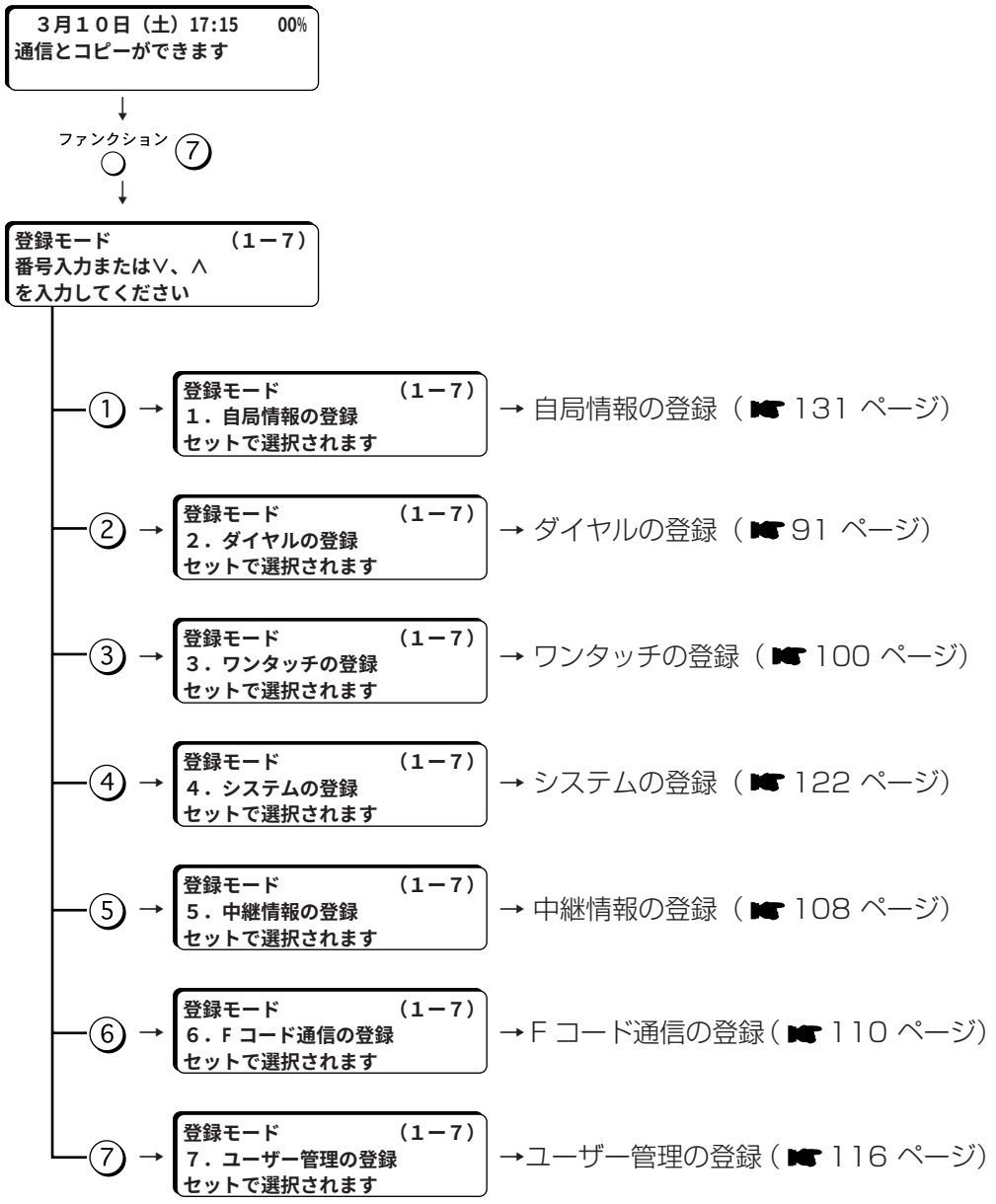
指定時刻

お知らせ

● ユーザー管理リストのプリントを途中でやめるときは、ストップ を押します。

登録操作フロー

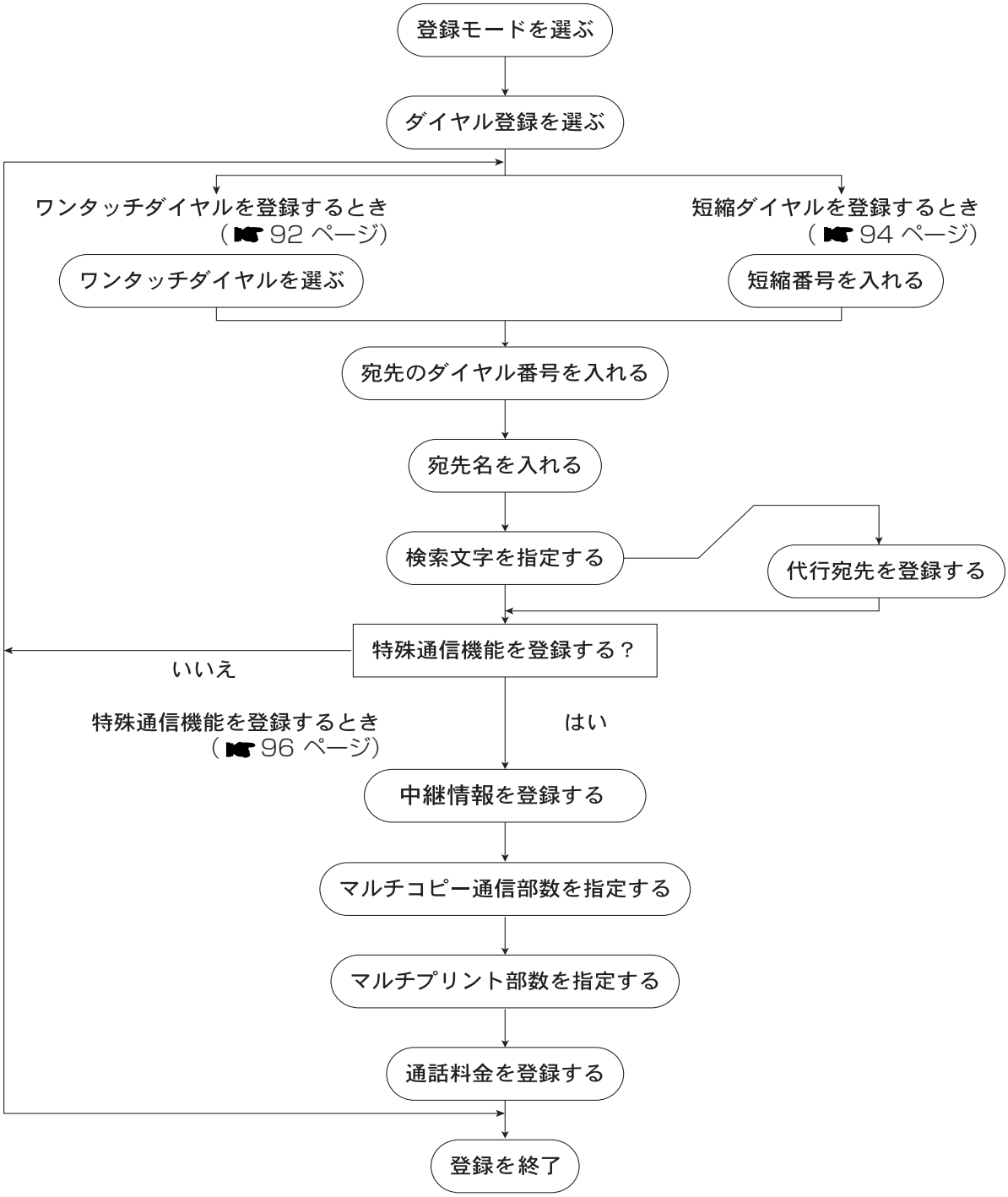
次のボタン操作をして、それぞれの登録をします。



ダイヤルの登録

ダイヤル登録操作フロー

ダイヤル番号をワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）や短縮ダイヤル（000 ～ 999）に登録して、簡単な操作で相手にダイヤルすることができます。



ワンタッチダイヤルの登録

よく使う宛先のダイヤル番号をワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）に登録しておくことができます。

1 ファンクション ⑦ ② セット を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録
```

2 ① を押す

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～50、F 1～ F 10）
          を押してください
```

3 ワンタッチボタン（01 ～50、F1 ～F10）を押す

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示される。

・間違えたときや登録済のボタンを押した場合は、∨ ∧ を押し、ほかのワンタッチボタンを選べます。

```
ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
_                  外線
```

4 宛先のダイヤル番号（最大 52 桁）を入れる

・間違えた場合は、＜ ＞を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例

```
ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
0334952973_        外線
```

5 セット を押す

・ダイヤル番号が登録されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：01
宛先名を登録してください
_
```

6 宛先名（最大 20 文字）を入れる

・宛先の名前を入れます。（☛ 126 ページ）

```
東京本社_
  ー文字訂正：クリアー
  終了時：セット　（かな入力）
```

7 セット を押す

・宛先名が登録されます。

・宛先名に登録した先頭の文字が、クイックダイヤルをするときの検索文字として表示されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：01
検索文字を入力してください
検索文字：と
```

8 検索文字を確認して セット を押す

・検索文字が登録されます。

・システム登録の「代行宛先通信」（☛ 125 ページ）の設定が「あり」の場合、登録できます。

```
代行宛先を登録してください

短縮：_　　（3桁）
```

9 代行宛先を入れて セット を押す

・特殊通信機能の登録が選べる。（☛ 96 ページ「特殊通信機能の登録」）

```
特殊通信機能を登録しますか

1．はい　　2．いいえ
```

10 ② を押す

・続けてワンタッチダイヤルの登録ができます。手順 3 からの操作をします。

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～50、F 1～F 10）
          を押してください
```

11 ストップ を押す

お知らせ

- ワンタッチダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 手順 4 でダイヤル番号として登録できるのは、数字、＊、＃、ポーズ（−）、トーン（／）、モニター（スペース）の最大 5 2 桁です。
- 手順 4 でスペースを登録するときは、モニター を押します。
- トーン を押すとプッシュホン信号に切り替わります。表示は“／”として登録されます。
- 国際ダイヤル通話をご利用の場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- NCC 回線をご利用の場合は、NCC 回線のアクセス番号のあとに、再ダイヤル/ポーズ を 2 回押して約 7 秒の空白時間を入れてから、残りのダイヤル番号を入れてください。
- 宛先名の先頭に 50 音以外の文字を登録したときは、クイックダイヤルするときの検索文字が登録されません。手順 8 で セット を押す前に、ワンタッチダイヤル F1（あ）～ F10（こ）、01（さ）～ 38（ん）を使って検索文字を登録してください。
- 一般電話の電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

短縮ダイヤルの登録

よく使う宛先のダイヤル番号を３桁の短縮番号（000 ～ 999）に登録しておくことができます。

1 ファンクション ⑦ ② セット を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録
```

2 ② を押す

```
短縮ダイヤルの登録 設定数：0000
短縮番号を指定してください
短縮：__      （3桁）
```

3 短縮番号（000 ～ 999）を押す

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。

・間違えた場合は、⑧ ⑨ を押し、ほかの短縮番号を選べます。

```
短縮ダイヤルの登録      短縮：001
ダイヤルを登録してください
__                      外線
```

4 宛先のダイヤル番号（最大 52 桁）を入れる

・間違えたときや登録済のボタンを押した場合は、⑤ ⑥ を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例

```
短縮ダイヤルの登録      短縮：001
ダイヤルを登録してください
0334919191 _            外線
```

5 セット を押す

・ダイヤル番号が登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録      短縮：001
宛先名を登録してください
_
```

6 宛先名（最大 20 文字）を入れる

・宛先の名前を入れる。（☛ 126 ページ）

```
松下電送システム_
  ー文字訂正：クリアー
  終了時：セット　（かな入力）
```

7 セット を押す

・宛先名が登録されます。

・宛先名に登録した先頭の文字が、クイックダイヤルをするときの検索文字として表示されます。

```
短縮ダイヤルの登録      短縮：001
検索文字を入力してください
検索文字：ま
```

8 検索文字を確認して セット を押す

・検索文字が登録されます。

・システム登録の「代行宛先通信」（☛ 125 ページ）の設定が「あり」の場合、登録できます。

```
代行宛先を登録してください

短縮：__      （3桁）
```

9 代行宛先を入れて セット を押す

・特殊通信機能の登録が選べます（☛ 96 ページ「特殊通信機能の登録」）。

```
特殊通信機能を登録しますか

1．はい      2．いいえ
```

10 ② を押す

・続けて短縮ダイヤルの登録ができます。手順 3 からの操作をしてください。

```
短縮ダイヤルの登録 設定数：0001
短縮番号を指定してください
短縮：__      （3桁）
```

11 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- 短縮ダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 手順 4 でダイヤル番号として登録できるのは、数字、＊、＃、ポーズ（−）、トーン（／）、モニター（スペース）の最大 52 桁です。
- 回転ダイヤル式回線で「トーン」を登録したいときは、トーン を押します。
- トーン を押すとプッシュホン信号に切り替わります。表示は“／”として登録されます。
- 国際ダイヤル通話をご利用の場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- NCC 回線をご利用の場合は、NCC 回線のアクセス番号のあとに、再ダイヤル/ポーズ を 2 回押して約 7 秒の空白時間を入れてから、残りのダイヤル番号を入れてください。
- 宛先名の先頭に 50 音以外の文字を登録したときは、クイックダイヤルするときの検索文字が登録されません。手順 8 で セット を押す前に、ワンタッチダイヤル F1（あ）～ F10（こ）、01（さ）～ 38（ん）を使って検索文字を登録してください。
- 一般電話の電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

特殊通信機能の登録

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに「中継情報」などの特殊通信機能を登録することができます。

- 「中継情報」を登録したいときは、あらかじめ、システム登録の「短縮ダイヤル情報」を“あり”にしておいてください（☛ 125 ページ）。
- 特殊通信機能について、詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

1 ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録の手順 9 までの操作をする（☛ 92 ページ、94 ページ）

```
特殊通信機能を登録しますか

1．はい        2．いいえ
```

2 ①を押す

```
中継情報を登録しますか
1．中継機        2．中継機以外
3．いいえ
```

3 中継機の種類を選ぶ

- ①：宛先が中継親局のときに選びます。
- ②：宛先が中継親局を経由した相手のときに選びます。
- ③のとき→手順 10 へ進みます。

例：「2」

```
中継機識別番号を
登録してください
__      （2桁）
```

4 中継機識別番号（2 桁）を指定し、セット を押す

- 2 桁の識別番号を指定します。
- 手順 3 で①を選択した場合、手順 7 へ進みます。
- 間違えたときは、セット を押す前に クリアー を押して、指定し直します。

```
中継指示宛先の登録
1．短縮        2．内線
3．直接
```

5 中継親局からのダイヤル方法を選ぶ

- ①：中継親局に登録されている短縮番号を使ってダイヤルします。

  →手順 6 へ進みます。

```
中継指示宛先の登録
短縮番号を指定してください
__                （7桁）
```

- ②：中継親局の内線を使って、本機の短縮ダイヤルに登録されている中継指示の内線番号へダイヤルします。

  →手順 6 へ進みます。

```
中継指示宛先の登録
内線番号を指定してください
__                （7桁）
```

- ③：中継親局の外線を使って、本機の短縮ダイヤルに登録されている番号をダイヤルします。

  →手順 8 へ進みます。

```
2次中継機識別番号を
登録してください
__      （2桁）
```

6 中継親局からダイヤルする番号を指定する

・手順５で①を選んだときは、中継親局に登録されている短縮番号を指定します。

・手順５で②を選んだときは、中継親局からダイヤルする内線番号を指定します。

7 セット を押す

・２次中継機識別番号を指定しないときは、セット を押して手順９へ進みます。

```
2 次中継機識別番号を
登録してください
__　（2桁）
```

8 ２次中継機識別番号（2 桁）を指定します

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「10」

```
2 次中継機識別番号を
登録してください
１０　（2桁）
```

9 セット を押す

```
マルチコピー通信部数の指定

部数：０１　（2桁）
```

10 マルチコピー通信部数（最大 99 部）を指定する

・相手先機の出力部数を指定できます。

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「03」

```
マルチコピー通信部数の指定

部数：０３　（2桁）
```

11 セット を押す

```
マルチプリント部数の指定

部数：０１　（2桁）
```

12 マルチプリント部数（最大 99 部）を指定する

・登録した相手からファクスを受信したとき、あらかじめ部数（最大 99 部）を設定しておいて、指定した部数を自動的にプリントできます。

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「03」

```
マルチプリント部数の指定

部数：０３　（2桁）
```

13 セット を押す

```
料金登録設定をおこないますか
１．国内料金　２．海外料金
３．いいえ
```

14 ①を押す

・料金登録をしておくと、通信管理レポートの“料金”の欄に通信料金を印字させることができます。料金登録には、「国内」と「海外」の２種類があります。

```
通話料金を登録してください

国内：__　.　（秒／１０円）
```

15 通話料金を登録する

・最大 180 秒まで登録できます。
・間違えたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：10 円で 60 秒通話できる場合

```
通話料金を登録してください

国内：６０ .    (秒／１０円)
```

16 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- システム登録の「短縮ダイヤル情報」が“なし”になっているときは、中継情報、マルチコピー部数、料金登録を登録することができません。
- マルチプリント部数の指定において、部数プリントをするためには、システム登録の「マルチプリント部数」を“短縮 / ワンタッチ”に設定する必要があります。

ダイヤルの変更

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容を変更します。

1 ファンクション ⑦ ② セット を押す

```
ダイヤルの登録
１．ワンタッチダイヤルの登録
２．短縮ダイヤルの登録
```

2 ①または②を押す

・①：ワンタッチダイヤルを変更する場合
・②：短縮ダイヤルを変更する場合

例：「1」

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（１～５０、Ｆ１～Ｆ１０）
          を押してください
```

3 変更するワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）を押す

・登録されているダイヤル番号が表示されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ダイヤルを登録してください
0334952973          外線
```

4 クリアー を押す

・表示されている番号が消去されます。

これから先は、「ワンタッチダイヤルの登録」（☛92 ページ）または「短縮ダイヤルの登録」（☛94 ページ）の手順 4 からの操作をします。

ダイヤルの消去

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容を消去します。

1 ファンクション ○ ⑦ ② セット を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録
```

2 ①または②を押す

・①：ワンタッチダイヤルを消去する場合

・②：短縮ダイヤルを消去する場合

例：「1」

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～50、F1～F10）
        を押してください
```

3 消去するワンタッチダイヤル（01～50、F1～F10）を押す

・登録されているダイヤル番号が表示されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
0334952973          外線
```

4 クリアー を押す

・表示されている番号が消去されます。

5 セット ストップ を押す

・指定したワンタッチダイヤルが消去されます。

・ セット を押したあとに、手順 3 からの操作をくり返せば、続けてダイヤル番号の消去ができます。

お知らせ

● 短縮ダイヤルの変更および消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。

ワンタッチの登録

ワンタッチ（01 ～ 50、F1 ～ F10）にダイヤルを登録して、グループダイヤル、プログラムダイヤルとして、お使いになれます。

グループダイヤルの登録

ワンタッチに、複数の短縮番号やワンタッチを登録して、グループダイヤルとしてお使いになれます。（UF-A78MK2/A80MK2/A80MMK2：最大２００宛先、UF-A80SMK2/A80MSMK2：最大１０００宛先まで）

● グループダイヤルには、登録済みの短縮番号やワンタッチを入力します。あらかじめ、短縮ダイヤルやワンタッチの登録をしておいてください（☛ 94 ページ）。

1 ファンクション ⑦ ③ セット ① セット を押す

```
グループダイヤルの登録
ボタン（1～50、F1～F10）
        を押してください
```

2 ワンタッチダイヤル（01 ～50, F1 ～F10）を押す
例：「ワンタッチダイヤル 03」

```
グループダイヤルの登録
名称を登録してください
_
```

3 グループダイヤル名称（最大 20 文字）を入れる（☛ 126 ページ）

```
電送システムサービス_
  －文字訂正：クリアー－
終了時：セット　（かな入力）
```

4 セット を押す

```
グループダイヤルの登録　：0000
宛先を指定してください
```

5 グループダイヤルに登録するワンタッチ番号、短縮番号（UF-A78MK2/A80MK2/A80MMK2：最大２００宛先、UF-A80S/MSMK2：最大１０００宛先）を指定する
例：「短縮 010」

```
グループダイヤルの登録　：0001
長野工場
短縮：０１０（３桁）
```

6 セット を押す
・続けてグループダイヤルに宛先を追加できます。

```
グループダイヤルの登録　：0001
宛先を追加してください
```

7 スタート ストップ を押す

■登録内容の宛先確認／消去

ワンタッチをグループダイヤルとして登録するとき、宛先内容の確認／消去ができます。

1 ファンクション ⑦ ③ セット ① セット **を押す**

```
グループダイヤルの登録
ボタン（1～50、F1～F10）
          を押してください
```

2 **確認または消去するワンタッチダイヤル（01 ～ 50，F1 ～ F10）を押す**
例：「ワンタッチダイヤル 03」

```
グループダイヤルの登録
ボタン番号：03
グループ              登録済み
```

3 セット **を押し、グループダイヤル名称（最大 20 文字）を入れる**（☛ 126 ページ）
・登録されているグループダイヤル名称は クリアー を押して消去できます。
・グループダイヤル名称を変更しない場合は手順４へ進みます。

4 セット **を押す**

```
グループダイヤルの登録　：0010
宛先を指定してください
```

5 ⓥ ⓐ **を押して、宛先を確認する**
・ ⓥ ⓐ を押すたびにディスプレイが切り替わります。
・宛先を消去しない場合は、上の画面で セット を押します。

```
グループダイヤルの登録　：0010
長野工場
短縮：010（3桁）
```

6 **消去する宛先が表示されたら、クリアー を押す**
・表示されている短縮番号が消去されます。

```
グループダイヤルの登録　：0009
湘南工場
短縮：009（3桁）
```

7 セット ◇スタート ストップ ▽ **を押す**

グループダイヤルの変更

1 「グループダイヤルの登録」（☛ 100 ページ）の手順 4 までの操作をする

2 ⓥ ⓐ を押して、宛先を確認する

```
グループダイヤルの登録　：0010
長野工場
短縮：０１０（３桁）
```

3 変更する宛先が表示されたら、クリアー を押す

・変更する宛先が消去されます。

```
グループダイヤルの登録　：0009
湘南工場
短縮：００９（３桁）
```

4 セット を押す

```
グループダイヤルの登録　：0009
宛先を追加してください
```

5 変更する宛先を指定する

・続けて、グループダイヤルに宛先を追加できます。

例：「短縮０１１」

```
グループダイヤルの登録　：0010
松下電送　総務部
短縮：０１１（３桁）
```

6 セット を押す

```
グループダイヤルの登録　：0010
宛先を追加してください
```

7 セット を押す

・グループダイヤルの変更が終ります。

```
グループダイヤルの登録
ボタン（１～５０、Ｆ１～Ｆ１０）
　　を押してください
```

8 ストップ を押す

お知らせ

● グループダイヤルの変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

プログラムダイヤルの登録

ワンタッチに宛先とポーリング受信などの各種通信操作を登録しておくと、複雑な機能もボタンを 1 回押すだけで指定できます。

● プログラムダイヤルの宛先には、登録済みの短縮番号やワンタッチ番号を入力します。あらかじめ、短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルの登録をしておいてください（☛91 ページ）。

1 ファンクション ⑦ ③ セット ② セット **を押す**

```
プログラムダイヤルの登録
ボタン（1～50）
        を押してください
```

2 **登録するワンタッチダイヤル（01 ～50）を押す**

・指定したワンタッチに登録内容があるときは、ディスプレイの 3 段目に、その内容を表示する。

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直す。

```
プログラムダイヤルの登録
名称を登録してください
_
```

3 **プログラム名称（最大 20 文字）を入れる**

・文字の入力のしかた（☛126 ページ）

```
電送システム
  ー文字訂正：クリアー
終了時：セット　（かな入力）
```

4 セット **を押す**

```
プログラムダイヤルの登録
プログラムが登録できます
操作を指定してください
```

5 ファンクション **を押して、通信操作を登録する**

・登録する機能を表示させ、各種通信操作を登録します。

・宛先指定などは、通常の通信操作と同じです。各ページを参照してください。

・登録できる通信操作の種類（☛104 ページ）

```
ファンクション選択　（1－8）
番号入力またはV、Λ
を入力してください
```

6 スタート **を押す**

・プログラムダイヤルが登録されます。

```
プログラムダイヤルの登録
ボタン（1～50）
        を押してください
```

7 **続けて、プログラムダイヤルの登録ができます。手順2からの操作をくり返します。**

8 ストップ **を押す**

お知らせ

● プログラムダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
● 指定したワンタッチに、すでに登録済みの内容があるときは、その内容が表示されます。
● プログラムダイヤルの登録は、ワンタッチダイヤル、グループダイヤルを含めて最大 50ヶまで指定できます。

プログラムダイヤルの変更

1 「ワンタッチボタンの消去」（☛ 108 ページ）をする

2 「プログラムダイヤルの登録」（☛ 103 ページ）の操作をして、プログラムダイヤルを登録し直す

登録できる通信操作の種類

プログラムダイヤル	1. タイマー通信	1. 送信
		2. ポーリング受信
		3. 特殊通信
	2. 特殊通信	1. 中継同報指示
		2. 親展通信
		3. ファイル送信
		4. F コード通信
		5. マルチコピー通信
		6. F 網通信
		7. F ポート通信
	3. ポーリング	1. ポーリング受信
	8. セレクトモード	1. 優先通信
		2. OMR 通信
		3. セレクト送信
		4. パスワード送信
		5. ワンタイム海外通信
		6. 定期便タイマー通信

ファンクションの登録

ファンクション登録ボタン[oF1 通信予約の確認 あ]～[oF10 こ]によく使う機能を 10 種類まで登録できます。ファンクション登録しておくと、複雑な操作を 1 回の操作で指定できます。
また、ダイヤル番号を登録して、ワンタッチダイヤル、グループダイヤルとしてもお使いになれます。

1 ファンクション ○ ⑦ ③ [セット] ③ [セット] **を押す**

```
ファンクションの登録
ボタン（F 1～F 1 0）
        を押してください
```

2 **登録するボタン（F1 ～ F10）を押す**

・指定したファンクション登録ボタンに登録内容があるときは、ディスプレイの 3 段目に、その内容を表示します。

・間違えたときは、[クリアー] を押して、指定し直します。

```
希望項目の番号を選んでください
1．タイマー送信
2．タイマーポーリング受信
```

3 ⓥ **を押して、登録する機能を表示させる**

・ ⓥ を押すと、ディスプレイは次のように切り替わります。登録する機能を表示させます。

・登録できる機能の種類（☛ 106 ページ）

```
希望項目の番号を選んでください
1．タイマー特殊通信
2．中継通信
```
→
```
希望項目の番号を選んでください
1．親展送信
2．親展ポーリング受信
```
→ （UF-A78MK2 以外）
```
希望項目の番号を選んでください
1．親展プリント
2．ファイル蓄積
```

4 ① **または** ② **を押す**

・登録する機能がディスプレイの3段目に表示されます。

・間違えたときは、[クリアー] を押して、指定し直します。

5 [セット] **を押す**

```
ファンクションの登録
ボタン（F 1～F 1 0）
        を押してください
```

6 **続けて、ファンクションの登録ができます。手順 2 からの操作をくり返します**

7 ストップ ⓥ **を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- ファンクションの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 「タイマー通信の指定」または「通信モード／回線の指定」をファンクションに登録する場合、手順 4 で ① または ② を押しただけでは機能は登録されません。以下の操作をしてください。
  - 「タイマー通信の指定」の場合、手順 4 までの操作をする→時刻指定する→[セット] を 2 回押す→ ストップ を押す
  - 「通信モード／回線の指定」の場合、手順 4 までの操作をする→ ① を押す→「外線」または「内線」を選ぶ→[セット] を押す→ スタート を押す→ ストップ を押す

■登録できる機能の種類

機能名	説明	参照ページ
タイマー送信	あらかじめ、指定しておいた時間に通信を指定することができます。	48 ページ
タイマーポーリング受信	あらかじめ、指定しておいた時間にタイマーポーリング受信をします。	48 ページ
タイマー特殊通信	本機でご利用になれる各種通信を、通信時刻を指定してお使いになれます。	49 ページ
中継同報指示	中継親局を経由して、遠方にある複数の宛先へ、経済的に送信を指定できます。	51 ページ
親展送信	ある特定の人に原稿を送信したいとき、中継親局のメモリーに暗証番号をつけて原稿を送信することができます。	52 ページ
親展ポーリング受信	中継親局に蓄積されている親展原稿を、こちらの操作で取り出すことができます。	53 ページ
親展プリント（＊）	オプションの中継センターユニットをお使いの場合、親展受信した文書をプリントすることができます。	53 ページ
ファイル蓄積	ファイル送信する原稿を本体のメモリーに蓄積します。	54 ページ
ファイル送信	ファイル蓄積した内容を送信します。	54 ページ
ファイル消去	ファイル蓄積した内容を消去します。	55 ページ
ファイルプリント	ファイル蓄積した内容をプリントして確認できます。	55 ページ
手動ファイル転送	代行受信をしているけれどトナーや用紙が無くてプリントできないときなどに、受信した内容を別のファクスに転送してプリントすることができます。	80 ページ
Fコード送信	機密保持のために相手機に登録されているサブアドレス番号を指定し、一致した相手機サブアドレスのボックスに文書を蓄積します。	56 ページ
Fコード取り出し	相手機に開設されたボックスに登録してある文書を取り出すことができます。	57 ページ
Fコード掲示板登録	あらかじめ掲示板ボックスを開設して、ボックスに文書を登録することができます。	57 ページ
Fコード親展プリント	親展ボックスに登録された文書を取り出すことができます。	58 ページ
マルチコピー通信	送信するとき、受信側でプリントする枚数を指定することができます。	59 ページ
F網通信	NTT コミュニケーションズのファクシミリ通信網を使って通信することができます。	59 ページ
Fポート通信	KDDI 株式会社（KDDI）のF ポート専用回線を利用して通信することができます。	60 ページ
ポーリング受信	相手にセットされているポーリング原稿を、こちらの操作で受信します。	47 ページ
ポーリング送信	相手の操作で自動的に送信したいときに、ポーリング送信をセットします。	46 ページ
通信管理レポートの出力	通信管理レポートをプリントすることができます。	81 ページ
通信管理レポートの確認	通信管理状況を、ディスプレイで確認することができます。	81 ページ
OMR通信	専用の OMRシートを使って、通信を指定することができます。	60 ページ
パスワード送信	パスワードが一致する相手にだけ、送信することができます。	63 ページ
セレクト送信	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した相手にしか、ファクスを送信しないようにすることができます。	68 ページ
優先通信	至急に送信したい原稿を、現在、行っている通信の次に送信することができます。	70 ページ
ワンタイム海外通信	海外の相手と通信をしていて、通信エラーや画質異常になるときに指定します。	71 ページ
定期便タイマー通信	登録済みの定期便タイマーの指定時刻（最大5つ）から、一番近い時刻になると、自動的に通信を始めます。	71 ページ
通信予約の確認	タイマー通信などの通信予約した内容を確認します。	74 ページ
時間・宛先変更	タイマー送信やタイマーポーリング受信の指定時間、宛先を変更できます。	76 ページ

機能名	説明	参照ページ
通信予約の消去	通信予約されている内容を消去します。	77 ページ
指定通信予約レポート	通信予約をしている内容があるとき、指定する予約内容をレポートにしてプリントすることができます。	78 ページ
未達宛先再通信	メモリーに蓄積されている未通信の内容を再通信の指定にします。	79 ページ
受信データの強制出力	装置設定の「代行出力」が“なし”になっているとき、メモリーに蓄積されている受信原稿を強制的にプリントします。	80 ページ
通信先表示の確認（＊）	オプションの通信ユニットを増設した場合、同時に通信している通信中の相手や通信枚数をディスプレイで確認します。	―
省エネモード	節電モード、省エネモードの設定ができます。	―
メモリー転送	受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送します。	―
ダイレクト通信	メモリーを使わないで送信をすることができます。	29 ページ
発信元印字 ON/OFF	送信するときに、発信元情報の印字の付加を指定できます。	―
等倍送信	相手側にセットされている記録紙のサイズに関わらず、セットした原稿を縮小しないで送信できます。	―
ハイブリッドダイヤル	ハイブリッドダイヤルの指定ができます。ハイブリッドダイヤルをお使いになるときは、必ず登録してください。	33 ページ
通信モード／回線	回線の指定ができます。	―
サブアドレス（＊）	オプションの G4 通信ユニットを増設した場合、サブアドレス番号を指定するときに使用します。	―

お知らせ

- ワンタッチダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- ＊印の機能は、UF-A80MK2 タイプでご利用になれます。

ワンタッチの消去

ワンタッチ（01 ～ 50）とファンクション登録ボタン（F1 ～ F10）に登録されている内容を消去します。

1 ファンクション ⑦ ③ セット ④ セット を押す

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン（１～５０、Ｆ１～Ｆ１０）
          を押してください
```

2 **消去するボタンを押す**

・消去するワンタッチボタン（01 ～ 50、F1 ～ F10）を選択します。
・登録されている内容がディスプレイの３段目に表示されます。
・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン番号：０１
ダイヤル          登録済み
```

3 セット を押す

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン番号：０１　消去しますか
１．はい　　２．いいえ
```

4 ① を押す

・指定したボタンの内容が消去されます。
・登録内容を消去しないときは、② を押します。手順 1 の画面に戻ります。

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン番号：０１消去しました
```

5 **続けて、ワンタッチボタンの消去をするときは、手順 2 からの操作をくり返します**

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン（１～５０、Ｆ１～Ｆ１０）
          を押してください
```

6 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● ワンタッチの消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。

中継情報の登録

中継通信をするために必要な情報を登録します。

1 ファンクション ⑦ ⑤ を押す

```
登録モード          （１－７）
５．中継情報の登録
セットで選択されます
```

2 セット

```
外線電話番号の登録
```

3 ∨ ∧ を押して、必要な情報を登録する
（☛ 109 ページ）

4 ストップ を押す

・必要な情報の登録が終了したとき押します。

中継情報の登録の種類

中継情報では、次の
各項目が登録できます。

	項目	内容	参照ページ
1	外線電話番号	外線の電話番号を登録します。	135 ページ
2	外線レポート返送先	外線で中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
3	ネットワークパスワード	中継ネットワーク内で使うパスワードを登録します。	—
4	自局中継識別番号	本機の識別番号を登録します。	—
5	内線電話番号	内線の電話番号を登録します。	136 ページ
6	内線レポート返送先	内線で中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
7	中継機宛先	中継親局の電話番号を登録します。	—
8	中継機通話料金登録	中継親局との通話料金を登録します。	—
9	自ユーザー ID	自局のユーザー ID を登録します。	—
10	外線 2,G3 電話番号	CH2 にオプションの G3 通信ユニットを装着時の、本機の外線番号を登録します。	—
11	外線 2,G3 レポート返送先	CH2 にオプションの G3 通信ユニットを装着時の、中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
12	ISDN2 番号	CH2 にオプションの G4 通信ユニットを装着時の、本機の外線番号を登録します。	—
13	ISDN2 レポート返送先	CH2 にオプションの G4 通信ユニットを装着時の、中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
14	外線 3,G3 電話番号	CH3 にオプションの G3 通信ユニットを装着時の、本機の外線番号を登録します。	—
15	外線 3,G3 レポート返送先	CH3 にオプションの G3 通信ユニットを装着時の、中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
16	ISDN3 番号	CH3 にオプションの G4 通信ユニットを装着時の、本機の外線番号を登録します。	—
17	ISDN3 レポート返送先	CH3 にオプションの G4 通信ユニットを装着時の、中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
18	外線 4,G3 電話番号	CH4 にオプションの G3 通信ユニットを装着時の、本機の外線番号を登録します。	—
19	外線 4,G3 レポート返送先	CH4 にオプションの G3 通信ユニットを装着時の、中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
20	ISDN4 番号	CH4 にオプションの G4 通信ユニットを装着時の、本機の外線番号を登録します。	—
21	ISDN4 レポート返送先	CH4 にオプションの G4 通信ユニットを装着時の、中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—

※ 10 ～ 21 はオプションの G3/G4 通信ユニット増設時に有効となります。

Fコード通信の登録

Fコード通信で使うボックスを開設します。
本機では、親展ボックスと掲示板ボックスを開設できます。

親展ボックスの登録

1 ファンクション ⑦ ⑥ セット を押す

```
Fコード通信の登録
1．ボックスの登録
2．ボックスの消去
```

2 ①を押す

```
ボックスの登録
1．親展ボックスの登録
2．掲示板ボックスの登録
```

3 ①を押す

```
親展ボックスの登録
ボックスNo.を指定してください
_　　（2桁）
```

4 ボックスNo.（2桁：01～10）を指定する

・間違えたときは、クリアーを押して、指定し直します。　例：「01」

・すでに掲示板ボックスとして登録されているボックスNo.を選ぶことはできません。

```
親展ボックスの登録
ボックスNo.を指定してください
01　（2桁）
```

5 セットを押す

```
親展ボックスの登録
ボックス名称を登録してください
_
```

6 ボックス名称（最大20文字）を入れる

・文字の入力のしかた
（☛126 ページ）

```
親展ボックス_
ー文字訂正：クリアーー
終了時：セット　（かな入力）
```

7 セットを押す

```
親展ボックスの登録
暗証番号を登録してください
_　　（4桁）
```

8 暗証番号（4桁）を登録する

・間違えたときは、クリアーを押して、指定し直します。　例：「1234」

```
親展ボックスの登録
暗証番号を登録してください
1234　（4桁）
```

9 セットを押す

```
親展ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
_
```

10 サブアドレス（最大20桁）を登録する

・間違えたときは、クリアーを押して、指定し直します。　例：「12345678901234567890」

```
親展ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
12345678901234567890
```

11 セットを押す

```
親展ボックスの登録
パスワードを登録してください
_
```

12 パスワード（最大 20 桁）を登録する

・パスワードが必要ない場合は、何も入力しないで手順 13 に進みます。

・間違えたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「22222333334444455555」

```
親展ボックスの登録
パスワードを登録してください
22222333334444455555
```

13 セットを押す

```
親展ボックスの登録
セレクト番号を登録してください
短縮：__　（3桁）
```

14 親展ボックスに受信する相手を登録する

・親展ボックスに受信する相手を選択します。

・間違えたときは、クリアーを押して、指定し直します。

・セレクト番号の選び方（☛ 112 ページ）

例：短縮番号「001」

```
親展ボックスの登録
松下電送システム
短縮：００１　（3桁）
```

15 セットを押す

```
親展ボックスの登録
受付レポートを出力しますか
1．はい　　2．いいえ
```

16 受付レポートの出力を選ぶ

・①：親展ボックスに受信したとき、受付レポートを出力します。

・②：受付レポートを出力しません。

例：「受付レポートを出力する」を選択する場合

```
ボックスNo．０１は
親展ボックス
として登録されました
```

17 続けて、親展ボックスの登録をするときは、手順 4 からの操作をくり返します

18 ストップを押す

お知らせ

- 親展ボックスに登録した暗証番号は忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れると、親展ボックスに受信した文書をプリント（☛ 58 ページ）したり、ボックスの登録内容を変更・消去することができなくなります。
- 暗証番号を忘れた場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 親展ボックスの登録を途中でやめるときは、ストップを押します。

親展ボックスの変更

1 「親展ボックスの登録」の手順3までの操作をする（☛ 110 ページ）

2 変更するボックス No. を指定し、セットを押す

・間違えたときは、セットを押す前にクリアーを押して、指定し直します。

3 指定したボックス No. に登録されている暗証番号を入力し、セットを押す

4 「親展ボックスの登録」の手順6からの操作をして、ボックス名称などの登録内容を変更する（☛ 110 ページ）

お知らせ

●掲示板ボックスに登録されているボックスを、親展ボックスに変更することはできません。ボックスの内容を変更するときは「通信ボックスの消去」（☛ 115 ページ）をしてから登録し直してください。

セレクト番号の選び方

親展ボックスに受信する相手をセレクトすることができます。

セレクト番号	照合のしかた
任意の短縮番号	指定した短縮番号に登録されている電話番号の下４桁と、相手から送られてくる ID 番号の下４桁を照合し、一致すると受信を始めます。
00 ＊	短縮番号「000 ～ 009」に登録されている（最大１０宛先）電話番号の下 4 桁と、相手から送られてくる ID 番号の下４桁を照合し、一致すると受信を始めます。
0 ＊＊	短縮番号「000 ～ 099」に登録されている（最大１００宛先）電話番号の下 4 桁と、相手から送られてくる ID 番号の下４桁を照合し、一致すると受信を始めます。
＊＊＊	短縮番号「000 ～ 999」に登録されている (UF-A78MK2/A80MK2/A80MMK2：最大２００宛先、A80SMK2/A80MSMK2：最大１０００宛先) 電話番号の下４桁と、相手から送られてくる ID 番号の下４桁を照合し、一致すると受信を始めます。
入力なし	相手をセレクトしないで受信します。

掲示板ボックスの登録

1 ファンクション ○ ⑦ ⑥ セット を押す

```
Fコード通信の登録
1．ボックスの登録
2．ボックスの消去
```

2 ①を押す

```
ボックスの登録
1．親展ボックスの登録
2．掲示板ボックスの登録
```

3 ②を押す

```
掲示板ボックスの登録
ボックスNo.を指定してください
_　　（2桁）
```

4 ボックス No.（2 桁：01 ～ 10）を指定する

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

・すでに親展ボックスとして登録されているボックス No. を選ぶことはできません。

例：「01」

```
掲示板ボックスの登録
ボックスNo.を指定してください
01　（2桁）
```

5 セット を押す

```
掲示板ボックスの登録
ボックス名称を登録してください
_
```

6 ボックス名称（最大 20 文字）を入れる

・文字の入力のしかた
（☛ 126 ページ）

```
掲示板ボックス_
　ー文字訂正：クリアー
　終了時：セット　（かな入力）
```

7 セット を押す

```
掲示板ボックスの登録
暗証番号を登録してください
_　　（4桁）
```

8 暗証番号（4 桁）を登録する

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「1234」

```
掲示板ボックスの登録
暗証番号を登録してください
1234　（4桁）
```

9 セット を押す

```
掲示板ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
_
```

10 サブアドレス（最大20桁）を登録する

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「123456789 01234567890」

```
掲示板ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
12345678901234567890
```

11 セット を押す

```
掲示板ボックスの登録
パスワードを登録してください
_
```

12 パスワード（最大 20 桁）を登録する

・パスワードが必要ない場合は、何も入力しないで手順 13 に進みます。

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「2222233333 4444455555」

```
掲示板ボックスの登録
パスワードを登録してください
22222333334444455555
```

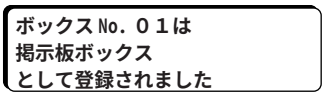
13 セット を押す

```
掲示板ボックスの登録
原稿消去を行いますか
1．はい　　2．いいえ
```

14 通信後のメモリー保存を選ぶ

・①：掲示板ボックスの内容を送信した後、原稿を消去します。
・②：送信した後、消去しません。

例：「通信後、原稿消去を行う」を選択する場合



15 続けて、掲示板ボックスの登録ができます。手順4からの操作をくり返します

16 ストップ を押す

お知らせ

- 掲示板ボックスに登録した暗証番号は忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れると、ボックスの登録内容を変更・消去することができなくなります。
- 暗証番号を忘れた場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 掲示板ボックスの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

掲示板ボックスの変更

1 「掲示板ボックスの登録」の手順３までの操作をする（☛ 113 ページ）

2 変更するボックス No. を指定し、セット を押します

・間違えたときは、セット を押す前にクリアー を押して、指定し直します。

3 指定したボックス No. に登録されている暗証番号を入力し、セット を押す

4 「掲示板ボックスの登録」の手順６からの操作をして、ボックス名称などの登録内容を変更する（☛ 113 ページ）

お知らせ

- 親展ボックスに登録されているボックスを、掲示板ボックスに変更することはできません。ボックスの内容を変更するときは「通信ボックスの消去」（☛ 115 ページ）をしてから登録し直してください。

通信ボックスの消去

1 ファンクション ○ ⑦ ⑥ セット を押す

```
Fコード通信の登録
1．ボックスの登録
2．ボックスの消去
```

2 ②を押す

```
通信ボックスの消去
ボックスNo.を指定してください
_　　（2桁）
```

3 ボックス No.（2 桁）を指定する

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「01」

```
通信ボックスの消去
ボックスNo.を指定してください
０１　（2桁）
```

4 セット を押す

```
通信ボックスの消去
暗証番号を指定してください
_　　（4桁）
```

5 暗証番号（4 桁）を指定する

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「1234」

```
通信ボックスの消去
暗証番号を指定してください
１２３４　（4桁）
```

6 セット を押す

```
通信ボックスの消去
ボックスNo.：０１を消去しますか
1．はい　　2．いいえ
```

7 ボックスの内容を消去するときは①を押す

・ボックスの内容を消去しないときは、②を押します。手順２から指定し直します。

```
通信ボックスの消去
ボックスNo.：０１を消去しました
```

8 続けて、通信ボックスの消去ができます。手順 3 からの操作をくり返します

9 ストップ を押す

お知らせ

- 指定した暗証番号を忘れた場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 通信ボックスの消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。

ユーザー管理の登録

ユーザー別管理をするときに登録します。
管理者用の暗証番号を登録すれば（☛ 119 ページ）、管理責任者が登録した４桁の暗証番号を入力しないと、ユーザーの登録／消去ができないようにできます。
また、ユーザーNo. を入力しないとファクスを使うことができなくなるため、部門毎の管理もしやすくなります。
● 通信中のときは、ユーザー管理の登録はできません。

ユーザー管理の登録

1 ファンクション ○ ⑦ ⑦ セット を押す

```
ユーザー管理の登録　（1－4）
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

2 ①を押す

```
ユーザー管理の登録　（1－4）
1．ユーザーの登録
セットで選択されます
```

3 セット 押す

・ユーザー管理者暗証番号を登録（☛ 119 ページ）していない場合は、次の画面は表示されずに手順６の画面に進みます。

```
ユーザーの登録
管理暗証番号を指定してください
_　　（4桁）
```

4 ユーザー管理者用暗証番号(4 桁)を指定する

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「1234」

```
ユーザーの登録
管理暗証番号を指定してください
1234　（4桁）
```

5 セット を押す

```
ユーザーの登録
ユーザー No. を指定してください
_　　（2桁）
```

6 ユーザーNo.(01 ～30) を指定する

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「01」

```
ユーザーの登録
ユーザー No. を指定してください
01　（2桁）
```

7 セット を押す

```
ユーザーの登録
パスワードを登録してください
_　　（4桁）
```

8 利用者制限のパスワード（4 桁）を登録する

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

・利用者制限をしない場合は、何も登録しないで手順９へ進みます。

例：「5678」

```
ユーザーの登録
パスワードを登録してください
5678　（4桁）
```

9 セット を押す

ユーザーの登録
ユーザー名称を登録してください
_

10 ユーザー名（最大 10 文字）を入力する

・文字の入力のしかた（☛ 126 ページ）

松下電送　総務部_
－文字訂正：クリアー
終了時：セット　（かな入力）

11 セット を押す

ユーザーの登録
ワンタッチに登録しますか
1．はい　　2．いいえ

12 ワンタッチボタンへの登録を指定する

・①：指定したユーザー No. をワンタッチボタンに登録し、手順 13 へ進みます。
・②：指定したユーザー No. をワンタッチボタンに登録しないで、手順 15 へ進みます。

13 ユーザーを登録するワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）を押す

・指定したワンタッチ、ファンクション登録ボタンに登録内容があるときは、ディスプレイの 3 段目に、その内容を表示します。
・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

ユーザーの登録
ボタン番号：５０
未登録

14 セット を押す

・続けて、ユーザーの登録ができます。手順 6 からの操作をくり返します。

ユーザーの登録
ユーザー No. を指定してください
_　（2桁）

15 ストップ を押す

お知らせ

- ユーザーの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- ユーザー No.、利用者制限用パスワード、ユーザー管理者暗証番号には、数字のみ登録できます。
- 手順 13 で選んだワンタッチ、ファンクション登録ボタンに、すでに登録済みの内容がある場合は、その内容が表示されます。

ユーザーの変更

1 「ユーザーの消去」（☛ 118 ページ）の操作をする

2 「ユーザー管理の登録」（☛ 116 ページ）の操作をして、ユーザーの変更をします。

ユーザーの消去

1 ファンクション ○ ⑦ ⑦ セット を押す

```
ユーザー管理の登録　（1－4）
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

2 ②を押す

```
ユーザー管理の登録　（1－4）
2．ユーザーの消去
セットで選択されます
```

3 セット を押す

・ユーザー管理者暗証番号を登録（☛ 119 ページ）していない場合は、次の画面は表示されずに手順 6 の画面に進みます。

```
ユーザーの消去
管理暗証番号を指定してください
_　　（4桁）
```

4 ユーザー管理者用暗証番号（4 桁）を指定する

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「1234」

```
ユーザーの消去
管理暗証番号を指定してください
1234　（4桁）
```

5 セット を押す

```
ユーザーの消去
ユーザー No. を指定してください
_　　（2桁）
```

6 消去するユーザー No.（01 ～ 30）を指定する

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「01」

```
ユーザーの消去
ユーザー No. を指定してください
01　（2桁）
```

7 セット を押す

・指定したユーザーNo. に利用者制限のパスワードが登録されている場合は、次の画面が表示されます。

・利用者制限のパスワードを登録していない場合は、手順 9 へ進みます。

```
ユーザーの消去
パスワードを指定してください
_　　（4桁）
```

8 利用者制限のパスワード（4 桁）を指定する

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「5678」

```
ユーザーの消去
パスワードを指定してください
5678　（4桁）
```

9 セット を押す

```
ユーザーの消去
ユーザーNo.：０１を消去しますか
１．はい　　２．いいえ
```

10 ① を押す
・指定したユーザー No. を消去します。

・消去しない場合は、② を押します。手順５の画面に戻ります。

```
ユーザーの消去
ユーザーNo.：０１を消去しました
```
→
```
ユーザーの消去
ユーザー No. を指定してください
＿　（２桁）
```

11 続けて、ユーザー No. の消去ができます。手順６からの操作をくり返します

12 ストップ を押す

お知らせ
- ユーザーの消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。

ユーザー管理者用暗証番号の登録

ユーザー管理者が使う暗証番号を登録することができます。
暗証番号を登録しておけば、暗証番号を知っている管理者だけが、ユーザーの登録／消去や、ユーザー設定リストをプリントすることができます。

1 ファンクション ⑦ ⑦ セット を押す

```
ユーザー管理の登録　（１－４）
番号入力またはV、Λ
を入力してください
```

2 ③ を押す

```
ユーザー管理の登録　（１－４）
３．ユーザー管理者暗証番号登録
セットで選択されます
```

3 セット を押す

```
ユーザー管理者暗証番号の登録
管理暗証番号を登録してください
＿　（４桁）
```

4 ユーザー管理者用暗証番号（４桁）を登録する
・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「1234」

```
ユーザー管理者暗証番号の登録
管理暗証番号を指定してください
１２３４　（４桁）
```

5 セット を押す

```
ユーザー管理の登録　（１－４）
３．ユーザー管理者暗証番号登録
セットで選択されます
```

6 ストップ を押す

お知らせ
- ユーザー管理者暗証番号の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- すでにユーザー管理者暗証番号が登録されている場合には、暗証番号を登録することができません。
- ユーザー管理者暗証番号を変更したいときは、すでに登録されている暗証番号を消去してから、登録し直してください。（☛ 120 ページ）

ユーザー管理者用暗証番号の消去

1 ファンクション ○ ⑦ ⑦ セット を押す

ユーザー管理の登録　（1－4）
番号入力または∨、∧
を入力してください

2 ④を押す

ユーザー管理の登録　（1－4）
4．ユーザー管理者暗証番号消去
セットで選択されます

3 セット を押す

ユーザー管理者暗証番号の消去
管理暗証番号を指定してください
（4桁）

4 ユーザー管理者暗証番号（4桁）を登録する

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「1234」

ユーザー管理者暗証番号の消去
管理暗証番号を指定してください
1234　（4桁）

5 セット を押す

ユーザー管理者暗証番号の消去
管理暗証番号を消去しますか
1．はい　　2．いいえ

6 ①を押す

・ユーザー管理者暗証番号を消去します。
・消去しない場合は、②を押します。
手順2の画面に戻ります。

ユーザー管理の登録　（1－4）
4．ユーザー管理者暗証番号消去
セットで選択されます

7 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● ユーザー管理者暗証番号の消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。

ユーザー別管理をしているときファクスを使う

1 ユーザーNo.(01～30) を入力し、セット を押す

・116 ページ手順6 で指定されている No. を入力します。
・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。
・パスワードが指定されていないときは手順3へ進みます。

2 パスワード（4桁）を入力し、セット を押す

・116 ページ手順 8 で指定されているパスワードを入力します。
・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

3 通信などの操作をする

・通信などの操作が終わると、ユーザー管理設定中の画面に戻ります。

お知らせ

● 117 ページ手順 12～14 でワンタッチボタンへユーザーの登録をしておけば、ユーザー No. が登録されているワンタッチボタンを押したあとにパスワードを入れるだけで通信等の操作をすることができます。

ユーザー別管理の設定

ユーザー別管理の機能をお使いになりたいとき“あり”にします。

1 ファンクション ⑦④ セット を押す

```
システムの登録　(001-116)
No.＝__　　(3桁)
```

2 ①⓪⑧ セット を押す

```
108 ユーザー別管理　　設定：1
1．なし　　2．あり
```

3 ② セット を押す
・ユーザー別管理の設定がセットされます。

4 ストップ を押す
・待機状態に戻ります。

お知らせ
- ユーザー別管理の設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- ユーザー別管理の設定を“なし”にしたいときは、手順3で① を押します。

ユーザー別レポートの設定

ユーザー別管理をしているとき、ユーザーNo. で区分けされた部署ごとにユーザー別管理レポートを一定の周期で自動出力させることができます。

1 ファンクション ⑦④ セット を押す

```
システムの登録　(001-116)
No.＝__　　(3桁)
```

2 ①⓪⑨ セット を押す

```
109 ユーザー別レポート設定：1
1．なし
2．曜日設定　3．日時設定
```

3 ②または③を押し セット を押す
・「曜日指定」または「日時指定」の周期がセットされます。
例：「日時指定」

```
109 時刻の指定
__ 日　時　分
```

4 日付と時刻を入れる
・例：「毎月１日１２時００分」の場合
⓪①①②⓪⓪を押す
・時刻は２４時間制で入れます。
・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

5 セット ストップ を押す
・待機状態に戻ります。

お知らせ
- ユーザー別レポートの設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- ユーザー別レポートの設定を“なし”にしたいときは、手順3で① を押します。

システムの登録

システム登録のしかた

1 ファンクション ○ ⑦ **を押す**

```
登録モード          (1－7)
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

2 ④ セット **を押す**

```
システムの登録      (001-116)

   No.=__      (3桁)
```

3 **設定する番号(3 桁)を入れ、セット を押す**

例：「００３」

```
003 ハーフトーン      設定：1
1．なし
2．きれい    3．はやい
```

・「システム登録一覧表」（☛ 123 ページ）を参照して、設定番号を選択します。
・設定番号を間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

4 **設定値を選ぶ**

・「システム登録一覧表」（☛ 123 ページ）を参照して、設定値を選択します。

```
003 ハーフトーン      設定：1
1．なし
2．きれい    3．はやい
```

5 セット **を押す**

・続けて、表示されている項目の設定ができます。手順４からの操作をくり返します。

```
004 済みスタンプ      設定：2

1．なし      2．あり
```

6 ストップ ▽ **を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● システム登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
● 手順４の画面を表示しているとき、∨ ∧ を押すと、ほかの設定項目が選べます。

システム登録一覧表

お買い上げ時は、下線の位置に設定されています。

設定番号	設定項目	設定値	説明
001	原稿濃淡	1：ふつう 2：こく 3：うすく	通常、使用する原稿の濃さに合わせます。
002	文字サイズ	1：ふつう 2：小さい 3：細密	通常、使用する原稿の文字の大きさに合わせます。
003	ハーフトーン	1：なし 2：きれい 3：はやい	通常、使用する原稿に合わせます。
004	済みスタンプ	1：なし 2：あり	ダイレクト送信時に済スタンプの設定状態を選びます。
005	送信メモリー優先	1：なし 2：あり	“なし”にすると、通常の操作でダイレクト送信となります。
006	ダイヤル切替	1：外線 2：内線 + 1：PB 2：10pps 3：20pps	お使いの電話回線に合わせて、ダイヤル種別を選びます。（☛ 143 ページ）
007	発信元印字	1：なし 2：原稿外 3：原稿内	相手用紙にプリントする発信元の位置を設定します。“なし”にすれば、発信元をプリントしません。
009	受信時刻印字	1：なし 2：あり	“あり”にすれば、受信した時刻を用紙にプリントします。
010	ブザー音量	1：小さい 2：ふつう 3：大きい	アラーム音やボタンを押したときの音量を調節します。
012	通信結果レポート	1：ダイレクト結果レポート 2：メモリー結果レポート + 1：なし 2：未通信 3：全通信	通信結果レポートをプリントするときの条件を設定します。
013	通信管理レポート	1：なし 2：あり	通信管理レポートのプリント方法を設定します。“なし”にしたときはパネル操作でレポートをプリントします。
014	通信受付レポート	1：なし 2：あり	メモリー送信を受け付けたとき、受付枚数や宛先などをレポートにしてプリントします。
021	着信呼出回数	0:0回 ～ 9:9回	ファクスが着信するまでに鳴る呼出音の回数を設定します。
026	ポーリング用暗証番号の登録	4桁のパスワード	ポーリング通信をするときに使う 4 桁のパスワードです。
027	ポーリング送信保存	1：なし 2：あり	“あり”にすると、ポーリング送信したあと、原稿をメモリーから消去しません。
028	メモリー済スタンプ	1：なし 2：あり	“なし”にすると、メモリー送信のときに、原稿をメモリーに蓄積した時点で済スタンプを押しません。
031	未送信ファイル保存	1：なし 2：あり	未通信になったファイルをメモリーに保存し、再通信を指定することができます。
034	省エネモード	1：なし 2：節電 3：省エネ	省エネ運転（パネル以外電源断）または節電運転を設定します。タイマーを使って運転時間の指定もできます。（省エネ設定中はディスプレイに「省電力中です」と表示します）

設定番号	設定項目	設定値	説明
043	パスワード送信	4 桁のパスワード + 1：なし 2：あり	送信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し、“あり”または“なし”を選びます。（☛ 63 ページ）
044	パスワード受信	4 桁のパスワード + 1：なし 2：あり	受信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し、“あり”または“なし”を選びます。（☛ 65 ページ）
045	セレクト送信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、ダイヤル番号が登録されている相手にしかファクスを送信しません。
046	セレクト受信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、ダイヤル番号が登録されている相手のファクスしか受信しません。
047	リモート受信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、接続した外部電話機から、ファクスをリモート受信できます。
051	遠隔診断	1：なし 2：あり	遠隔操作などにより各種の診断を行う機能です。
054	メモリー転送	1：なし 2：あり	“あり”にすると、受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送できます。メモリー転送する宛先、メモリー転送を有効とする着信回線、転送時間帯、受信した原稿の本機でのプリント指定をセットできます。
059	プリンタ I/F	1：なし 2：あり	オプションの「PC プリンターユニット」をお使いのとき“あり”に設定します。（オプションの「PC プリンターユニット」をお使いのときに設定できます）
065	正順プリント	1：なし 2：あり	複数ページの受信やソートコピーをしたときの、プリントする順番を選びます。“なし”にすると、1 枚目のページよりプリントを開始します（この場合、ページ順は逆になります）。（☛ 38 ページ）
066	代行出力	1：なし 2：あり	“あり”にしていると、受信中に適正サイズの用紙が無くなると、ほかのカセットにセットされている用紙を使ってプリントします。（☛ 37 ページ）
067	受信 2 in 1 機能	1：なし 2：あり	A5 または B5 サイズの原稿を 2 枚受信したとき、A4 またはB4サイズの用紙1枚にまとめてプリントします。
071	親切受信	1：なし 2：あり	相手が自動送信のファクス（ポー・・ポー・・音）の場合、受話器をおろすと自動的に受信に切り替わります。
075	OP ハンドセット	1：なし 2：あり	オプションハンドセットをお使いのときに設定します。
078	回転送信	1：なし 2：あり	A4 原稿を（←）の方向にセットし、送信すると 90˚ 回転して（←）送ります。
082	クイックメモリー送信	1：なし 2：あり	クイックメモリー送信の設定
083	回転ソート	1：なし 2：あり	A4 原稿の複数ページの受信やソートコピーで、A4 用紙へプリントするときは、1 部プリントする毎に A4 縦、A4 横と交互にプリントします。（この場合は、用紙の設定で A4 縦、横の両用紙をカセットに設定する必要があります）
088	通信モード／回線	1：外線 2：内線	使用回線の初期値を設定します。
099	メモリー容量	−	オプションの「メモリーカード」の取り付け状態を確認します。（メモリーカードは、取り付け時に自動認識しますので設定はありません。）
101	マルチプリント部数	1：なし 2：全受信 3：短縮 / ワンタッチ	マルチプリント部数を指定する設定をします。
102	液晶表示濃度	1：淡い～6：濃い	ディスプレイの表示濃度を設定します。

設定番号	設定項目	設定値	説明
103	発呼宛先表示	1：宛先名 2：ダイヤル	宛先指定したとき、ディスプレイに表示する宛先種類の設定をします。
104	短縮ダイヤル情報	1：なし 2：あり	短縮ダイヤルとワンタッチダイヤルの付加情報を設定します。
105	メモリーフル時動作	1：中止 2：実行	メモリーフル時の動作を設定します。
106	原稿詰まり時動作	1：中止 2：実行	原稿詰まり時の動作を設定します。
107	代行宛先通信	1：なし 2：あり	短縮ダイヤルとワンタッチダイヤル発呼にて相手が話し中のとき、代行宛先に送信するかの設定をします。
108	ユーザー別管理	1：なし 2：あり	ユーザー別管理をするかの設定をします。
109	ユーザー別レポート	1：なし 2：曜日指定 3：日時指定	（日／週）ユーザー別管理レポートの出力条件を設定します。
110	G4F 網発信元印字	1：なし 2：原稿外 3：原稿内	G4F 網通信時の発信元印字位置を設定します。
111	G4 リモート発信元印字	1：なし 2：あり	G4 時、受信側が発信元印字をするかの設定します。
112	G4 送信側発信元印字	1：なし 2：原稿外 3：原稿内	G4 時、送信側が発信元印字位置を設定します。
113	国際 ISDN	1：なし 2：あり	海外と ISDN を使用して通信を行うかを設定します。
115	発信元番号通知	1：なし 2：あり	INS64 通信時、相手ディスプレイに電話番号を表示させるかの設定をします。
116	受信時呼び出し	1：なし 2：あり	外線が自動受信の時、電話がかかってきたら呼出音を鳴らすことができます。

※ 110 ～ 115 は UF-A80MK2 タイプに、オプションの G4 通信ユニットをお使いのときに設定します（☛ 170 ページ）。

お知らせ

● システム登録の「省エネモード」設定で“省エネ”を選択したとき、本機が次の状態にある場合は省エネ運転されません。
- タイマー通信が予約されているとき
- メモリー受信またはポーリング送信がセットされているとき
- オプションの G3 ／ G4 通信ユニット（UF-A80MK2 タイプのみ）、または PC プリンタユニットをお使いのとき
- F コード掲示板、ファイル蓄積、未達宛先再通信、等がセットされているとき
- 原稿がセットされたままのとき
- オプションのハンドセットや外部電話機の受話器が上がっているとき

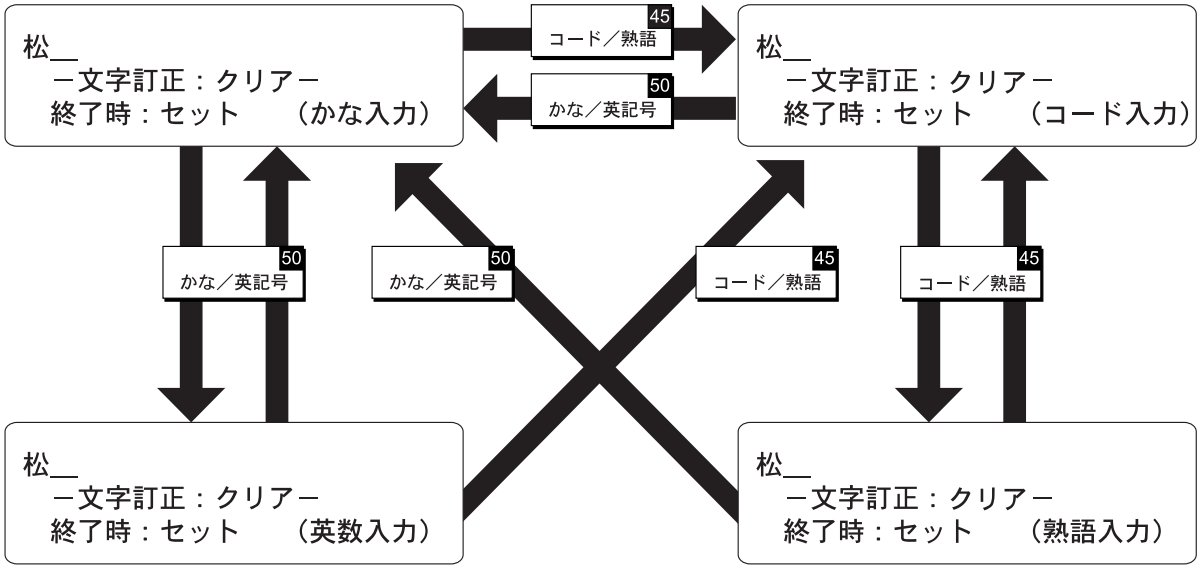
文字入力のしかた

短縮ダイヤルの宛先名や、自局情報の登録などをするときに文字を入力します。

- 文字入力をするときは、宛先シートを取り外して、宛先シートの下にある文字シートを使って入力してください。
- 文字は［コード／熟語 45］と［かな／英記号 50］を使って入力モードを切り替えながら入力します。
- 本機では、ひらがな・カタカナ・漢字・英数字・記号が入力できます。

入力モードの切り替えかた

［コード／熟語 45］と［かな／英記号 50］を使って入力モードを切り替えます。



お知らせ

- 待機状態では、「かな入力モード」に設定されています。
- 数字を入力するときは、「かな入力モード」または「英数入力モード」にしてからテンキーを使って入力します。

文字入力のしかた

ひらがな・カタカナ・漢字を入力します。
文字入力の画面を表示させる

```
短縮ダイヤルの登録　短縮:001
宛先名を登録してください
_
```

1 文字シートに従って、文字を入力する

・例：「松」を入力する場合

文字シートの［ま 21 く］［つ 08 R］を押す。

「まつ」で変換できる文字群が表示される。

・間違えたときは、［クリアー］を押して、入力し直す。

```
_
1まつ　2マツ
3抹 4末 5沫 6松 7待
```

2 ⑥を押す

・変換する文字の番号を選ぶ。

ひらがなを入力するときは、①を押す。

カタカナを入力するときは、②を押す。

```
松_
 ー文字訂正：クリアー
終了時：セット　（かな入力）
```

お知らせ

- ディスプレイ 3 段目には、漢字が表示されます。
- 1 画面で表示できる漢字は、最大 5 個までです。変換する文字が 6 個以上ある場合はディスプレイ右下に「V次頁」が表示されます。
- ディスプレイに表示されていない漢字に変換したいときは、Ⓥを押して変換する文字を表示させてから、番号を選んでください。
- 濁点、半濁点を入力したいときは、［゜（半濁音） 29 ?］［゛（濁 音） 30 $］を押します。

英記号の入力のしかた

文字入力の画面を表示させる

```
短縮ダイヤルの登録　短縮:001
宛先名を登録してください
_
```

1 かな／英記号 50 を押す

・「英数入力モード」に切り替わる。

```
_
ー文字訂正：クリアー
終了時：セット　（英数入力）
```

2 文字シートに従って、英記号を入力する

・例：「A」を入力する場合 あ F1 A を押す

・間違えたときは、クリアー を押して、入力し直す。

```
A_
ー文字訂正：クリアー
終了時：セット　（英数入力）
```

コード入力のしかた

区点コード表を参照して、区点コードに対応する文字を入力します。

・「区点コード表」（☛ 173 ページ）

文字入力の画面を表示させる

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
宛先名を登録してください
_
```

1 コード／熟語 45 を押す

```
_
ー文字訂正：クリアー
終了時：セット（コード入力）
```

2 区点コード（4 桁）を入力する

・例：「全」を入力する場合 ③ ③ ② ⓪ を押す

```
コード番号 =3320
（コード入力）
```

・間違えたときは、クリアー を押して、入力し直す。

```
全_
ー文字訂正：クリアー
終了時：セット（コード入力）
```

熟語入力のしかた

熟語一覧表を参照して、ファンクション登録ボタン（あ F1 A ～ こ F10 J）、ワンタッチ（01 ～ 50）に対応する熟語を入力します。

・「熟語一覧表」（☛ 177 ページ）

文字入力の画面を表示させる

```
短縮ダイヤルの登録      短縮:001
宛先名を登録してください
_
```

1 コード／熟語 45 を２回押す

```
_
－文字訂正：クリアー
終了時：セット　（熟語入力）
```

2 入力する文字に対応するボタンを押す

・例：「東海」を入力する場合

あ F1 A を押す

```
_
1 東北　2 関東
3 東海　4 北陸　（熟語入力）
```

3 入力する文字を選ぶ

・例：「東海」を指定する場合 ③ を押す

・間違えたときは、クリアー を押して、入力し直します。

```
東海_
－文字訂正：クリアー
終了時：セット　（熟語入力）
```

お知らせ

● ワンタッチの 20、30、45 と 47 ～ 50 には、対応する熟語がありません。

文字の変更／消去

＜例＞「松下電器産業株式会社」を「松下電送システム株式会社」に変更する

```
短縮ダイヤルの登録      短縮:001
宛先名を登録してください
松下電器産業株式会社
```

1 ＜または＞を押す

```
松下電器産業株式会社 _
  −文字訂正：クリアー
  終了時：セット　（かな入力）
```

2 クリアーを押して、変更する文字を消去する

・カーソルの左側にある文字を 1 文字ずつ消去する。
・入力されている文字をすべて消去したいときは、カーソルを左端に移動させてから、クリアーを押す。

```
松下電器産株式会社
  −文字訂正：クリアー
  終了時：セット　（かな入力）
```
クリアー
```
松下電器株式会社
  −文字訂正：クリアー
  終了時：セット　（かな入力）
```
クリアー
```
松下電株式会社
  −文字訂正：クリアー
  終了時：セット　（かな入力）
```

3 そ 05 O　う F3 C を押す

・文字シートを使って、変更する文字を入力する。

```
松下電株式会社
1 そう          2 ソウ
3 僧 4 創 5 双 6 叢 7 倉（∨次頁）
```

4 ∨を８回押し、変換する文字を表示させる

・文字シートを使って、変更する文字を入力する。

```
松下電株式会社
1 そう          2 ソウ
3 走 4 送 5 遭 6 鎗 7 霜（∨次頁）
```

5 入力する文字の番号を押す

・例の場合、「送」に対応する④を押す。
・変換した文字がカーソルの前に挿入される。

```
松下電送株式会社
  −文字訂正：クリアー
  終了時：セット　（かな入力）
```

6 同様に「システム」を入力する

```
松下電送システム株式会社
  −文字訂正：クリアー
  終了時：セット　（かな入力）
```

自局情報の登録

自局情報では、次の項目が登録できます。

	登録項目	内容	参照ページ
1	時刻の指定	現在の日付けと時刻を登録します。	132 ページ
2	発信元情報	原稿を送信するとき、原稿の先端につける、会社名や部署名などの情報を登録します。	133 ページ
3	文字 ID（カナ）	相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。	134 ページ
4	外線数字 ID	外線を使って通信したとき、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	135 ページ
5	内線数字 ID	内線を使って通信したとき、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	136 ページ
6	定時刻タイマー	タイマー通信を指定するときの時刻を登録します。	137 ページ
7	定期便タイマー	定期便タイマー通信を指定するときの指定時刻（1 ～ 5）を登録します。	138 ページ
8	F コードサブアドレス	サブア ドレス通信をするときに使うサブア ドレス番号を登録します。	139 ページ
9	F コードパスワード	サブアドレス通信をするときに使うパスワードを登録します。	140 ページ
10	外線 2,G3 数字 ID	CH2 にオプションの G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	—
11	ISDN2 基本番号	CH2 にオプションの G4 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	—
12	ISDN2 ダイヤルイン	CH2 にオプションの G4 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させるダイヤルイン番号などの情報を登録します。	—
13	ISDN2 数字 ID	CH2 にオプションの G4 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	—
14	ISDN2, 文字 ID（英字）	CH2 にオプションの G4 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。	—
15	外線 3,G3 数字 ID	CH3 にオプションの G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	—
16	ISDN3 基本番号	CH3 にオプションの G4 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	—
17	ISDN3 ダイヤルイン	CH3 にオプションの G4 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させるダイヤルイン番号などの情報を登録します。	—
18	ISDN3 数字 ID	CH3 にオプションの G4 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	—
19	ISDN3, 文字 ID（英字）	CH3 にオプションの G4 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。	—
20	外線 4,G3 数字 ID	CH4 にオプションの G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	—
21	ISDN4 基本番号	CH4 にオプションの G4 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	—
22	ISDN4 ダイヤルイン	CH4 にオプションの G4 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させるダイヤルイン番号などの情報を登録します。	—
23	ISDN4 数字 ID	CH4 にオプションの G4 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	—
24	ISDN4, 文字 ID（英字）	CH4 にオプションの G4 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。	—

※ 10 ～ 24 は UF-A80MK2 タイプに、オプションの G3 ／ G4 通信ユニットをお使いのときに設定します（☛ 170 ページ）。

日付と時刻の登録

現在の日付と時刻を登録します。

1 ファンクション ○ ⑦ ① セット を押す

2 必要に応じて ∨ または ∧ を押して、「時刻の指定」を表示させる

時刻の指定
００年０９月０１日１２時００分

3 日付と時刻を入れる

・例:「2001年03月10日　午後5時15分」の場合
⓪ ① ⓪ ③ ① ⓪ ① ⑦ ① ⑤ を押す。
・時刻は24時間制で入れます。
・日付、時刻が1桁の場合は、数字の前に ⓪ を入れます。
・間違えたときは、< > でカーソルを移動させてから入れ直します。

4 セット を押す

・日付と時刻が登録されます。続けて、「発信元情報の登録」ができます。
（☛133ページ）

5 ストップ を押す

・登録した日時が表示され待機状態に戻ります。

お知らせ

- 時計は、1ヵ月に1分程度ずれることがあります。
- 長時間、電源が切れていると、日時がずれることがあります。最初からセットし直してください。
- 日付と時刻の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

発信元情報の登録

原稿を送信するとき、原稿の先端に会社名や部署名を付けることができます。

1 ファンクション ○ ⑦ ① セット を押す

2 ∨ または ∧ を押して、「発信元情報の登録」を表示させる

```
発信元情報の登録
名称を登録してください
_
```

3 発信元（最大 20 文字）を入れる
・「文字入力のしかた」（☛ 126 ページ）

```
松下電送システム _
  －文字訂正：クリアー－
終了時：セット　（かな入力）
```

4 セット ストップ を押す
・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 発信元名称の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

発信元情報の変更

1 「発信元情報の登録」の手順 2 までの操作をする（☛ 133 ページ）
・現在、登録されている発信元情報が表示されます。

2 変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す
・ < または > を押してカーソルを移動させます。

3 変更する文字を入力する（☛ 127 ページ）

4 セット ストップ を押す
・待機状態に戻ります。

文字 ID（カナ）の登録

相手のディスプレイにこちらの会社名などを表示させることができます。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 ⓥ または ⓐ を押して、「文字 ID（カナ）の登録」を表示させる

```
文字 ＩＤ（カナ）の登録
_
```

3 文字 ID（最大 16 文字）を入れる

・文字 ID には、最大 16 文字のカタカナ、英数字のみが入力できます。

・「文字入力のしかた」（☛ 126 ページ）

```
ﾏﾂｼﾀﾃﾞ ﾝｿｳｼｽﾃﾑ
 －文字訂正：クリアー－
終了時：セット　（かな入力）
```

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 文字 ID（カナ）の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

文字 ID（カナ）の変更

1 「文字 ID（カナ）の登録」の手順 2 までの操作をする（☛ 134 ページ）

・現在、登録されている文字 ID（カナ）が表示されます。

2 変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・ ⓒ または ⓓ を押してカーソルを移動させます。

3 変更する文字を入力する（☛ 126 ページ）

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

外線数字 ID の登録

外線を使って通信をしたとき、相手のディスプレイにこちらの電話番号などを表示させることができます。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 ⓥ または ⓐ を押して、「外線数字 ID の登録」を表示させる

```
外線数字 ＩＤ の登録
_
```

3 外線の電話番号（最大 20 桁）を入れる

・最大 20 桁の電話番号を入力できます。

・間違えたときは、クリアー を押して、入力し直します。

```
外線数字 ＩＤ の登録
0334919191_
```

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- 外線数字 ID の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 外線数字 ID には、数字、＋、スペースが登録できます。「＋」を登録するときは、⊛ を押します。「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

外線数字 ID の変更

1 「外線数字IDの登録」の手順2までの操作をする（☛ 135 ページ）

・現在、登録されている外線数字 ID が表示されます。

2 変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・ ⓒ または ⓓ を押してカーソルを移動させます。

3 変更する数字を入力し、セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

内線数字 ID の登録

内線を使って通信をしたとき、相手のディスプレイにこちらの電話番号などを表示させることができます。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 ∨ または ∧ を押して、「内線数字 ID の登録」を表示させる

```
内線数字 ＩＤ の登録
_
```

3 内線の電話番号（最大 20 桁）を入れる

・最大 20 桁の電話番号を入力できます。

・間違えたときは、クリアー を押して、入力し直します。

```
内線数字 ＩＤ の登録
1234567_
```

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- 内線数字 ID の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 内線数字 ID には、数字、＋、スペースが登録できます。「＋」を登録するときは、＊ を押します。「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

内線数字 ID の変更

1 「内線数字IDの登録」の手順2までの操作をする（☛ 136 ページ）

・現在、登録されている内線数字 ID が表示されます。

2 変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・＜ または ＞ を押してカーソルを移動させます。

3 変更する数字を入力し、セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

定時刻タイマーの登録

タイマー通信を指定するときの時刻を登録します。

1 ファンクション ○ ⑦ ① セット を押す

2 ∨ または ∧ を押して、「定時刻タイマーの登録」を表示させる

```
定時刻タイマーの登録
時刻を指定してください
__ : 
```

3 タイマー通信の指定時刻を入れる

・例：「午前 10 時」を指定する場合
① ⓪ ⓪ ⓪ を押す

・時刻は 24 時間制で入力します。

・間違えたときは、クリアー を押して、入力し直します。

```
定時刻タイマーの登録
時刻を指定してください
10：00
```

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 定時刻タイマーの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

定時刻タイマーの変更

1 「定時刻タイマーの登録」の手順 2 までの操作をする（☛ 137 ページ）

・現在、登録されている定時刻が表示されます。

2 変更する定時刻を入力する

3 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

定期便タイマーの登録

定期便タイマー通信を指定するときの指定時刻（1 ～ 5）を登録します。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 ▽または △ を押して、「定期便タイマーの登録」を表示させる

```
定期便タイマーの登録
登録番号を指定してください
__ （1～5）
```

3 登録番号（1 ～ 5）を指定する

・間違えたときは、クリアー を押して、入力し直します。

```
定期便タイマーの登録
登録番号を指定してください
1 （1～5）
```

4 セット を押す

```
定期便タイマーの登録
時刻を指定してください
__ ：
```

5 定期便タイマー通信の時刻を入力する

・例：「午前 10 時」を指定する場合 ① ⓪ ⓪ ⓪ を押します

・時刻は 24 時間制で入力します。

・間違えたときは、クリアー を押して、入力し直します。

```
定期便タイマーの登録
時刻を指定してください
10：00
```

6 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 定期便タイマーの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

定期便タイマーの変更

1 「定期便タイマーの登録」の手順 2 までの操作をする（☛ 138 ページ）

2 変更する登録番号（1 ～ 5）を指定し、セット を押す

・現在、登録されている時刻が表示されます。

3 変更する時刻を入力する

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

F コードサブアドレスの登録（サブアドレス通信）

F コード通信をするときに使う最大 20 桁の F コードサブアドレスを登録します。

1 ファンクション ○ ⑦ ① セット を押す

2 ∨ または ∧ を押して、「F コードサブアドレスの登録」を表示させる

F コードサブアドレスの登録
_

3 F コードサブアドレス（最大 20 桁）を入れる

・間違えたときは、クリアー を押して、入力し直します。

例：「12345678901234567890」

F コードサブアドレスの登録
12345678901234567890

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- F コードサブアドレスの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- F コードサブアドレスには、数字、＊、＃、スペースが登録できます。「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

F コードサブアドレスの変更

1 「F コードサブアドレスの登録」の手順 2 までの操作をする（☛ 139 ページ）

・現在、登録されている F コードサブアドレスが表示されます。

2 変更する数字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・＜ または ＞ を押してカーソルを移動さます。

3 変更する F コードサブアドレスを入力し、セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

Fコードパスワードの登録（サブアドレス通信）

Fコード通信をするときに使う最大 20 桁のFコードパスワードを登録します。

1 ファンクション ○ ⑦ ① セット を押す

2 ∨ または ∧ を押して、「F コードパスワードの登録」を表示させる

```
Fコードパスワードの登録
_
```

3 Fコードパスワード（最大 20 桁）を入れる

・間違えたときは、クリアー を押して、入力し直します。

例：「12345678901234567890」

```
F コードパスワードの登録
12345678901234567890
```

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- Fコードパスワードの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- Fコードパスワードには、数字、＊、＃、スペースが登録できます。「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

Fコードパスワードの変更

1 「F コードパスワードの登録」の手順 2 までの操作をする（☛ 140 ページ）

・現在、登録されているFコードパスワードが表示されます。

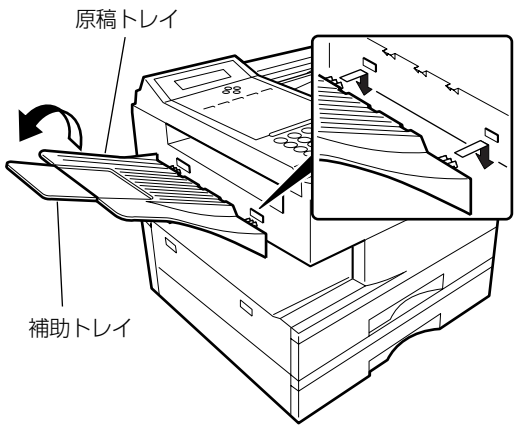
2 変更する数字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・＜ または ＞ を押してカーソルを移動させます。

3 変更するFコードパスワードを入力し、セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

取り付けかた

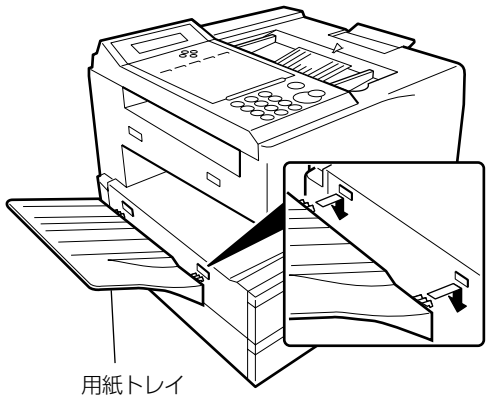


原稿トレイの取り付け

1 原稿トレイのツメ（2ヵ所）を本体の穴に差し込み、トレイの根元を両手で持ち、垂直に押し下げる

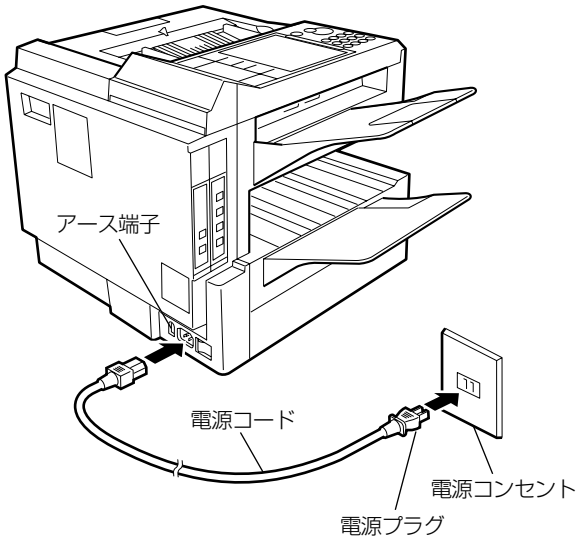
お知らせ

● B4 サイズ以上の原稿を送信するときは、補助トレイを開いてお使いください。



用紙トレイの取り付け

1 用紙トレイのツメ（2ヵ所）を本体の穴に差し込み、トレイの根元を両手で持ち、垂直に押し下げる



電源コードの接続

1 電源コードを本体に取り付け、電源プラグを電源コンセントに差し込む

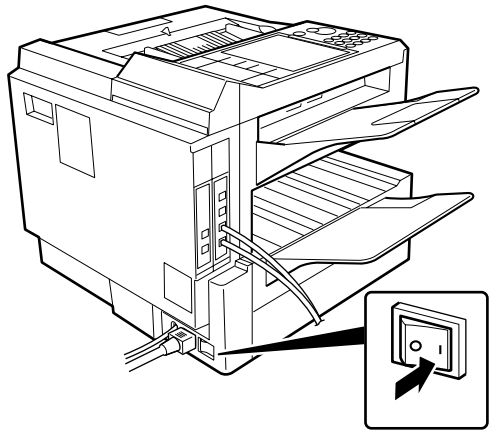
・電源プラグを、確実に差し込みます。

お知らせ

● 湿気の多い場所では、アース線を取り付けてください。（☛ 17 ページ）

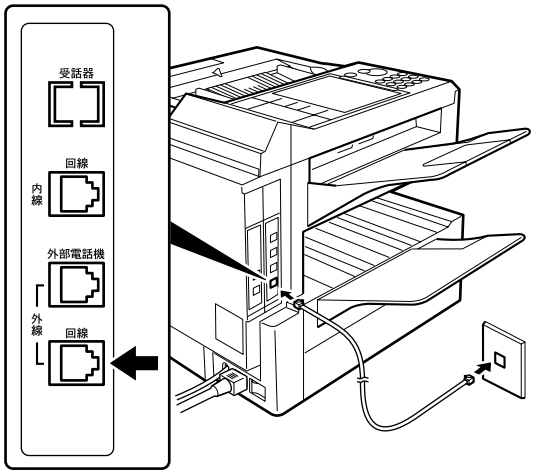
お知らせ

● 本機をご使用にあたって、NTT のレンタル電話機が不要になった場合は、NTT（局番なしの 116 番）にご連絡いただければ、「機器使用料金」は不要となります。



電源を入れる

1 電源スイッチの“I”（入）側を押す



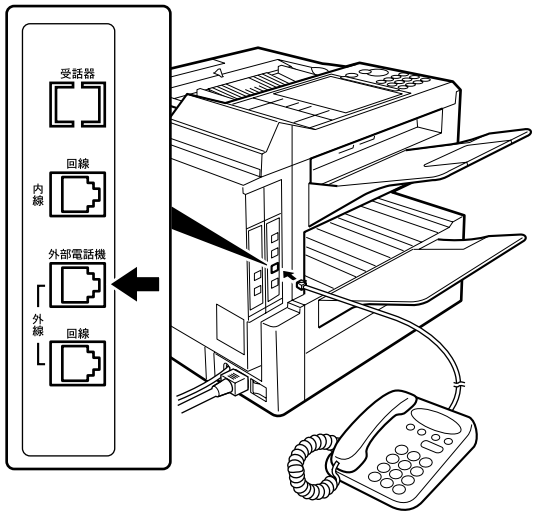
電話回線の接続

1 回線コードのモジュラープラグを回線用モジュラージャックに差し込む

・「カチッ」と音がするまで差し込みます。

お知らせ

- 社内交換機などの内線を接続するときは、回線コードのモジュラープラグを、内線の回線用モジュラージャックに差し込んでください。
- 電話回線がモジュラージャック以外の場合は、工事が必要です。お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- NTT のピンク電話の回線や、キャッチホンサービスをご利用になることはできません。



外部電話機の接続

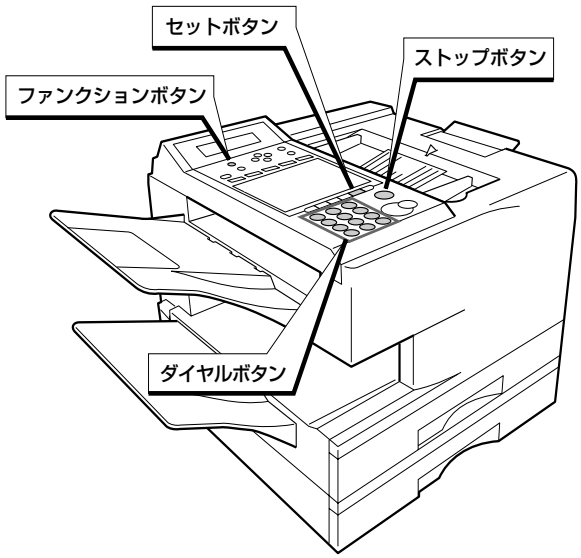
1 回線コードのモジュラープラグを外部電話機用モジュラージャックに差し込む

・「カチッ」と音がするまで差し込みます。

お知らせ

- 外部電話機の回線がモジュラージャック以外の場合は、工事が必要です。お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 外部電話機を使っているときは、ディスプレイに“受話器が上がっています”が表示されます。

このファクシミリを設置する場所が NTT 電話局から遠距離の場合、宛先によっては通信できないことがあります。このときは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。



電話回線の設定

電話回線には、プッシュホン式とダイヤル式があります。お使いの電話回線に合わせて、電話回線の種類を設定してください。

1 ファンクション ⑦④ セット ⓪⓪⑥ セット を押す

```
006 ダイヤル切替

1．外線      2．内線
```

2 ①または②を押し、回線を指定する

例：「①を指定したとき」

```
006 ダイヤル切替外線    設定：1
1．PB   2．10pps
3．20pps
```

3 ①～③を押す

・お使いの電話回線に合わせて選ぶ。

①：プッシュホン式回線（PB）をお使いの場合

②：回転ダイヤル式回線（10PPS）をお使いの場合

③：回転ダイヤル式回線（20PPS）をお使いの場合

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります

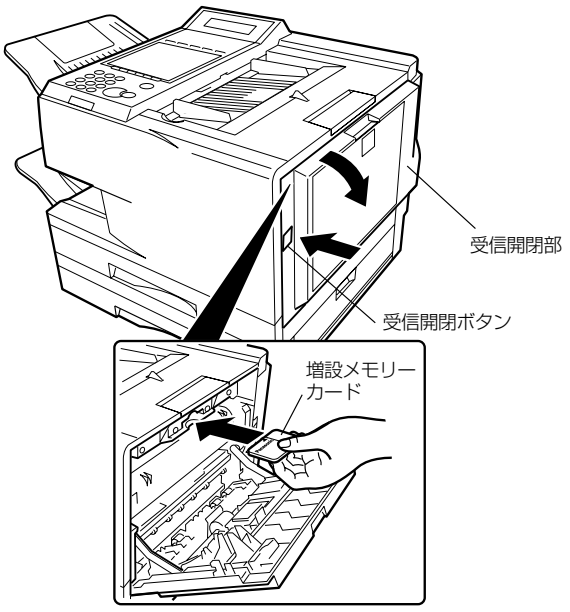
お知らせ

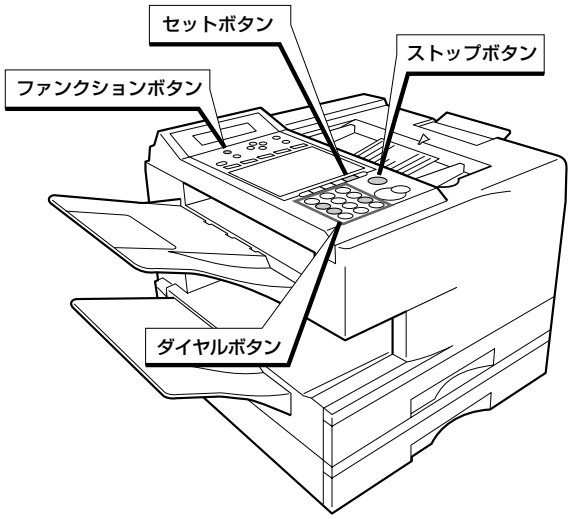
- 電話回線の設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 設定を間違えると、電話がかからなかったり、違う相手にかかることがあります。
- 電話回線の種類が分からない場合は、ご契約の NTT 窓口にお問い合わせください。

増設メモリーカード（オプション）の取り付け

本機に内蔵されているメモリーのほかにオプションの増設メモリーカードを取り付けて、大量のファクスをメモリー受信または、代行受信することができます。(UF-A78MK2/A80MK2/A80SMK2 のみ増設可能です)

- メモリーに原稿が蓄積されているときに、増設メモリーカードを取り付けると、メモリーに入っていた内容は消去されます。
- 増設メモリーカードを取り付ける前、通信予約レポートをプリント（☛74 ページ）して、メモリーに何も蓄積されていないことを確認してください。
- ディスプレイに“メモリー受信されています”が表示されているときは、メモリーの内容をプリント（☛37 ページ）して、メモリーに何も蓄積されていない状態にしてください。





1 電源スイッチを“◯”（切）にする

2 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

3 増設メモリーカードを奥までしっかりと差し込む

・「Panasonic」の面を上に向けて、止まるまで確実に差し込んでください。

4 受信開閉部を閉め、電源を入れる

```
 3月10日（土）17:15      00%
通信とコピーができます
```

5 ファンクション ◯ ⑦ ④ セット ⓪ ⑨ ⑨ セット を押す

・ディスプレイにメモリー容量が表示されます。標準で実装されているメモリーの容量と増設メモリーカードの総容量が表示されます。(例は増設メモリーカード 8 MBをUF-A80MK2に装着した場合)
・取り付けたメモリーの容量が正しく表示されない場合は、電源を切ってから増設メモリーカードが正しく取り付けられているかを確認してください。

(例)

```
099 メモリー容量

10MB
```

6 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

メモリー容量と保存できる枚数について

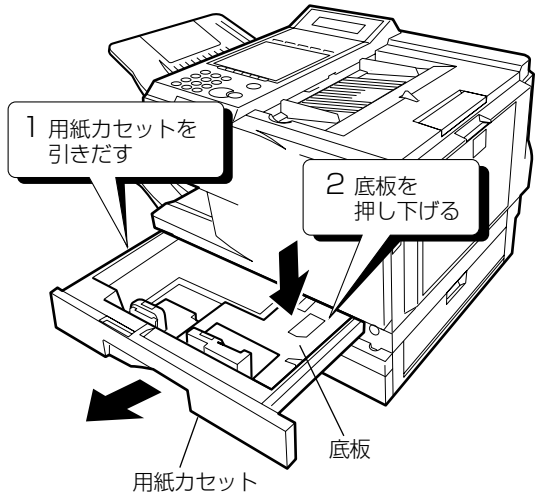
オプションの増設メモリーカードを取り付けると、メモリーに保存できる枚数は次のようになります。

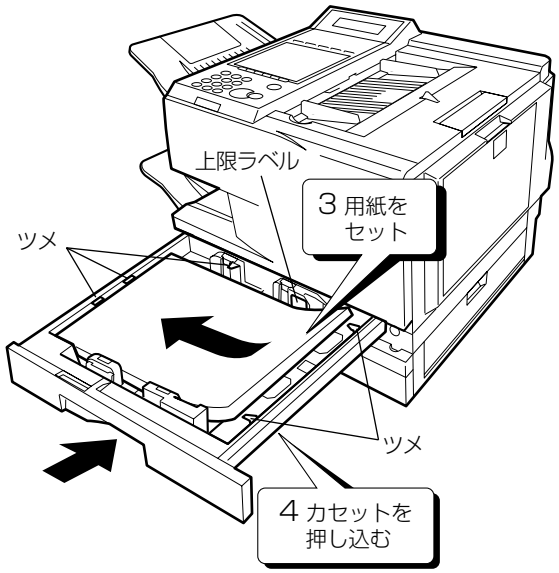
取り付けた増設メモリーカード	通信用メモリー容量	保存できる枚数	お使いの機種
なし（お買い上げ時）	1MB	約 60 枚	UF-A78MK2
	2MB	約 120 枚	UF-A80MK2 UF-A80SMK2
	24MB	約 1440 枚	UF-A80MMK2 UF-A80MSMK2
8MB	9MB	約 540 枚	UF-A78MK2
	10MB	約 600 枚	UF-A80MK2 UF-A80SMK2

お知らせ

- 保存できる枚数は、A4 標準原稿（A4 サイズ 700 字程度の原稿）を、文字サイズ「ふつう」で読み取ったときの枚数です。原稿によって、枚数は異なります。
- タイマー送信などの通信予約でメモリーを使用している場合は、メモリーに保存できる枚数は少なくなります。

消耗品の交換のしかた





用紙の補充

用紙がなくなると、ディスプレイに“カセット■に用紙を補給してください”が表示され、用紙ランプが点灯します（「■」は何段目のカセットかを示しています）。

- 用紙を補充するときは、電源スイッチを“I”（入）のままにしてください。
- 用紙をセットするときには、サイズ検知レバー（☛ 148 ページ）のサイズ表示が用紙サイズと合っていることを確認してください。合っていないと紙づまりとなります。

1 用紙カセットを止まるまで静かに引き出す

2 底板を「カチッ」と音がするまで押し下げる

3 用紙の四隅をきちんとそろえ、ツメの下にセットする

4 用紙カセットを奥に突き当たるまで確実に押し込む

- 用紙カセットは静かにセットしてください。

お知らせ

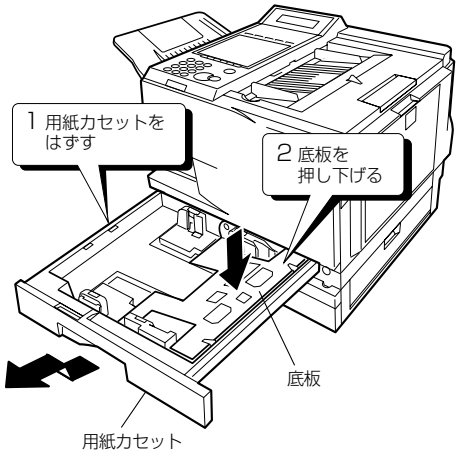
- 一度にセットできる枚数は、最大 250 枚です。
- オプションの「増設給紙ユニット 500」に一度にセットできる枚数は、最大 500 枚です。
- 用紙は、用紙上限ラベルの矢印を越えてセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 折り目、シワのある用紙や、一度使用した用紙はセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙を追加するときは、残っている用紙を上に重ねてセットしてください。
- プリント中は、用紙カセットを引き出さないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙カセットにサイズの違う用紙を混在させてセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 新しい用紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少なく直接日光の当たらないところで保管してください。
- 用紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の用紙を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。

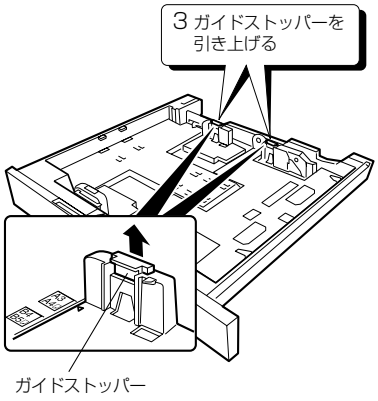
用紙カセットのサイズ変更

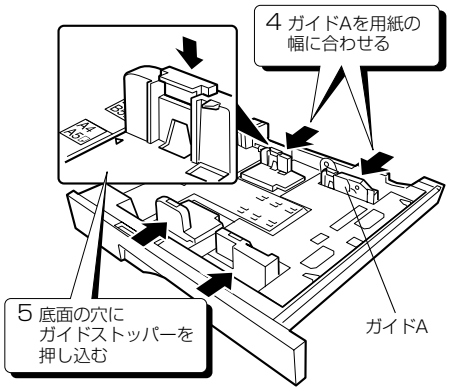
本機の用紙カセットは、A3、B4、A4、A4□、B5□、A5□の各サイズに共用できます。お使いになる用紙のサイズに合わせて、サイズを変更してください。

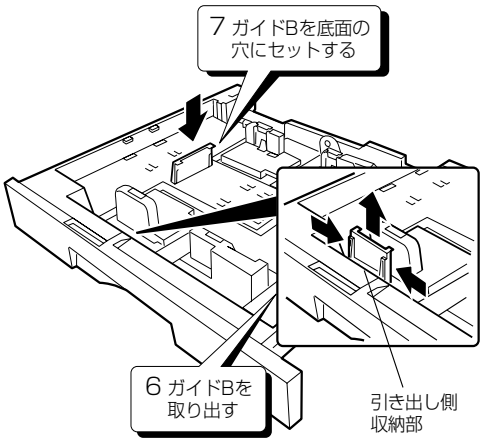
- 用紙カセットのサイズを変更するときは、電源スイッチを“I”（入）のままにしてください。
- 用紙サイズを変更するときは、必ず用紙カセットのサイズ検知レバー（☛148 ページ）も合わせて、変更してください。合っていないと紙づまりとなります。

例：A3 サイズの用紙カセットを A4 に変更する場合









1 用紙カセットを引き出し、矢印の方向に引き上げるようにして外す

2 底板を「カチッ」と音がするまで押し下げる

3 緑色のガイドストッパー（2ヵ所）を引き上げる

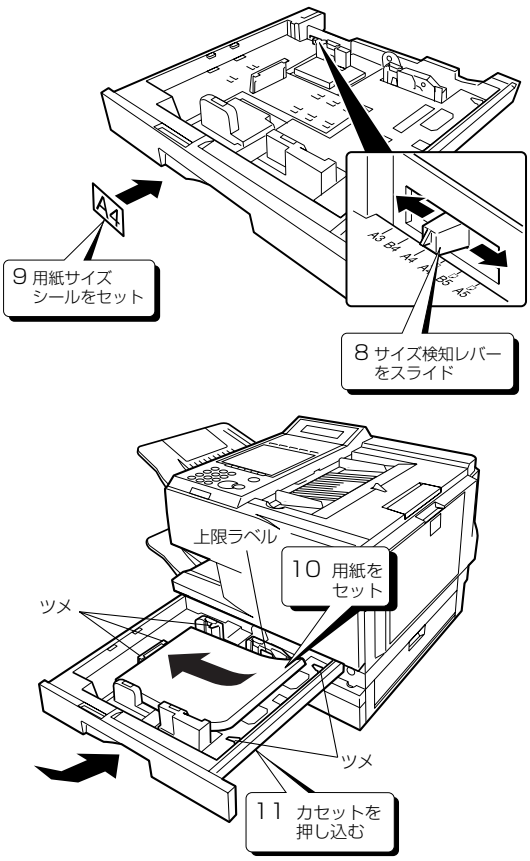
4 ガイドAをスライドさせ、セットする用紙の幅（A4、A5□）に合わせる

5 底面の穴にガイドストッパーのツメを合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込む

6 ガイドB（緑色）の両側を押して、取り出す

7 ガイドBのツメを用紙カセットの底面の穴（A4）に入れ、セットする

- A3 サイズの場合は、ガイドBを用紙カセットの引き出し側収納部にセットします。



8 サイズ検知レバー（緑色）をスライドさせて、セットする用紙サイズ（A4）に合わせる

9 用紙サイズシールをセットする用紙サイズ（A4）に貼り替える

10 用紙の四隅をきちんとそろえ、ツメ（5ヵ所）の下にセットする

11 用紙カセットの手前を少し持ち上げ、カセットの突起部を本体のレールに沿わせるようにして、奥まで確実に押し込む

・用紙カセットは静かにセットしてください。

お知らせ

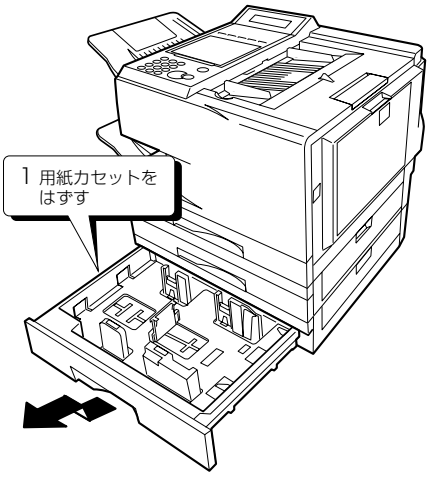
● はがきにプリントするときは、手差しトレイにセットします（☛ 152 ページ）。

増設給紙ユニット 500 の用紙カセットのサイズ変更

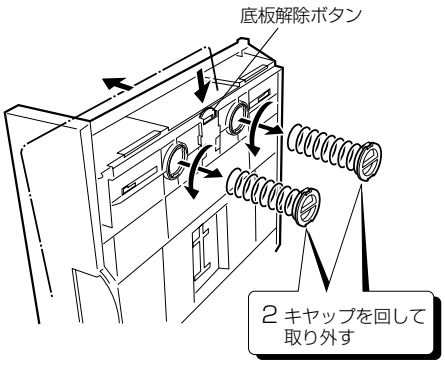
本機の用紙カセットは、A3、B4、A4、A4 □、B5 □、A5 □ の各サイズに共用できます。お使いになる用紙のサイズに合わせて、サイズを変更してください。

- 用紙カセットのサイズを変更するときは、電源スイッチを“I”（入）のままにしてください。
- 用紙サイズを変更するときは、必ず用紙カセットのサイズ検知レバー（☛ 151 ページ）も合わせて、変更してください。合っていないと紙づまりとなります。

例：A4 □ サイズの用紙カセットを B4 に変更する場合



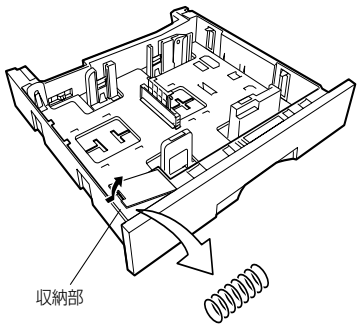
1 用紙カセットを引き出し、矢印の方向に引き上げるようにして外す



2 カセット裏面のキャップ（2ヵ所）を回して取り外し、バネを取り出す

- 底板解除ボタンを押し、底板をフリーにしてからキャップを外します。

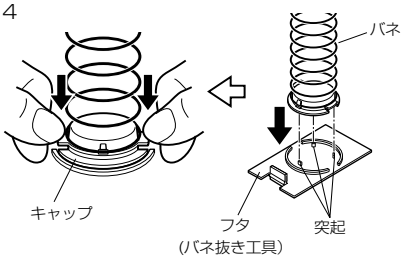
3



3 指定サイズのバネを用意する

- バネは用紙カセット左手前の収納部に入っています。（出荷時は A4,A4 □ 用バネ（銀色）が取り付けられています）
- A3、B4 用のバネは金色。
- A4、A4 □ 用のバネは銀色。
- B5、A5 用のバネは黒色。

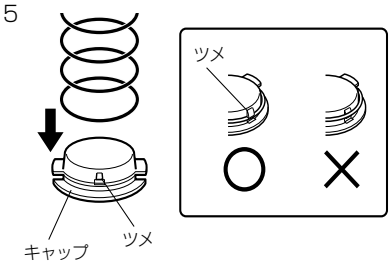
4



4 バネを取りはずす

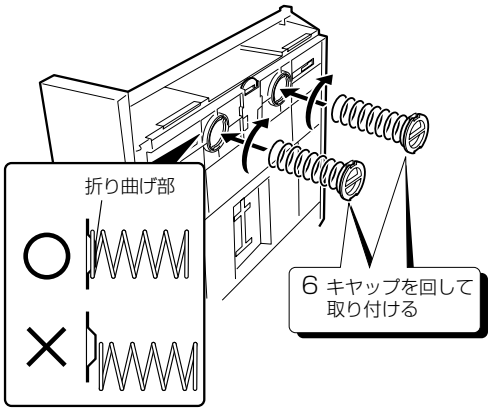
- バネを取り外す際には、交換用バネ収納部のフタの内側にある“バネ抜き工具”を使用します。
- バネを手で無理に引っ張るとバネを破損する恐れがあるので注意してください。
- キャップの溝とフタの突起（3ヵ所）を合わせて、強く押し込むとバネがはずれます。

5



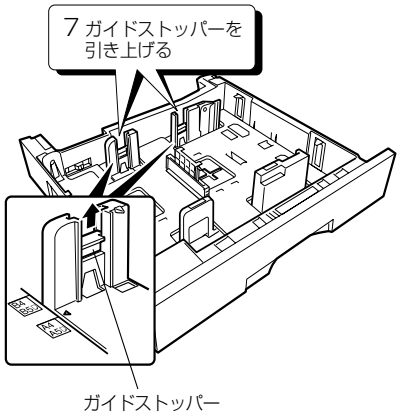
5 バネを取り付ける

- バネをキャップに取り付ける際には、バネがキャップのツメの下に入るようにしっかり押し込みます。
- 使用しないバネは紛失しないようにバネ収納部に収納します。



6 バネを底板の折り曲げ部に合わせて差し込み、キャップを回してセットする

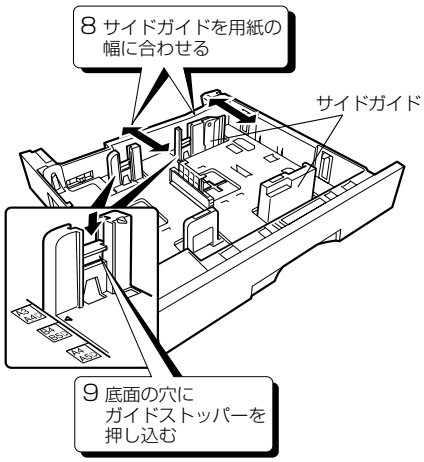
・バネが折り曲げ部の根元に入るようにセットします。



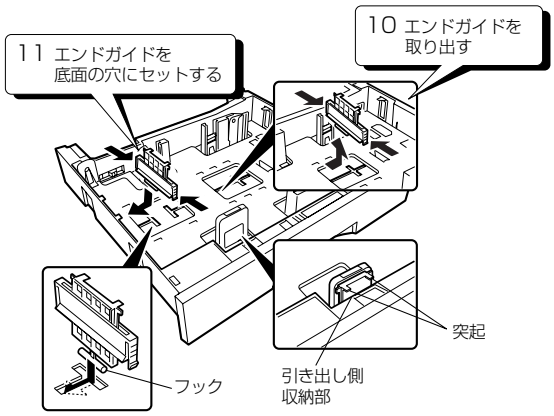
7 緑色のガイドストッパー（2ヵ所）を引き上げる

8 サイドガイドをスライドさせ、セットする用紙の幅（B4、B5□）に合わせる

9 底面の穴にガイドストッパーのツメを合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込む

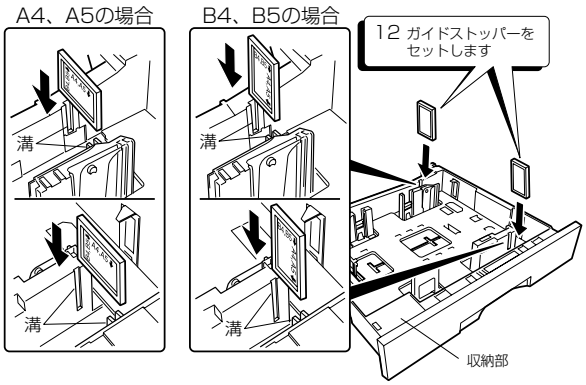


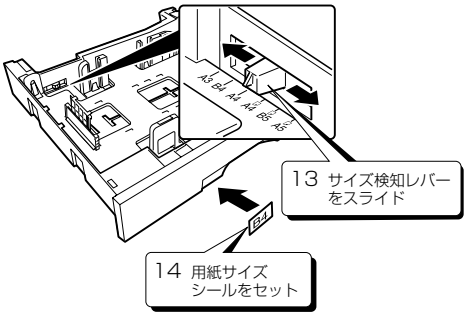
10 エンドガイド（緑色）の両側を押して、取り出す

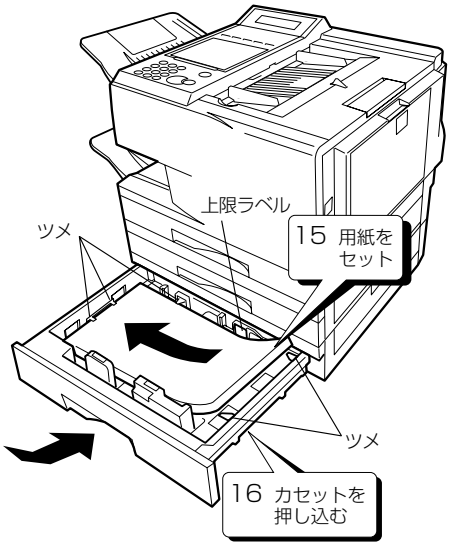


11 エンドガイドのツメを用紙カセットの底面の穴（B4）に入れ、セットする

・エンドガイド下側のフックを底板の穴に引っ掛けるようにしてセットします。
・A3 サイズの場合は、エンドガイドを用紙カセットの引き出し側収納部に突起の方向に注意して確実にセットします。







12 ガイドストッパーをカセットとサイドガイドの間の溝にセットする

・用紙サイズをB4、B5、A4、A5にセットする場合に使用します。A3、A4□の場合はガイドストッパーを使用しません。（収納部に保管しておいてください）
・B4、B5の場合には、ガイドストッパーのB4、B5の矢印マークが下になる方向で溝に挿入し、下に突き当たるまで押し込んでセットします。
・A4、A5の場合には、ガイドストッパーのA4、A5の矢印マークが下になる方向で溝に挿入し、下に突き当たるまで押し込んでセットします。

13 サイズ検知レバー（緑色）をスライドさせて、セットする用紙サイズ（B4）に合わせる

14 用紙サイズシールをセットする用紙サイズ（B4）に貼り替える

15 用紙の四隅をきちんとそろえ、ツメ（5ヵ所）の下にセットする

・用紙は用紙上限ラベルの矢印を超えてセットしないでください。

16 用紙カセットの手前を少し持ち上げ、カセットの突起部を本体のレールに沿わせるようにして、奥まで確実に押し込む

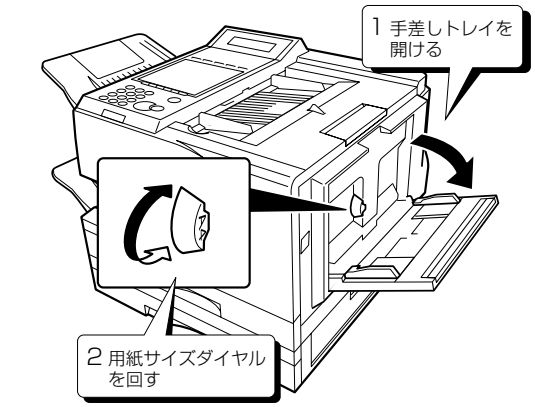
・用紙カセットは静かにセットしてください。

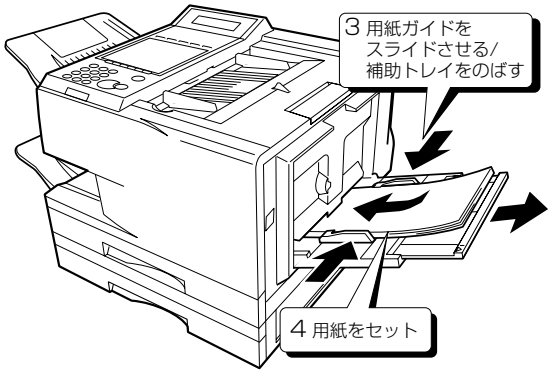
手差しトレイへの用紙セット

手差しトレイには、A3、B4、A4、A4□、B5□、A5□）の各サイズの用紙および、はがきがセットできます。
一度にセットできる用紙は最大30枚、官製はがきは最大5枚です。

・ 用紙サイズダイヤルは「カチッ」と音がするまで回し、必ず正しいサイズ表示に合わせてください。合っていないと紙づまりの原因になります。

例：A4用紙をセットする場合





1 手差しトレイを開ける

2 用紙サイズダイヤルを回して、セットする用紙サイズ（A4）に合わせる

・「カチッ」と音がするまで回します。

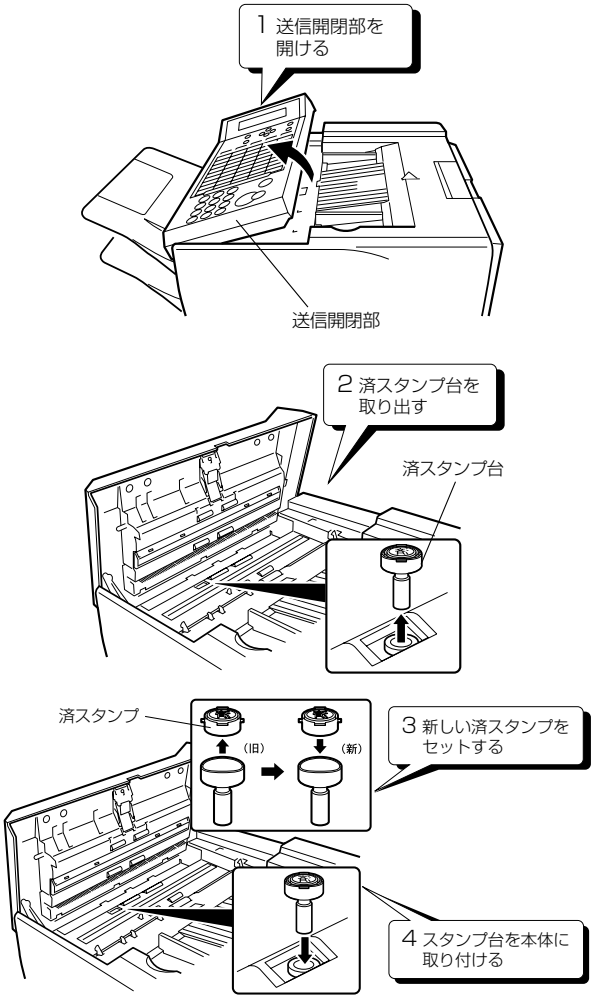
3 用紙ガイドをスライドさせてセットする用紙の幅（A4 ／ A5□）に合わせ、手差し補助トレイを伸ばす

4 用紙の四隅をそろえ、印字したい面を上にしてツメの下にセットし、奥に突き当たるまで差し込む

お知らせ

- 用紙がセットされていないと、用紙ランプが点滅し、“手差しトレイに用紙を補給してください”と表示されます。
- 手差しトレイは以下のときにご利用になれます。
  ·コピーするとき
  ·オプションの PC プリンタユニットをご利用のとき
- 用紙の長さが A4 サイズ以上の用紙をセットするときは、手差し補助トレイを伸ばしてからセットします。
- セットする用紙の量は、規定の枚数より多くセットしないでください。規定の枚数を超える量をセットすると、紙づまりの原因になります。
- 官製はがき以上の厚いはがきにプリントすると、印字品質が低下したり、紙づまりの原因になります。
- 用紙サイズダイヤルは、表示のないところに合わせないでください。表示のないところに合わせると、“手差しトレイに用紙を補給してください”と表示されます。また、コピーするとき、ディスプレイの用紙サイズは「＊＊＊＊」と表示され、用紙は繰り込まれません。
- 用紙は必ず用紙ガイドに合わせて正しくセットしてください。ななめにセットしたり、用紙ガイドに合わせないと、紙曲がりの原因となり、正しくプリントできません。

- 折り目、シワのある用紙、湿った用紙や、一度使用した用紙はセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙を追加するときは、残っている用紙を上に重ねてセットしてください。いつまでも古い用紙が残っていると、紙づまりの原因になります。
- 用紙をセットするときは、印字される面を上にしてセットしてください。
- プリント中には、用紙を追加しないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙がセットされているときは、手差しトレイを閉じないでください。
- 新しい用紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少なく直接日光の当たらないところで保管してください。
- 用紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の用紙を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。



済スタンプの交換

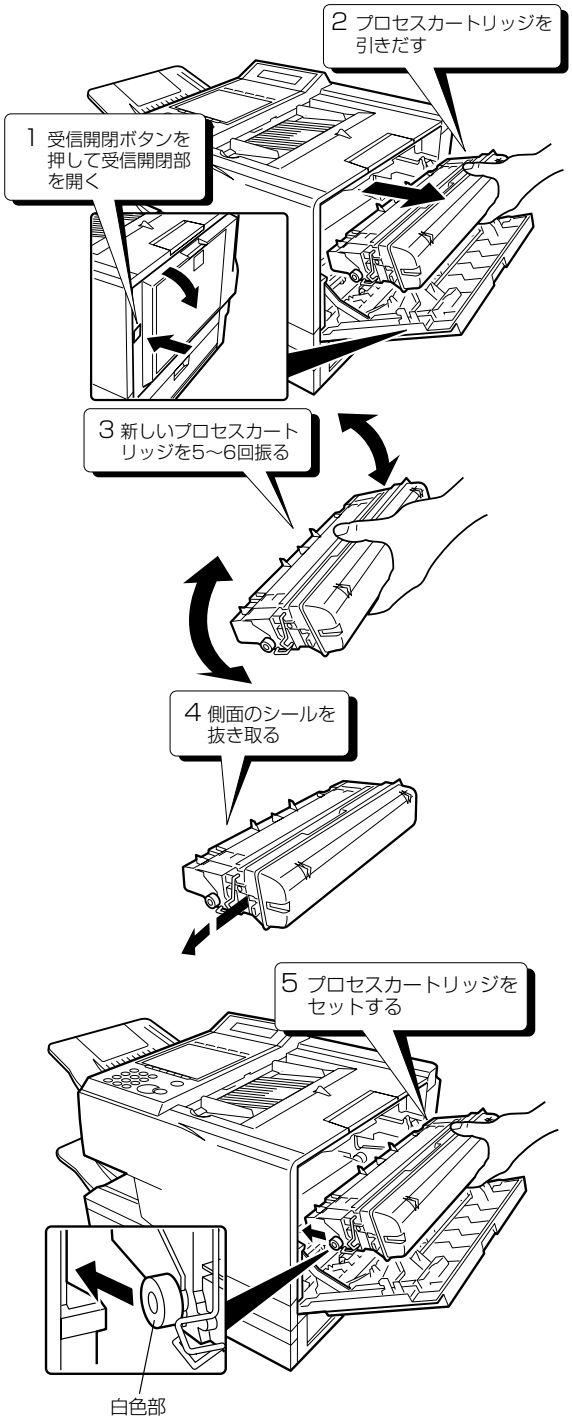
済マークが薄くなってきたら交換します。
・ 済スタンプは当社指定品をご使用ください（品番：UG-4105）

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 済スタンプ台を取り出す

3 使用済の済スタンプを取り外し、新しい済スタンプをセットする

4 スタンプ台を本体に取り付ける



プロセスカートリッジの交換

トナーが無くなると、ディスプレイに“トナーがありません”が表示され、トナーランプ🖷が点灯します。プロセスカートリッジを交換してください。

- 1時間以上電源が切れていると、メモリーに保存されている内容が消去される恐れがあります。プロセスカートリッジの交換は、電源を“｜”（入）のままで行ってください。
- トナーの残量が少なくなってくると、トナーランプ🖷が点滅します。早めにプロセスカートリッジを交換してください。
- トナーが無いときは、プリントができなくなります。

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

2 プロセスカートリッジを持ち、引き抜く

3 新しいプロセスカートリッジを 5 〜 6 回振る

4 側面のシールを抜き取る

5 プロセスカートリッジの突起部（白色部）を本体のレールに合わせ、静かにスライドさせてセットする

6 受信開閉部を確実に閉める

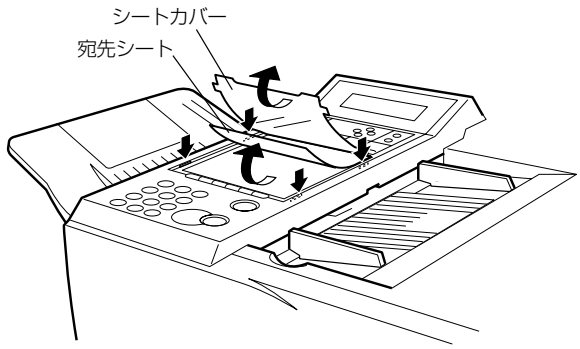
- 当社では、環境保護のため使用済みのプロセスカートリッジを回収し、リサイクルを実施しております。使用済みのプロセスカートリッジを梱包箱に納めて、回収にご協力をお願いいたします。詳しくは、プロセスカートリッジに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- プロセスカートリッジは、当社指定品をご使用ください。（品番：DE-1004）
- プロセスカートリッジの交換・回収についてご不明な点は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にご相談ください。

お知らせ

- プロセスカートリッジのドラム（グレー部）には手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

宛先シートの使いかた

ワンタッチダイヤルに登録した宛先やプログラムボタンに登録したプログラム名を宛先シートに記入します。



宛先シートの記入のしかた

1 シートカバーを外す

2 宛先シートを取り出し、登録した宛先を記入する

・H または 2H の鉛筆、またはボールペンで記入します。
・記入した文字は、消しゴムで消すことができます。

3 宛先シートをセットし、シートカバーを取り付ける

お知らせ

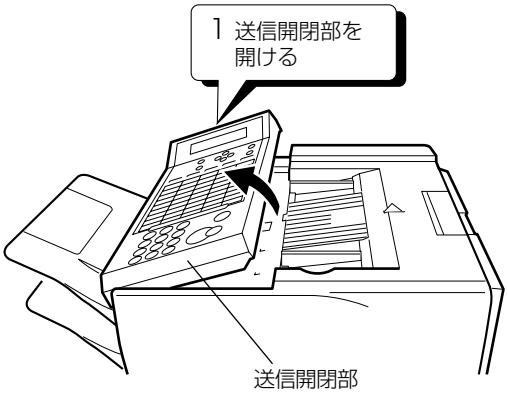
● 鉛筆で記入したときは鉛筆の粉を払ってから、ボールペンで記入したときはインクが乾いてからセットしてください。

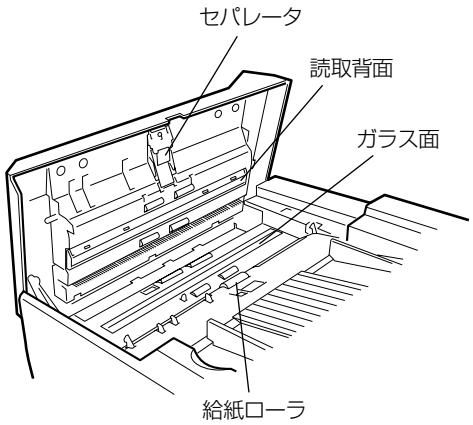
宛先シート

F1 あ 通信予約の確認	F2 い 通信予約の消去	F3 う 通信管理の確認	F4 え タイマー通信	F5 お
F6 か	F7 き	F8 く	F9 け	F10 こ
01 さ	02 し	03 す	04 せ	05 そ
06 た	07 ち	08 つ	09 て	10 と
11 な	12 に	13 ぬ	14 ね	15 の
16 は	17 ひ	18 ふ	19 へ	20 ほ
21 ま	22 み	23 む	24 め	25 も
26 や	27 ゆ	28 よ	29	30
31 ら	32 り	33 る	34 れ	35 ろ
36 わ	37 を	38 ん	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50

お手入れのしかた

快適に末永くご使用いただくために、いつもきれいにしておいてください。
お手入れするときは、必ず電源スイッチを“○”（切）にしてください。





本体のお手入れ

カバーの汚れを取るときは、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）を含ませ、よく絞ってからふき取ってください。

- みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、アルコール、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使用しないでください。
- 化学ぞうきんなどをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 1 時間以上、電源が切れていると、メモリーに保存されている内容が消去される恐れがあります。

読取部のお手入れ

相手機の受信記録、コピーした記録が汚れてきたら、清掃してください。
また、原稿がつまったり、給紙が悪くなったときは、セパレータ、給紙ローラを清掃してください。

- 柔らかい布に水を含ませ、よく絞ってからふきます。

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

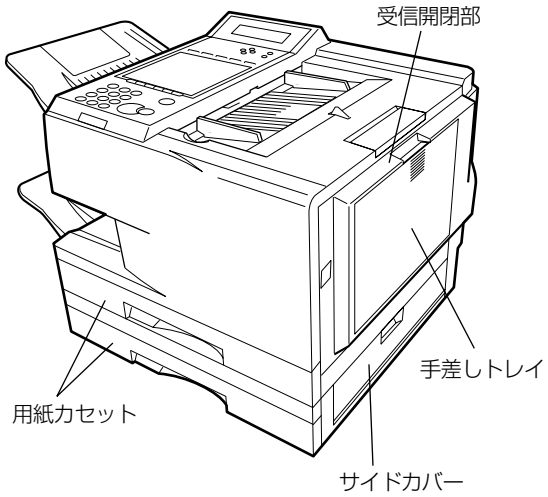
2 読取部（ガラス面）、読取背面（白色面）、セパレータ、給紙ローラを拭く

3 送信開閉部を確実に閉める

お知らせ

- 読取部（ガラス面）に傷をつけないよう、ご注意ください。

こんなときには



用紙がつまったとき

用紙がつまると、ディスプレイに“用紙を確認してください”とエラーメッセージが表示され、紙づまりランプが点滅します。
次の表を参考にして確認箇所を選び、つまった用紙を取り除いてください。

エラーメッセージ	確認箇所
受信開閉部を開けて用紙を確認してください	受信開閉部、手差しトレイ
サイドカバー ■を開けて用紙を確認してください	用紙カセット、サイドカバー

（上記エラーメッセージ中の「■」は何段目のカセットかを示しています）

⚠ 本体内部の高温・高圧表示部と、その周辺には、手を触れないでください。やけど、感電の原因となります。

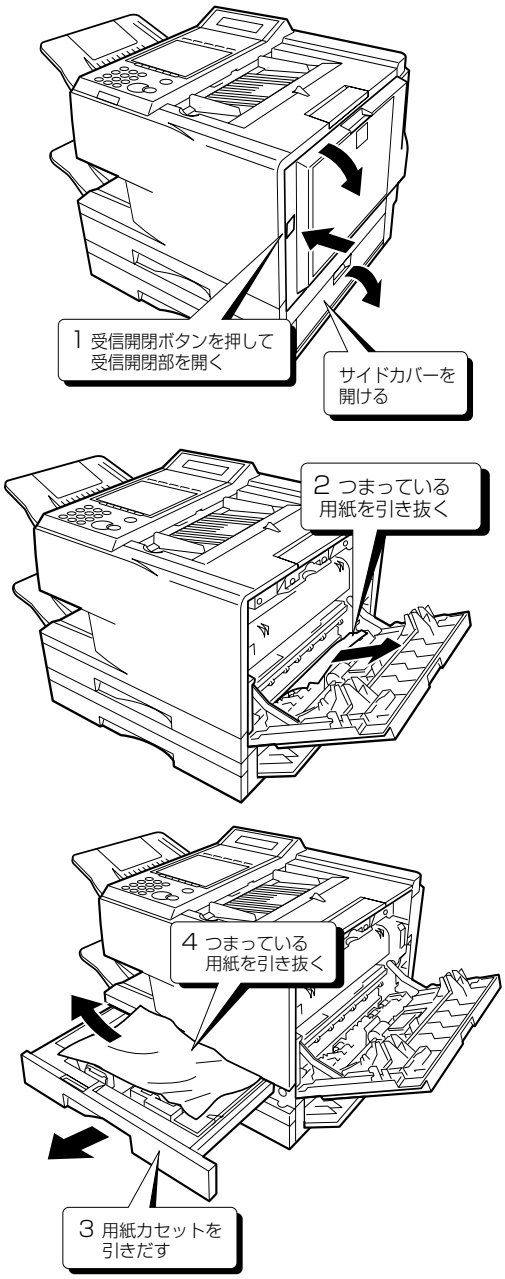
お知らせ

● 用紙を取り除くときは、電源スイッチを“I”（入）のままで行ってください。

オプションの増設給紙ユニットをお使いの場合

増設給紙ユニットで用紙がつまったときは、「サイドカバー ■を開けて用紙を確認してください」が表示されます。
次のようにして、つまった用紙を取り除いてください。

1　サイドカバーを開けて、つまった用紙を取り除く
2　増設給紙ユニットの用紙カセットを引き、つまっている用紙を取り除く
3　増設給紙ユニットの用紙カセットを確実にセットする
4　受信開閉部を開けて、つまっている用紙がないことを確認する
5　受信開閉部を確実に閉める



用紙カセットでつまっているとき

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部およびサイドカバーを開ける

2 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

3 用紙カセットを、止まるまで静かに引き出す

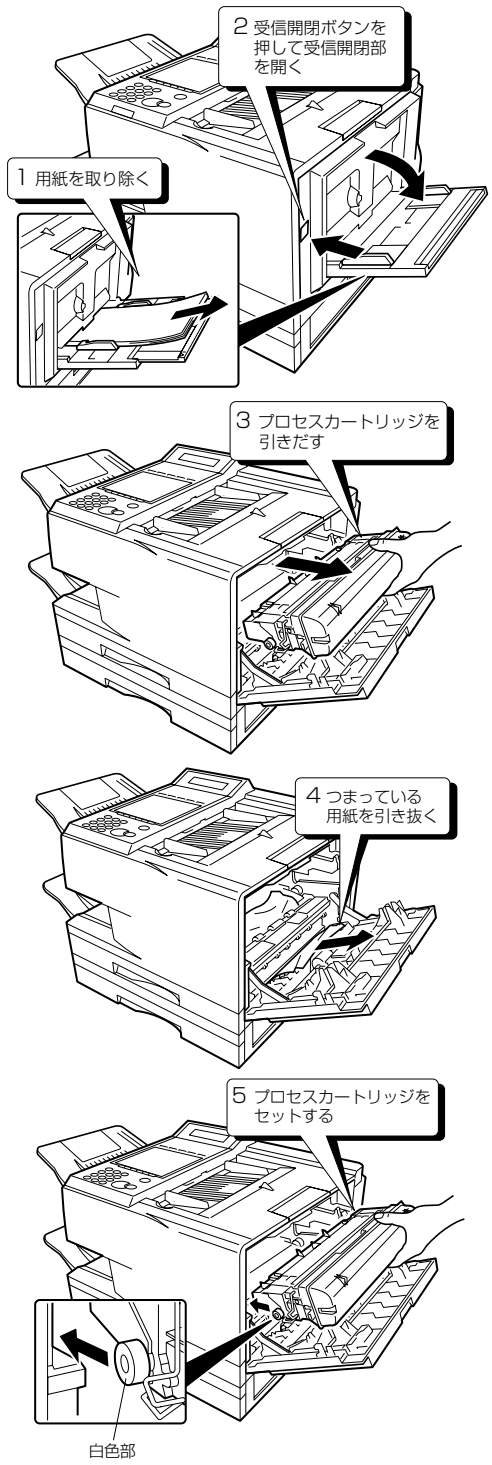
4 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

5 用紙カセットを、奥に突き当たるまで確実に押し込む
・カセットは静かにセットしてください。

6 受信開閉部およびサイドカバーを確実に閉める

お知らせ

- 用紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- 用紙カセットを戻す前に、残りの用紙が用紙カセットのツメ（5ヵ所）の下に収まっていることをお確かめください。ツメの上に出ていると、紙づまりの原因となります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。



手差しトレイでつまっているとき

1 手差しトレイにセットされている用紙を取り除く

2 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

3 プロセスカートリッジを持ち、引き抜く

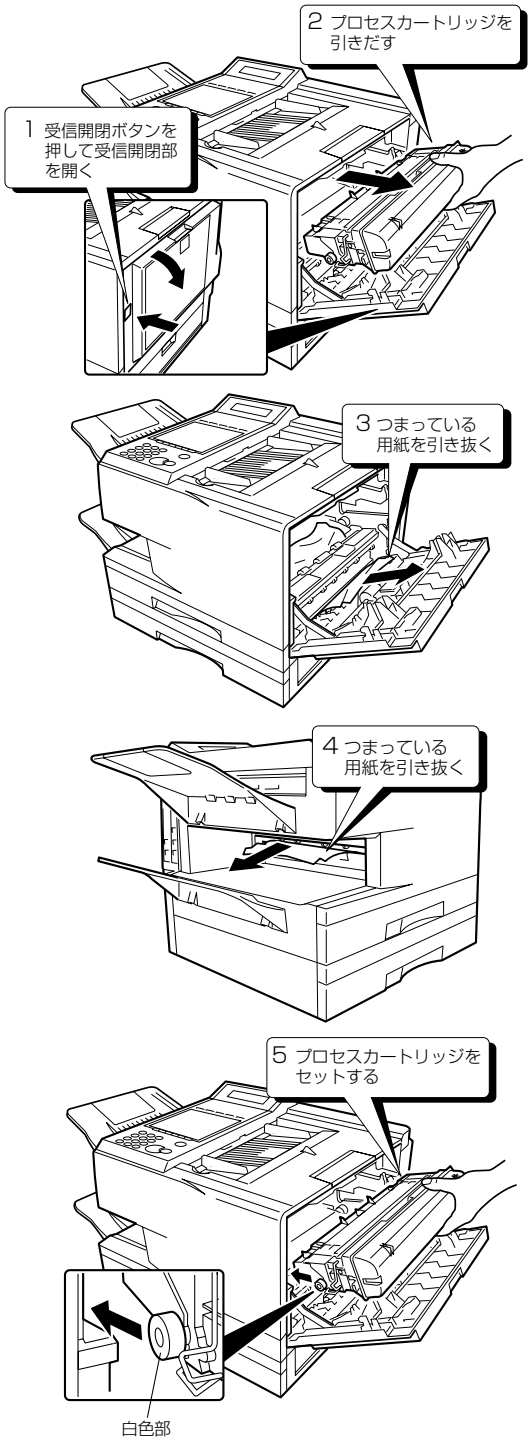
4 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

5 プロセスカートリッジの突起部（白色部）を本体のレールに合わせ、静かにスライドさせてセットする

6 受信開閉部を確実に閉める

お知らせ

- 用紙が本体内部でつまったときは、用紙サイズダイヤル（☛ 152 ページ）が、正しいサイズ表示に合っているかを確認してください。正しいサイズ表示に合っていないと紙づまりとなります。
- 用紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- プロセスカートリッジのドラム（グレー部）には手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。



本体内部でつまっているとき

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

2 プロセスカートリッジを持ち、引き抜く

3 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

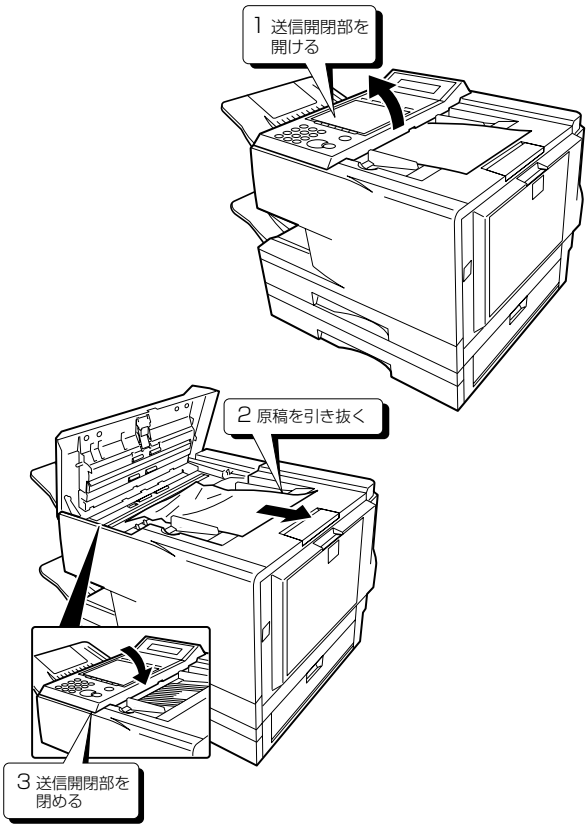
4 同様に、つまっている用紙を矢印の方向に引き抜く

5 プロセスカートリッジの突起部（白色部）を本体のレールに合わせ、静かにスライドさせてセットする

6 受信開閉部を確実に閉める

お知らせ

- 用紙が本体内部でつまったときは、サイズ検知レバー（☛ 148 ページ）が、正しいサイズ表示に合っているかを確認してください。正しいサイズ表示に合っていないと紙づまりとなります。
- 用紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- プロセスカートリッジのドラム（グレー部）には手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。



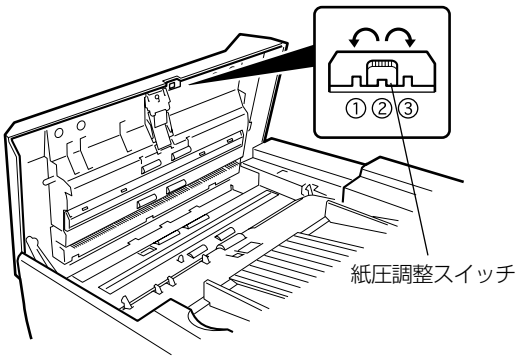
原稿がつまったとき

原稿がつまると、ディスプレイに“送信開閉部を開けて原稿を確認してください”が表示されます。

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 つまっている原稿を、矢印の方向に引き抜く

3 送信開閉部を確実に閉める



自動給紙圧を調整する

原稿が繰り込まれないとき、重なって繰り込まれるときは、自動給紙圧の調整をしてください。

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 紙圧調整スイッチ（青色）をスライドさせて調整する。スイッチの溝が本体の突起にはまる位置で止める

こんなときは	スイッチの位置
原稿が繰り込まれない	①②③
標準位置（通常はここにしておきます）	①②③
2 枚以上の原稿が同時に繰り込まれる	①②③

3 送信開閉部を確実に閉める

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、次の項目をチェックしてください。

こんなときは	原因	対応	参照ページ
原稿が繰り込まれない	送信開閉部が閉まっていない	送信開閉部を閉めてください	16 ページ
	A6 サイズより小さい原稿を送信開閉部にセットしている	キャリアシートを使って原稿をセットしてください	22 ページ
原稿が斜めに繰り込まれる	原稿ガイドを合わせていない	原稿ガイドを合わせてから、原稿をセットしてください	20 ページ
アラーム音が鳴り、“原稿を確認してください”が表示される	送信またはコピーする原稿が長すぎる	原稿の長さを 2000mm 以下にしてから、送信・コピーをしてください。	21 ページ
送信できない	セレクト送信をセットしている	セレクト送信を解除してください	68 ページ
	パスワード送信をセットしている	パスワード送信を解除してください	63 ページ
受信できない	セレクト受信をセットしている	セレクト受信を解除してください	69 ページ
	パスワード受信をセットしている	パスワード受信を解除してください	65 ページ
呼出音が鳴りっぱなしで、受信できない	ファクスが“手動受信”にセットされている	受話器を取り、受信操作をしてください	36 ページ
	メモリーがいっぱいになっている	メモリーに保存されている原稿をプリントしてください	37 ページ
	電源が“○”（切）になっている	電源を“I”（入）にしてください	142 ページ
受信した原稿がプリントされない	用紙がなくなっている	用紙を補充してください	146 ページ
	用紙が正しくセットされていない	用紙を正しくセットしてください	146 ページ
	用紙がつまっている	エラーコードを確認して、つまった用紙を取り除いてください	157 ページ
メモリーランプ点灯状態で送信できない	メモリーがいっぱいになっている	メモリーに空きができてから、送信してください	—
		ダイレクト送信してください	29 ページ
	予約している通信が、50 通信になっている	予約している通信が終ってから、通信してください	—
		ダイレクト送信してください	29 ページ
リモート受信できない	システム登録の「リモート受信」が“なし”になっている	「リモート受信」を“あり”にしてください	124 ページ
	ファクスと正しく接続されていない	正しく接続してください	142 ページ
	外部電話機から電話をかけている	外部電話機から電話をかけた場合は、リモート受信はできません	—
タイマー通信や、ポーリング通信などの通信をセットできない	予約している通信が、50 通信になっている	予約している通信が終ってから、通信してください	—
		予約している通信を取り消してから、通信してください	77 ページ
セレクト通信できない	相手のダイヤル番号を、本機に登録していない	相手のダイヤル番号を登録してください	91 ページ
	相手の ID 番号に、電話番号が登録されていない	相手に、ID 番号には電話番号を登録するように伝えてください	—
ポーリング通信できない	ポーリング通信用のパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	—
パスワード通信できない	パスワード通信用のパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	—
受信またはコピーしたとき、白紙がプリントされる	原稿の裏表を逆にしてセットしている	原稿の裏表を確認してからセットし直してください	20 ページ

こんなときは	原因	対応	参照ページ
受信またはコピーしたとき、黒い筋や点がプリントされる	プロセスカートリッジの異常	プロセスカートリッジを交換してください	154 ページ
	読取部が汚れている	読取部を清掃してください	156 ページ
受信またはコピーしたとき、部分的に欠けていたり、記録が薄くなる	・用紙が湿気を含んでいる ・用紙に折り目やシワがある	新しい包装の用紙と交換してください	146 ページ
	プロセスカートリッジの異常	プロセスカートリッジを交換してください	154 ページ
送信またはコピーしたとき、両端がプリントされない	有効読取画面の外に文字が書かれている	文字は、有効読取画面の中に書いてください	21 ページ

お知らせ

● 以上の項目をチェックしても復旧しない場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

主なエラーコード

通信できなかったときなどに、通信管理レポートにエラーコードが表示されます。エラーコードが表示されたときは、次の表に従って処置してください。

エラーコード	原因	処置	参照ページ
0212～0402、0404、0407～0410、0416～0456、0459～0571	回線異常または相手機異常	相手に確認して、もう一度通信してください	―
0403	ポーリング受信時、相手機にポーリング送信の機能がない	ポーリング受信できません	―
0406	パスワード通信時、相手機とのパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	―
	セレクト通信時、相手機から送られる ID 番号が、本機のダイヤル番号に登録されていない	相手に確認して、通信し直してください	―
0411、0414 、0415	ポーリング通信時、相手機とのパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	―
	相手機の異常		
0427	相手からポーリング受信されたとき、本機にポーリング送信がセットされていない	ポーリング送信をセットしてください	46 ページ
0457	親展通信または中継通信時、相手機に機能がない	親展通信または中継通信はできません	―

お知らせ

- 上記以外のエラーコードが表示された場合は、もう一度通信してみてください。
- 処置をしてもエラーコードが表示される場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

主なエラーメッセージ

通信エラーになったときや受信開閉部が開いているときなど、ディスプレーにエラー内容を表すメッセージが表示されます。
（下記メッセージの「■」は何段目のカセットかを示しています）

エラーメッセージ	内容	処置	参照ページ
サイドカバー■を開けて用紙を確認してください	用紙づまり	サイドカバーを開けて用紙づまりを取り除いてください。	157 ページ
受信開閉部を開けて用紙を確認してください	・手差しトレイ用紙づまり ・本体内部用紙づまり	受信開閉部を開けて用紙づまりを取り除いてください。	159 ページ 160 ページ
カセットを引き出して用紙を確認してください	カセット引き出しに伴う用紙づまり	カセットを開けて用紙づまりを取り除いてください。	158 ページ
カセット■に用紙を補給してください	表示されている用紙カセットの用紙切れ	表示カセットへ用紙を補給してください。	146 ページ
手差しトレイに用紙を補給してください	手差しトレイの用紙切れ	手差しトレイへ用紙を補給してください。	152 ページ
用紙サイズが違います カセット■を確認してください	表示カセットの用紙サイズが正しくセットされていない	サイズ検知レバー（緑色）を正しくセットしてください。	147 ページ
用紙サイズが違います 手差しトレイを確認してください	手差しトレイの用紙サイズが正しくセットされていない	用紙サイズダイヤルを正しくセットしてください。	152 ページ
カセット■がありません カセットをセットしてください	表示されている用紙カセットがセットされていない	用紙カセットを確実にセットしてください。	147 ページ
サイドカバー■を閉めてください	表示されているサイドカバーが開いている	サイドカバーを確実に閉めてください。	157 ページ
トナーが少なくなっています カートリッジを交換してください	トナーが少なくなっている	プロセスカートリッジを交換してください。	154 ページ
トナーがありません カートリッジを交換してください	トナーが無くなっている	プロセスカートリッジを交換してください。	154 ページ
受信開閉部を閉めてください	受信開閉部が開いている	受信開閉部を確実に閉めてください。	16 ページ
カートリッジがありません セットしてください	プロセスカートリッジがセットされていません	プロセスカートリッジをセットしてください。	154 ページ
プリンター部確認[XXXX] サービスコールをしてください	プリンター部の故障 ([XXXX] はエラー番号)	お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。	ー
読み取り部確認 [XXXX] サービスコールをしてください	読み取り部の故障 ([XXXX] はエラー番号)	お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。	ー
送信開閉部を開けて原稿を確認してください 原稿ジャムが発生しました	・原稿詰まり ・原稿の長さが 2000mm を超えている	・原稿詰まりを取り除いてください。 ・原稿を 2000mm 以内にして、送信し直してください。	161 ページ
読み込みの定型サイズより長い	回転送信を行いましたが、原稿長が定型サイズ（A4 ⎕）よりも長い	原稿サイズを A4 ⎕ と認識しています。原稿長検知センサーがオンするように、しわやカールをなくしてください。	23 ページ
送信開閉部を閉めてください	送信開閉部が開いている	送信開閉部を確実に閉めてください。	16 ページ
通信エラーがありました	通信エラー	送信し直してください。	ー

エラーメッセージ	内容	処置	参照ページ
メモリーが一杯になりました	メモリーが一杯になった	·原稿読取中にメモリーが一杯になった場合は、送信できなかったページから送信してください。 ·メモリーに保存されている受信原稿をプリントしてください。	32 ページ 37 ページ
	原稿の読込み枚数が 255 枚となった	· 何度かに分けて送信してください。 · ダイレクト送信してください。	29 ページ

停電のとき

停電になると、電話を受けること以外、ファクスの操作はすべてできなくなります。停電中の電話は外部電話機をご利用ください。

本機に保存されている内容について

停電中は、メモリーに蓄積された原稿や、本機に登録・設定した内容を装置内蔵電池で保持します。

内蔵電池を充電してください。
- 停電中でも保存されている内容を保持するために、内蔵電池を充電する必要があります。
- 内蔵電池を充電するため、設置後、約 48 時間の間、電源を“I”（入）にしておいてください。

停電が続くと
- 1 時間以上電源が切れていると、メモリーに蓄積された原稿が消去されます（本機に登録・設定した内容は消去されません）。
- 10 日以上電源が切れていると、本機に設定した時計内容が消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 本機の設定がお買い上げ時の状態に戻ると、時計表示が点滅してお知らせします。時計表示が点滅しているときは、設定し直してください。

停電が復旧したとき

メモリー内の原稿が消去されたときは、「停電レポート」をプリントして、消去した原稿枚数・受信した宛先・予約した通信の内容をお知らせします。

(UF-A78MK2 の例です)

01頁
A78MK2　Ver　001. 0000
松下電送システム株式会社
01年03月10日18時29分

停電レポート

停電日時：03月10日16時00分

＊＊　下記の通信予約は停電の為処理できませんでした。＊＊

No.	受付番号	受付日時	相手先／依頼元	通信種別	パスワード	ﾓｰﾄﾞ	宛先数
001	001	03-10 15:30	Panasonic USA	送　信		G3外	001
001	002	03-10 15:31	大阪支店	親展送信	1234	G3外	003

＊＊　下記の受信文書は停電の為処理できませんでした。＊＊

No.	受付 No.	通信日時	相手先	通信種別	ﾓｰﾄﾞ
001	003	03-10 15:32	東京本社	受　信	G3外
001	005	03-10 15:42	湘南工場	受　信	G3外

チェック&コール

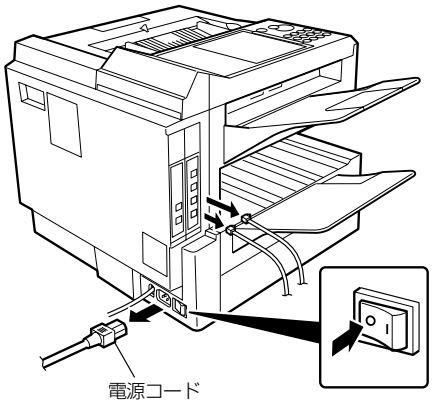
万一、本機が故障した場合には、本機が自動的に当社指定のサービス実施会社に障害状況を連絡する機能です。詳しくはお買い上げの販売店にまたは、サービス実施会社にお問い合わせください。

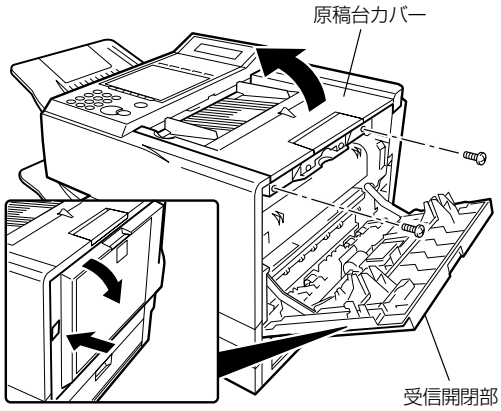
充電式ニカド電池の取りはずし

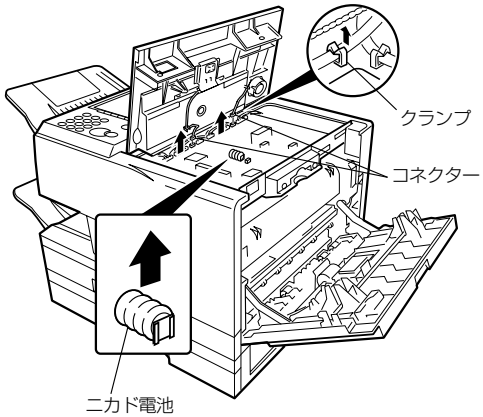
本機を廃棄するとき、内蔵されている充電式ニカド電池を取りはずしてください。

- ご使用済のニカド電池は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないでニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。
- リサイクル協力店の店頭には、右のようなステッカーが貼ってあります。

Ni-Cd







1 電源スイッチを“◯”（切）にし、電源コードをコンセントから抜く

2 接続されているモジュラープラグをはずす

- 本機に接続されている、回線用および電話機用のモジュラープラグを取り外します

3 受信開閉部を開ける

4 固定ネジ２本を外して、原稿台カバーを静かに持ち上げる

5 ハーネスをクランプから外して、コネクターを取り外す

6 ニカド電池を取り外す

ニカド電池の定格

製品名：ニッケルカドミウム蓄電池
電圧：4.8V
容量：60mAh

お知らせ

- ニカド電池の性能が低下してくると、停電中にメモリーの内容を保存する時間が短くなってきます。お買い上げの販売店または、サービス実施会社にご連絡ください。有償でニカド電池の交換をいたします。
- 一度取り外したニカド電池をふたたび取り付けないでください。

ファクシミリ通信網について

NTT コミュニケーションズがファクシミリ利用者向けにサービス（有料）している「ファクシミリ通信網(Fネット)」を利用できます。遠くの相手と多く通信する場合には、通常のファクス通信より経済的です。
・ ファクシミリ通信網の料金・機能・利用法についての詳しいことは、お近くのNTT コミュニケーションズ窓口にお問い合わせください。

F ネット通信するとき

NTT コミュニケーションズとの利用契約は、G3 サービスをお申し込みください。

■2 段階制の明確料金

送るのに時間がかかる細かい文書でもB 4 版 1 ページを夜間なら 25 円（100km 以内)、昼間なら 40 円（100km 以内）で日本国内どこでも送れます。さらに、100km を越える場合は、夜間 30 円、昼間 50 円と低価格で送信できます（標準モードの場合)。

■一斉同報通信（※ 1）

同じ内容の原稿を、最高 10,000ヵ所まで簡単な操作で送信できます。

■夜間配送指定通信

昼間に通信予約をしておいて、夜間の割引時間帯(午後7 時から翌朝8時まで)に送信することができます。

■無鳴動自動受信

受信モードの設定に関わらず、呼出ベルを鳴らさずに自動的にファクス受信を行います。

■再コール・不達通知

相手先がお話中などでつながらなかった場合、F ネットが 2 分間隔で 5 回まで自動的に再コールします。再コールしてもつながらなかった場合は、送信できなかったことを表す不達通知を送信側に送ります。

■自動再送信

一斉同報できなかった宛先に、簡単な操作で送信し直すことができます。

■親展通信

送信したい原稿を、いったんF ネット中継局のメモリに記憶させ、受信側は暗証番号を使って、これを引き出します。他人に見られることなく原稿が取りだせるため、重要書類も安心してやりとりできます。

■閉域接続（※ 1、※ 2）

お互いに登録した相手先とだけ通信できる機能で、第三者からの送信や、ダイヤル誤動作による情報漏れを防止できます。

■ファクシミリボックス（※ 2）

F ネットから送信された文書を、F ネット側で一時預かりします。

■エンド・エンド着信課金（※ 2）

F ネットのフリーダイヤルサービスです。F ネットの通信料金は、受信側が負担します
ので、ファクスによる注文受けに便利です。

■ファクシミリ案内サービス（※ 2）

ビジュアルな案内情報がファクスから簡単に登録・取出しできます。

※ 1：短縮ダイヤルをご契約の方に限ります。
※ 2：契約時に希望された方に限ります。

お知らせ

- 詳しい内容については、NTT コミュニケーションズ発行の「ファクシミリ通信網サービス・ご利用の手引き」をご覧ください。
- 説明文中の用語は NTT コミュニケーションズに準拠しており、この取扱説明書の表記と多少異なります。

消耗品・オプション

■消耗品

用紙 (注 3)
- A3 ..... UG-0601A3
- B4 ..... UG-0601B4
- A4 ..... UG-0601A4
- B5 ..... UG-0601B5
- A5 ..... UG-0601A5

プロセスカートリッジ DE-1004

用紙（再生紙）(注 3)
- A3 ..... UG-0611A3
- B4 ..... UG-0611B4
- A4 ..... UG-0611A4
- B5 ..... UG-0611B5

済スタンプ UG-4105

■オプション

キャリアシート
- A3 ..... UG-1100A3
- B4 ..... UG-1100B4
- A4 ..... UG-1100A4

増設メモリーカード
- 8MB（注 1）..... UE-403156

パナファクスデスク UE-401006

第 3 給紙ユニット用
- パナファクスデスク UE-401007

増設給紙ユニット 500 ..... UE-409068

PC プリンターユニット UE-403175

ハンドセットユニット UE-403146

G4G3 通信ユニット（注 2）..... UE-407023

G3 通信ユニット
- 33.6K（注 2）..... UE-407016

G4 通信ユニット（注 2）..... UE-407022

中継センターユニット（注 2）..... UE-403174

A80MK2 インターネットFAX ユニット.. UE-404080

A78MK2 インターネットFAX ユニット.. UE-404081

72H メモリー
- バックアップ（注 2）..... UE-403157

ポート拡張ユニット（注 2）..... UF-403165

お知らせ

- 上記以外の増設メモリーカードを本装置へ使用すると故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。また、上記増設メモリーカードを指定以外の装置へ使用しても故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- (注 1) は UF-A78MK2/A80MK2/A80SMK2 でお使いになれます。
- (注 2) は UF-A80MK2 タイプでお使いになれます。
- (注 3) は当社推奨品です。

アフターサービスについて

1 保証書（別に添付してあります。）
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間 - お買い上げ日から本体 1 年間

2 修理を依頼されるとき
162 ページの「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いておいてから、お買い上げの販売店または、サービス実施会社に修理をご依頼ください。

■保証期間中は
保証書の規定に従ってサービス実施会社が出張修理させていただきます。

連絡していただきたい内容 ● ご住所・ご氏名・電話番号 ● 製品名・品番・お買い上げ日 ● 故障または異常の内容（できるだけ詳しく） ● 訪問ご希望日

■保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店または、サービス実施会社へご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

3 補修用性能部品の最低保有期間
本機の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、最低 5 年間保有しております。

4 アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき
お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

主な仕様

品番	UF-A78MK2, UF-A80MK2, UF-A80SMK2, UF-A80MMK2,UF-A80MSMK2
認証機器名	UF-A78MK2, UF-A80MK2
電源	AC100V ±10V 50/60Hz
消費電力	待機時 ：約15W（省エネモード時：約1.6W）... [UF-A78MK2] 約21W（省エネモード時：約2.0W）.... [UF-A80MK2タイプ] 最大動作時：約880W 送信時 ：約37W..... [UF-A78MK2] 約64W..... [UF-A80MK2タイプ] 受信時 ：約830W コピー時 ：約880W
適用回線	G3（注1）：電話回線、ファクシミリ通信網（F網2種接続サービス）、 国際ファクシミリサービス（Fポート）
直流抵抗値	216Ω
通信可能機種	G3（国際規格）、G4（注2）
帯域圧縮方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信速度	G3（注1）：33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800 /14400/12000/9600/7200/4800/2400bps G4（注2）：総合デジタル通信網
走査線密度	ファクス 主走査：16dot/mm相当 副走査：15.4line/mm（細密）、7.7line/mm（小さい） 3.85line/mm（ふつう） コピー 主走査：16dot/mm相当 副走査：15.4line/mm
読取方式	CCDイメージセンサーによる固体電子走査
原稿サイズ	A3～A6（最大：幅297mm×長さ2000mm、最小：幅148mm×長さ105mm）
有効読取幅	（A3）最大：292mm、（A4）最大：205mm
記録方式	電子写真記録方式
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、はがき（手差しコピー時）
有効記録範囲	用紙の各辺から4mmを除く範囲
外形寸法	約523mm（W）×513mm（D）×452mm（H）（突起部を除く）
本体質量	約31kg
使用環境	温度：10℃～35℃ 湿度：45%～85% （ただし、35℃のときは、湿度70%以下、湿度85%のときは30℃以下）

お知らせ

- （注1）一般の電話回線での最高通信速度は28800bps程度です。
- （注2）「G4通信ユニット」オプション追加時です。
- 認定番号は、本体背面に記載しております。

区点コード表

01

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		、	。	,	.	・	:	;	?	!	゛	°	´	`	¨	^	￣	_	ヽ
20〜39	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
40〜59	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
60〜79	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥
80〜95	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇					

02

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	＝				
20〜39									∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩			
40〜59					∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃								
60〜79	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬				
80〜95			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					○				

03

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19																0	1	2	3
20〜39	4	5	6	7	8	9								A	B	C	D	E	F	G
40〜59	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
60〜79						a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
80〜90	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z									

04

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
20〜39	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
40〜59	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
60〜79	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
80〜95	ゐ	ゑ	を	ん																

05

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
20〜39	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
40〜59	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
60〜79	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
80〜86	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ													

06

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
20〜39	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω															
40〜59														*α*	*β*	*γ*	*δ*	*ε*	*ζ*	*η*
60〜79	*θ*	*ι*	*κ*	*λ*	*μ*	*ν*	*ξ*	*ο*	*π*	*ρ*	*σ*	*τ*	*υ*	*φ*	*χ*	*ψ*	*ω*			
80〜94																				

07

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
20〜39	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я						
40〜59									а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	
60〜79	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
80〜81	ю	я																		

08

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
20〜39	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂							
40〜59																				
60〜79																				
80〜90																				

16

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	あ
20〜	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	
40〜	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	い
60〜	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	
80〜	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭						

17

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	う
20〜	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	え
40〜	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	
60〜	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	
80〜	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応					お	

18

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	
20〜	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	か
40〜	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	
60〜	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	
80〜	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改						

19

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	
20〜	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	
40〜	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	
60〜	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	
80〜	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱						

20

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	
20〜	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	
40〜	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	
60〜	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	き
80〜	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄						

21

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	
20〜	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	
40〜	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	
60〜	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	
80〜	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京						

22

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	
20〜	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	
40〜	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	
60〜	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	く
80〜	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈						

23

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	
20〜	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	け
40〜	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	
60〜	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	
80〜	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲						

24

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	
20〜	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	こ
40〜	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	
60〜	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	
80〜	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向						

25

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	
20〜	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	
40〜	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	
60〜	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	
80〜	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込						

26

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	さ
20〜	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	
40〜	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	
60〜	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	
80〜	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷						

27

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	
20〜	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	し
40〜	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	
60〜	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	
80〜	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時						

28

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐(しお)	鹿(しか)	式(シキ)	識	鴫(しぎ)	竺(ジク)
20	軸(じく)	宍(しし)	雫(しずく)	七(シチ)	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実(じつ)	蔀(しとみ)	篠(しの)	偲(しのぶ)	柴(しば)	芝
40	屡(しばしば)	蕊(しべ)	縞(しま)	舎(シャ)	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮(じゃ)	蛇	邪	借(しゃく)	勺
60	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若(じゃく)	寂	弱	惹	主(シュ)	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
80	腫	趣	酒	首	儒(じゅ)	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚(シュウ)	収	周					

29

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
20	輯	週	酋	酬	集	醜	什(じゅう)	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔(しゅく)
40	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾(じゅく)	熟	出(しゅつ)	術(じゅつ)	述	俊(しゅん)	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准(じゅん)	循
60	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処(しょ)	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
80	署	書	薯	藷	諸	助(じょ)	叙	女	序	徐	恕	鋤	除(じょ)	傷(しょう)	償					

30

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
20	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
40	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
60	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上(じょう)	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
80	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱(しょく)	埴	飾					

31

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱(じょく)	尻(しり)	伸(しん)	信	侵	唇	娠	寝	審
20	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
40	身	辛	進	針	震	人(じん)	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥(す)	諏	す
60	須	酢(す)	図(ず)	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
80	瑞	髄	崇(すう)	嵩	数	枢	趨	雛	据(すえ)	杉(すぎ)	椙(すぎ)	菅(すげ)	頗(すこぶる)	雀(すずめ)	裾(すそ)					

32

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		澄	摺(すり)	寸(スン)	世(せ)	瀬	畝	是	凄(せい)	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	せ
20	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税(ぜい)	
40	脆	隻(せき)	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切(せつ)	拙	
60	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶(ぜつ)	舌	蝉(せみ)	仙(せん)	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	
80	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線						

33

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前(ぜん)	善	漸	然
20	全	禅	繕	膳	糎(せんち)	噌(そ)	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	そ
40	組	蘇	訴	阻	遡	鼠(そ)	僧(そう)	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	
60	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	
80	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像(ぞう)	増	憎						

34

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗(ゾク)	属	賊	族	続
20	卒(そつ)	袖	其(それ)	揃(そろい)	存(ゾン)	孫	尊	損	村	遜	他(た)	多	太	汰	詑	唾(だ)	堕	妥	惰	打	た
40	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体(たい)	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	
60	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛(たい)	代	台	大	第	醍	題	鷹(たか)	滝(たき)	瀧	卓(たく)	啄	
80	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁(だく)	諾	茸(たけ)	凧(たこ)	蛸	只(ただ)						

35

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		叩	但(ただし)	達(たつ)	辰	奪	脱	巽(たつみ)	竪(たて)	辿(たどり)	棚	谷(たに)	狸(たぬき)	鱈(たら)	樽(たる)	誰	丹(たん)	単	嘆	坦
20	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛(だん)	団	壇	弾	断	
40	暖	檀	段	男	談	値(ち)	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築(ちく)	ち
60	畜	竹	筑	蓄	逐	秩(ちつ)	窒	茶(ちゃ)	嫡(ちゃく)	着	中(ちゅう)	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	
80	註	酎	鋳	駐(ちょ)	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁(ちょう)	兆	凋	喋	寵						

36

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
20	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅(ちょく)	捗	直	朕(ちん)	沈	珍	賃	鎮	陳	津(つ)	墜(ついし)	椎	つ
40	槌	追	鎚	痛(つう)	通	塚(つか)	栂(つか)	掴(つかみ)	槻(つき)	佃(つくだ)	漬(つけ)	柘(つけ)	辻(つじ)	鳶(とび)	綴(つづり)	鍔(つば)	椿(つばき)	潰(つぶ)	坪(つぼ)	壷	
60	嬬(つま)	紬(つむぎ)	爪(つめ)	吊(つり)	釣(つる)	鶴	亭(てい)	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	て
80	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓						

37

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		邸	鄭	釘	鼎	泥(でい)	摘(てき)	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑(てき)	溺(できし)	哲(てつ)	徹	撤	轍	迭
20	鉄(てつ)	典(てん)	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝(でん)	殿	澱	田	電	兎(と)	吐	と
40	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥(と)	砺	努(ど)	度	土	奴	
60	怒	倒(とう)	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	
80	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到						

38

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		童	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働(どう)	動	同	堂	導
20	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠(とうげ)	鴇(とき)	匿(トク)	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	
40	独	読	栃(とち)	橡	凸(トツ)	突	椴(とと)	届(とど)	鳶(とび)	苫(とま)	寅(とら)	酉(とり)	瀞(とろ)	噸(トン)	屯	惇	敦	沌	豚	遁	
60	頓(ドン)	呑	曇	鈍	奈(な)	那	内	乍(なかい)	凪(なぎ)	薙(なぎ)	謎(なぞ)	灘(なだ)	捺(なつ)	鍋(なべ)	楢(なら)	馴(なれ)	縄(なわ)	畷(なわて)	南(なん)	楠	な
80	軟(なんし)	難	汝	二(に)	尼	弐	迩	匂(におい)	賑(にぎわい)	肉(にく)	虹(にじ)	廿(にじゅう)	日(にち)	乳(にゅう)	入						に

39

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		如	尿(にょう)	韮(にら)	任(にん)	妊	忍	認	濡(ぬれ)	禰(ね)	祢	寧(ねい)	葱(ねぎ)	猫(ねこ)	熱(ねつ)	年(ねん)	念	捻	撚	燃	ぬ
20	粘(ねん)	乃(の)	廼	之(の)	埜	嚢(のう)	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗(のぞき)	蚤(のみ)	巴(は)	把	播	覇	杷	ね
40	波	派	琶	破	婆(ば)	罵	芭	馬	俳(はい)	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	
60	倍(ばい)	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪(ばい)	這(はえ)	蝿(はえ)	秤(はかり)	矧(はぎ)	萩(はく)	伯	剝	博	拍	
80	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝(ばく)	漠	爆	縛	莫	駁	麦						

40

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		函(はこ)	箱	硲(はさま)	箸(はし)	肇(はじめ)	筈(はず)	櫨	幡(はた)	肌	畑	畠	八(ハチ)	鉢	溌(ハツ)	発	醗	髪	伐(バツ)	罰
20〜	抜	筏	閥	鳩(はと)	噺(はなし)	塙(はなわ)	蛤(はまぐり)	隼(はやぶさ)	伴(バン)	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
40〜	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯(バン)	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪(ヒ)	ひ
60〜	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	
80〜	誹	費	避	非	飛	樋(ひ)	簸(ビ)	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美						

41

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		鼻	柊(ひいらぎひえ)	稗(ヒエ)	匹	疋	髭	彦(ひこ)	膝(ひざ)	菱(ひし)	肘(ひじ)	弼(ひつ)	必	畢	筆	逼	桧(ひのき)	姫(ひめ)	媛	紐(ひも)
20〜	百(ヒャク)	謬(ビュウ)	俵(ヒョウ)	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟(ビョウ)	描	病	秒	苗	錨	鋲(びょう)	蒜(ひる)
40〜	蛭(ひる)	鰭(ヒレ)	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏(ビン)	瓶	不(フ)	付	埠	夫	婦	富	冨	布	ふ
60〜	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮(ブ)	撫	
80〜	武	舞	葡	蕪	部	封(フウ)	楓	風	葺(ふき)	蕗	伏(フク)	副	復	幅	服						

42

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		福	腹	複	覆	淵(ふち)	弗(フツ)	払	沸	仏(ブツ)	物	鮒(ふな)	分(フン)	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
20〜	粉	糞	紛	雰	文(ブン)	聞	丙(ヘイ)	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米(ベイ)	頁(へいし)	へ
40〜	僻(ヘキ)	壁	癖	碧	別(ベツ)	瞥	蔑	箆(へら)	偏(ヘン)	変	片	篇	編	辺	返	遍	便(ベン)	勉	娩	弁	
60〜	鞭	保(ホ)	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂(ほ)	募(ボ)	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣(ホウ)	ほ
80〜	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋						

43

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏(ボウ)
20〜	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	
40〜	鉾	防	吠(ほえ)	頬(ほお)	北(ホク)	僕(ボク)	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦(ほたん)	勃(ボツ)	没	殆(ほとんど)	堀(ほり)	幌(ほろ)	奔(ホン)	
60〜	本	翻	凡(ボン)	盆	摩(マ)	磨	魔	麻	埋(マイ)	妹	昧	枚	毎	哩(まいる)	槙(まき)	幕(マク)	膜	枕(まくら)	鮪(まぐろ)	柾(まさ)	ま
80〜	鱒(ます)	桝(また)	亦	俣	又	抹(マツ)	末	沫	迄(まで)	儘(まま)	繭(まゆ)	麿(まろ)	万(マン)	慢	満						

44

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		漫	蔓	味(ミ)	未	魅	巳(み)	箕	岬(みさき)	密(ミツ)	蜜	湊(みなと)	蓑(みの)	稔(みのり)	脈(ミャク)	妙(ミョウ)	粍(みり)	民(ミン)	眠	務(ム)	みむ
20〜	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋(むく)	婿(むこ)	娘(むすめ)	冥(メイ)	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪(めい)	牝(めす)	滅(メツ)	め
40〜	免(メン)	棉	綿	緬	面	麺	摸(モ)	模	茂	妄(モウ)	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙(もうけ)	儲(モク)	木	黙	も
60〜	目(もく)	杢(モチ)	勿(もち)	餅(もっとも)	尤(もとり)	戻(もみ)	籾(もらい)	貰(モン)	問	悶	紋	門	匁(もんめ)	也(ヤ)	冶	夜	爺	耶	野	弥(や)	や
80〜	矢(ヤク)	厄	役	約	薬	訳	躍	靖(やすな)	柳(やなぎ)	薮(やぶ)	鑓(やり)	愉(ユ)	愈	油	癒						ゆ

45

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		諭	輸	唯(ユイ)	佑(ユウ)	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
20〜	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕(ゆう)	予(ヨ)	余	与	誉	輿	預	傭(ヨウ)	幼	妖	容	庸	よ
40〜	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	
60〜	養	慾(ヨク)	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀(よど)	羅(ラ)	螺	裸	来(ライ)	莱	頼	雷	洛(ラク)	絡	落	酪	ら
80〜	乱(ラン)	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利(リ)	吏	履	李	梨	理	璃						り

46

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		痢	裏	裡	里	離	陸(リク)	律(リツ)	率	立	葎	掠(リャク)	略	劉(リュウ)	流	溜	琉	留	硫	粒	
20〜	隆	竜	龍	侶(リョ)	慮	旅	虜	了(リョウ)	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	
40〜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力(リョク)	緑	倫(リン)	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	るれ
60〜	瑠(ル)	塁(ルイ)	涙	累	類	令(レイ)	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	
80〜	齢	暦(レキ)	歴	列(レツ)	劣	烈	裂	廉	恋(レン)	憐	漣	煉	簾	練	聯						

47

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		蓮	連	錬	呂(ロ)	魯	櫓	炉	賂	路	露	労(ロウ)	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	ろ
20〜	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六(ロク)	麓	禄	肋	録	論(ロン)	倭(ワ)	和	話	歪(ワイ)	賄	脇(わき)	惑(ワク)	わ
40〜	枠(わく)	鷲(わし)	亙(わたり)	亘(わに)	鰐(わに)	詫(わび)	藁(わら)	蕨(わらび)	椀(ワン)	湾	碗	腕									
60〜																					
80〜																					

熟語一覧表

使用することの多い地名（都道府県名）、職場部署名などをあらかじめ登録してあります。
文字入力は、ファンクション登録ボタン（F1 あ 通信予約の確認 ～ こ F10 J）またはワンタッチ（01 ～50）を押して行います。

F1		F2		F3	
1 東北	2 関東	1 中部	2 関西	1 山陽	2 山陰
3 東海	4 北陸（熟語入力）	3 近畿	4 中国（熟語入力）	3 四国	4 九州（熟語入力）

F4		F5		F6	
1 北海道	2 秋田	1 宮城	2 山形	1 群馬	2 栃木
3 青森	4 岩手（熟語入力）	3 福島	4 茨城（熟語入力）	3 山梨	4 （熟語入力）

F7		F8		F9	
1 東京	2 神奈川	1 新潟	2 富山	1 長野	2 岐阜
3 千葉	4 埼玉（熟語入力）	3 石川	4 福井（熟語入力）	3 愛知	4 静岡（熟語入力）

F10		01		02	
1 京都	2 奈良	1 大阪	2 兵庫	1 岡山	2 広島
3 滋賀	4 三重（熟語入力）	3 和歌山	4 鳥取（熟語入力）	3 山口	4 島根（熟語入力）

03		04		05	
1 香川	2 徳島	1 福岡	2 大分	1 熊本	2 宮崎
3 高知	4 愛媛（熟語入力）	3 佐賀	4 長崎（熟語入力）	3 鹿児島	4 沖縄（熟語入力）

06		07		08	
1 旭川	2 釧路	1 札幌	2 盛岡	1 前橋	2 高崎
3 帯広	4 函館（熟語入力）	3 仙台	4 郡山（熟語入力）	3 水戸	4 宇都宮（熟語入力）

09		10		11	
1 横浜	2 川崎	1 甲府	2 松本	1 名古屋	2 豊橋
3 小田原	4 成田（熟語入力）	3	4 （熟語入力）	3 金沢	4 （熟語入力）

12		13		14	
1 津	2 大津	1 神戸	2 姫路	1 松江	2 高松
3	4 （熟語入力）	3 徳山	4 （熟語入力）	3 松山	4 （熟語入力）

15		16		17	
1 博多	2 小倉	1 都	2 道	1 区	2 市
3 下関	4 那覇（熟語入力）	3 府	4 県 （熟語入力）	3 郡	4 町 （熟語入力）

18

1 村　2 地方
3　4　（熟語入力）

19

1 日本　2 東洋
3 国　4　（熟語入力）

20

1　2
3　4　（熟語入力）

21

1 株式　2 有限
3 相互　4 会社（熟語入力）

22

1 銀行　2 保険
3 役所　4　（熟語入力）

23

1 物産　2 商事
3 商会　4 貿易（熟語入力）

24

1 産業　2 工業
3 製作所　4　（熟語入力）

25

1 化学　2 化成
3　4　（熟語入力）

26

1 電気　2 電機
3 通信　4 機械（熟語入力）

27

1 運輸　2 運送
3 輸送　4 配送（熟語入力）

28

1 物流　2 倉庫
3 工場　4　（熟語入力）

29

1 会館　2 商店
3　4　（熟語入力）

30

1　2
3　4　（熟語入力）

31

1 本社　2 支社
3 本店　4 支店（熟語入力）

32

1 営業所　2 事務所
3 出張所　4 駐在（熟語入力）

33

1 部長　2 室長
3 課長　4 係長（熟語入力）

34

1 東　2 西
3 南　4 北（熟語入力）

35

1 事業部　2 本部
3 中央　4　（熟語入力）

36

1 部　2 室
3 課　4 係　（熟語入力）

37

1 人事　2 総務
3 管理　4　（熟語入力）

38

1 経理　2 会計
3 財務　4 業務（熟語入力）

39

1 営業　2 販売
3 計画　4 通信（熟語入力）

40

1 常務　2 取締役
3 理事　4 担当（熟語入力）

41

1 企画　2 渉外
3 広報　4 宣伝（熟語入力）

42

1 購買　2 資材
3 製造　4　（熟語入力）

43

1 研究　2 開発
3 技術　4 商品（熟語入力）

44

1 相談役　2 会長
3 社長　4 専務　（熟語入力）

46

1 様　2 殿
3 御中　4 気付（熟語入力）

索引

◆F

F コード掲示板登録の指定 57
F コードサブアドレスの登録
（サブアドレス通信）. 139
F コード親展プリント 58
F コード送信 56
F コード通信 56
F コード通信の登録 110
F コード通信リストのプリント 88
F コード取り出し 57
F コードパスワードの登録 140
F ネット通信するとき 169
F ポート通信 60
F 網通信 59

◆O

OMR 通信 60

◆U

UF-A78MK2、A80MK2 を使う 3

◆あ

相手機種との送信について 21
相手と話してから受信する（手動受信）. . 36
宛先シートの記入のしかた 155
宛先シートの使いかた 155
アフターサービスについて 171
安全上のご注意　必ずお守りください 7

◆え

英記号の入力のしかた 128

◆お

お手入れのしかた 156
主なエラーコード 164
主なエラーメッセージ 165
主な仕様 172
音量の設定のしかた 44

◆か

外線数字 ID の登録 135
回転送信について 31
外部電話機の接続 142
各部のなまえとはたらき 16
画質の選びかた 24
必ずお守りください 14

◆く

クイックダイヤルで送る 28
区点コード表 173
グループダイヤルの登録 100
グループダイヤルの変更 102

◆け

掲示板ボックスの登録 113
原稿がつまったとき 161
原稿サイズとセット方向について 23
原稿トレイの取り付け 141
原稿について 21
原稿についてのご注意 22
原稿のサイズ 21
原稿のセットのしかた 20
原稿をセットする 20

◆こ

コード入力のしかた 128
故障かな？と思ったら 162
コピーのしかた 39
こんなときには 157

◆さ

再ダイヤルで送る 30

◆し

自局情報の登録 131
自局情報リストのプリント 87
システム登録一覧表 123
システム登録について 61
システム登録のしかた 122
システム登録リストのプリント 86
システムの登録 122
指定通信予約レポートのプリント 78
自動給紙圧を調整する 161
自動受信のしかた 36
充電式ニカド電池の取りはずし 168
熟語一覧表 177
熟語入力のしかた 129
受信データの強制出力 80
手動ファイル転送 80
順次同報送信 34
正面・右側面図 16
消耗品の交換のしかた 146
消耗品・オプション 170
親展送信 52
親展通信 52
親展プリント 53

親展ポーリング受信 53
親展ボックスの登録 110

◆す

済スタンプの交換 153
済スタンプの使いかた 24

◆せ

正順プリント 38
セレクト受信 69
セレクト送信 68
セレクト通信 68
セレクト番号の選び方 112

◆そ

操作パネルのなまえとはたらき 18
操作方法早見表 185
増設給紙ユニット 500 の用紙カセットの
サイズ変更 149
増設メモリーカード（オプション）の
取り付け 144

◆た

代行出力 37
タイマー送信 48
タイマー通信 48
タイマー特殊通信 49
タイマーポーリング受信 48
ダイヤル登録操作フロー 91
ダイヤルの消去 99
ダイヤルの登録 91
ダイヤルの変更 98
ダイヤルリストのプリント 84
ダイレクト送信をする 29
短縮ダイヤルで送る 26
短縮ダイヤルの登録 94

◆ち

チェック&コール 167
中継情報の登録 108
中継情報の登録の種類 109
中継通信 50
中継通信について 50
中継同報指示 51
直接ダイヤルで送る 25

◆つ

2 in 1受信 37
通信受付レポートのプリント 82
通信結果レポートのプリント 83
通信ボックスの消去 115
通信予約の確認 74
通信予約の確認と消去 74
通信予約の消去 77
通信予約の変更 76
通信管理レポートのプリント 81

◆て

定期便タイマー通信 71
定期便タイマーの登録 138
定時刻タイマーの登録 137
停電のとき 167
手差しトレイへの用紙セット 152
手差しトレイでつまっているとき 159
電源コードの接続 141
電源を入れる 142
電話回線の接続 142
電話回線の設定 143
電話の使いかた（オプション） 42
電話をかける 42

◆と

特殊通信機能の登録 96
登録操作フロー 90
トーンボタンの使いかた 43
取り付けかた 141

◆な

内線数字 ID の登録 136

◆に

入力モードの切り替えかた 126

◆は

ハイブリッドダイヤル 33
パスワード受信の設定 65
パスワード受信の変更 66
パスワード送信の設定 63
パスワード送信の変更 64
パスワード送信設定の一時変更 67
パスワード通信 61
パスワード通信について 61
発信元情報の登録 133

◆ひ

左側面・背面図 17
日付と時刻の登録 132

◆ふ

ファイル消去 55
ファイル送信 54
ファイル蓄積 54
ファイルプリント 55
ファクシミリ通信網について 169
ファクスを受ける 36
ファクスを送る 25
ファンクションの登録 105
複数宛先の指定のしかた 35
プログラムダイヤルの登録 103
プログラムダイヤルの変更 104
プロセスカートリッジの交換 154

◆ほ

ポーリング受信 47
ポーリング送信 46
ポーリング通信 46
本体内部でつまっているとき 160
本体のお手入れ 156
本体・付属品・添付品の確認 2

◆ま

マルチコピー通信 59
マルチプリント受信 38

◆み

未達宛先再通信の指定 79

◆め

メモリー受信の解除 73
メモリー受信の設定 72
メモリー受信のプリント 73
メモリー受信を設定しているとき 72
メモリー代行受信 37

◆も

文字ID（カナ）の登録 134
文字入力のしかた 126, 127
文字の変更／消去 130
モニター音量の設定 44

◆ゆ

有効読取画面について 21
ユーザー管理者用暗証番号の消去 120
ユーザー管理者用暗証番号の登録 119
ユーザー管理の登録 116
ユーザー管理リストのプリント 89
ユーザーの消去 118
ユーザーの変更 118
ユーザー別管理の設定 121
ユーザー別管理をしているとき
ファクスを使う 120
ユーザー別レポートの設定 121
優先通信 70

◆よ

用紙カセットでつまっているとき 158
用紙カセットのサイズ変更 147
用紙がつまったとき 157
用紙トレイの取り付け 141
用紙の補充 146
呼出音量の設定 45
読取部のお手入れ 156

◆ら

ランプ表示 18

◆り

リストのプリント 84
リモート受信 38

◆れ

レポートのプリント 81

◆わ

ワンタイム海外通信 71
ワンタッチダイヤルの登録 92
ワンタッチの消去 108
ワンタッチの登録 100
ワンタッチボタンで送る 27
ワンタッチリストのプリント 85

メモ

操作方法早見表

松下電器産業株式会社
松下電送システム株式会社
〒153-8687 東京都目黒区下目黒2-3-8 ☎(03)3491-9191

参照ページは、取扱説明書の参照ページです。

送信のしかた

直接ダイヤルで送る（☛ 25 ページ）

1 原稿をセットする
2 ダイヤルする（最大５２ケタ）
3

を押す

短縮ダイヤルで送る（☛ 26 ページ）

■メモリー ランプ 点灯状態で
1 原稿をセットする
2 短縮 を押す
3 短縮番号（０００～９９９）を選ぶ
4

を押す

ワンタッチボタンで送る（☛ 27 ページ）

■メモリー ランプ 点灯状態で
1 原稿をセットする
2 ワンタッチボタン（０１～５０，Ｆ１～Ｆ１０）を押す
3

を押す

クイックダイヤルで送る（☛ 28 ページ）

■メモリー ランプ 点灯状態で
1 原稿をセットする
2 クイックダイヤル ○ を押す
3 検索文字を選び、⒱⒜を押して宛先を選ぶ
4

を押す

ダイレクト送信をする（☛ 29 ページ）

□メモリー ランプ 消灯状態で
1 原稿をセットする
2 宛先を指定する
3

を押す

ハイブリッドダイヤルで送る（☛ 33 ページ）

1 原稿をセットする
2 ハイブリッドダイヤルを登録してあるファンクション登録ボタンを押す
3 組み合わせるダイヤルを選ぶ
4

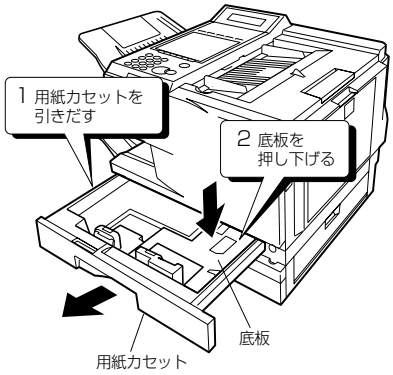
を押す

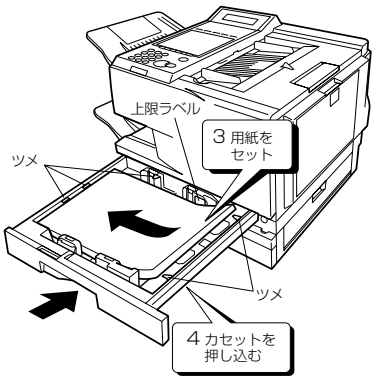
グループダイヤルで送る（☛ 100 ページ）

■メモリー ランプ 点灯状態で
1 原稿をセットする
2 グループダイヤルを登録してあるワンタッチボタン（０１～５０）を選ぶ
3

を押す

✂点線に沿ってハサミなどで切り取り、操作方法早見表としてお使いください。





用紙の補充
（☛ 146 ページ）

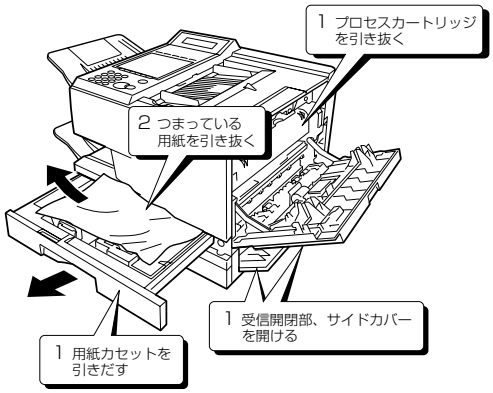
電源スイッチを“I”（入）のままにしてください。

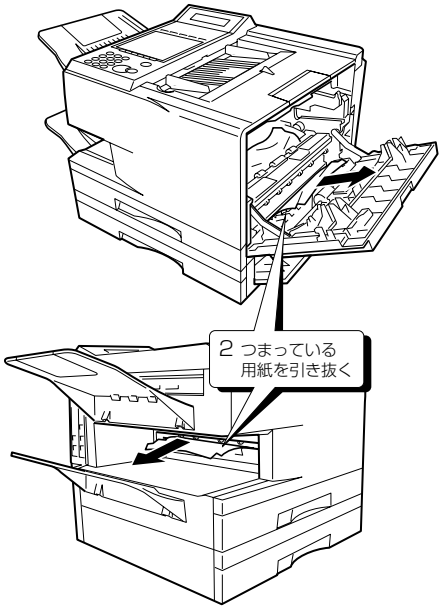
1 用紙カセットを止まるまで静かに引き出す

2 底板を「カチッ」と音がするまで押し下げる

3 用紙の四隅をきちんとそろえ、ツメの下にセットする

4 用紙カセットを奥に突き当たるまで確実に押し込む
・用紙カセットは静かにセットしてください。





用紙がつまったとき
（☛ 157 ページ）

用紙がつまると、ディスプレイに確認のメッセージが表示されます。メッセージに従って、つまった用紙を取り除いてください。
・ 電源スイッチを“I”（入）のままにしてください。

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部、サイドカバーを開け、プロセスカートリッジを持ち、引き抜く（必要に応じて用紙カセットを引き出す）

2 つまっている用紙を、図のように矢印の方向に引き抜く

3 プロセスカートリッジを静かにセットする

4 受信開閉部、サイドカバーを確実に閉める

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番 UF-A78MK2 UF-A80MMK2 UF-A80MK2 UF-A80MSMK2 UF-A80SMK2
販売店名	☎（　　）　　-	
サービス実施会社名	☎（　　）　　-	

松下電器産業株式会社
松下電送システム株式会社

DZSD001436-1
T0401-1061